

成蹊大学

SEIKEI
UNIVERSITY
2026



磨く、結ぶ、 そして拡がる 成蹊大学

日々押し寄せる変化の波を乗り越え、未来へ進んでいくために。

成蹊大学は一人ひとりが持つ「無二の個性」を磨く教育を創設時から掲げ、今日まで受け継いでいます。

そして個性を磨くその学びは、時代に合わせてさらに進化。

技術革新を社会の構築につなげる「成蹊大学Society 5.0研究所」や

本物に触れる体験で持続可能な開発のための教育(ESD)を進める

「成蹊学園サステナビリティ教育研究センター」など、

SDGs実現に向けた取り組みと掛け合わせた教育を提供しています。

また学部横断型グローバル教育プログラム「成蹊Global Study Program(GSP)」をはじめ、

アクティブラーニング型の授業や文理融合のプログラムによって異分野や文理双方の学生が混ざり合い、

多彩な視点に触れる機会や人とのつながりをつくる学びも特徴のひとつです。

私たちはこれからも個性を重視した教育を根幹に、より良い社会や環境を世界に、そして未来に拡げていきます。

サステナビリティ教育研究センターの
詳細はこちら



Society 5.0研究所の
詳細はこちら



アジア太平洋研究センター(CAPS)は成蹊大学初の常設研究機関として1981年に創設されました。研究プロジェクトの助成、シンポジウム、研究会等の開催、研究成果等の刊行を行っています。

アジア太平洋研究センター(CAPS)の
詳細はこちら



教育の3つの柱

- 1 ゼミの成蹊 -心と心でつながる-
- 2 プロジェクトの成蹊 -本物に触れる教育-
- 3 コラボの成蹊 -チーム協働の力-

本学Webサイト ▶ 大学紹介 ▶ 教育の特色 詳細はWebサイトをご覧ください。



contents

02	成蹊大学の歴史/学長メッセージ	34	学部学科index
04	成長を実感できる大学	36	経済学部
06	SEIKEI TOPICS① -国際共創学部(仮称)*新設	40	経営学部
08	SEIKEI TOPICS② -大学11号館紹介	44	法学部
12	One Campus -学生の成長を支える教育環境	48	文学部
16	Liberal Arts	54	国際共創学部(仮称)*
18	-成蹊教養カリキュラム(全学共通科目)	60	理工学部
20	-副専攻制度	70	教員紹介
22	-国際交流・留学	72	キャンパスマップ
24	-成長への意欲を支える学び ・成蹊Global Study Program(GSP) ・成蹊アントレプレナーシッププログラム(SEP)	74	情報図書館/カレンダー
26	Career Support	76	クラブ・サークル
28	-成蹊のキャリア支援	78	奨学金・納付金
30	-丸の内ビジネス研修(MBT)	80	入試情報2026
31	-免許・資格サポート	95	アクセス
32	-就職実績		

カリキュラムやプログラムの内容は変更になる場合があります。
※2026年4月開設予定。
取定定員増加の認可申請中(2025年5月現在)。
内容等は変更になる場合があります。

1906 明治39	・学生塾・成蹊園開塾(命名は翌年)
1912 明治45	・成蹊実務学校を池袋の地に創立
1914 大正3	・成蹊中学校開校
1915 大正4	・成蹊小学校開校
1917 大正6	・成蹊実業専門学校・成蹊女学校開校
1924 大正13	・校地を池袋から吉祥寺に移転
1925 大正14	・成蹊高等学校(旧制・七年制)開校
1947 昭和22	・成蹊中学校(新制)開校
1948 昭和23	・成蹊高等学校(新制)開校
1949 昭和24	・成蹊大学開学(政治経済学部開設)
1962 昭和37	・工学部開設
1965 昭和40	・文学部開設
1968 昭和43	・経済学部・法学部開設(政治経済学部を改組)
1981 昭和56	・成蹊大学 アジア太平洋研究センター設置 ・成蹊大学 情報処理センター設置
1993 平成5	・成蹊大学 国際交流センター設置
1999 平成11	・成蹊大学開学50周年 ・学園情報センター設置(2002年大学情報処理センターを統合)
2003 平成15	・武蔵野市との連携により開設された「武蔵野地域自由大学」に参加
2004 平成16	・成蹊学園 国際教育センター設置(大学国際交流センターを改組)
2005 平成17	・理工学部開設(工学部を改組)
2006 平成18	・情報図書館開館
2009 平成21	・400m競技場・ラグビー場改修(「けやきグラウンド」と命名)
2010 平成22	・「成蹊教養カリキュラム」導入 ・成蹊大学 情報センター設置(学園情報センターを改組)
2012 平成24	・成蹊学園創立100周年
2014 平成26	・成蹊大学 ボランティア支援センター設置 ・成蹊大学 高等教育開発・支援センター設置(情報センターを改組)
2018 平成30	・成蹊学園 サステナビリティ教育研究センター設置
2020 令和2	・経済学部・経営学部開設(経済学部を改組) ・成蹊大学 Society 5.0研究所設置
2022 令和4	・理工学部理工学科開設(1学科5専攻へ改組)
2026 令和8	・国際共創学部*開設予定(1学科2専攻)

深く問い、深く考え、そして広く学ぶ。社会や世界の課題を解決するために、自ら主体的に学ぶ力を身に付ける。これこそが、成蹊が創立以来、大切にしてきた教育です。

スローガン
「積み重ねた問いが、君の蹊をつくる。」



特設サイトでは、成蹊教育の特徴と、ブランドムービーをご覧ください。
特設サイトはこちらから▶

※2026年4月開設予定。収容定員増加の認可申請中(2025年5月現在)。内容等は変更になる場合があります。

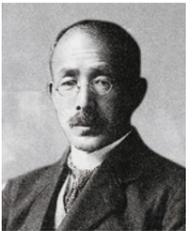


成蹊の名の由来
桃李不言下自成蹊 桃李ものいはざれども、下おのづから蹊を成す。
成蹊の名は、故事「桃李不言下自成蹊」に由来しています。桃や李(すもも)は、ものを言うわけではないが、美しい花を咲かせ、豊かな果実を実らせるため、その木の下には自然と人が集まり、そこに蹊(こみち)ができる。桃・李は人徳のある人のたとえで、優れた人格を備えた人のまわりには、その人を慕って自然と人が集うことを表しています。

受け継がれる 伝統と理念

創始者中村春二と教育理念

中村は、東京帝国大学文科大学在学中に曹洞宗第一中学校林の講師を務め、教育に携わることへの喜びを感じ、大学卒業後に教育者となる道を選びました。また一方で、当時の詰め込み教育や個性を無視した画一教育に疑問を感じ、「社会に貢献する人間を育てよう。知識を身につけるだけでなく、人格的にも優れた人間を育てたい」——そのためには生徒一人ひとりの個性を引き出し、自ら進んで学ぼうとする人間を育てるべきであると考えました。この理想の教育を実践するため、親友であった今村繁三、岩崎小弥太の支援を受け、学生塾・成蹊園、そして成蹊実務学校を創立したのです。この中村の思いは100年の時を超え、今も受け継がれています。



中村 春二

中村春二の教育を支え続けた2人の親友



今村 繁三 岩崎 小弥太

中村には2人の親友がいました。今村繁三と岩崎小弥太です。3人は高等師範学校附属学校尋常中学校在学中に出会い、今村と岩崎は中村が理想とする教育の実現を物心両面で支え続けました。今村は中学卒業後、イギリスのリース校に入学。その後、ケンブリッジ大学に進み、帰国後25歳で今村銀行の頭取に就任しました。社会事業、とりわけ育英事業の必要性を感じていた今村は、中村の教育理念に共鳴し、学生塾・成蹊園の経済的基盤をつくりました。岩崎は三菱の二代目社長・岩崎弥之助の長男として生まれ、第一高等学校から東京帝国大学に進んだ後、ケンブリッジ大学に留学。国家繁栄の基礎は教育にあると感じた岩崎は、帰国後に三菱合資会社の副社長、社長を歴任する一方で、成蹊学園の教育事業に参画しました。2人は、長年にわたり成蹊教育の発展に寄与し続けました。

成蹊大学は、1912(明治45)年に創立された成蹊実務学校を源流としています。成蹊実務学校は教育者中村春二により創立され、後の1925(大正14)年に創設された旧制高等学校(七年制)が、戦後の学制改革で現在の成蹊大学となり、高等教育機関としての姿を確立しました。個性を尊重し生徒一人ひとりと向き合っ教育を行った中村の教育理念と、大学の前身となる旧制高等学校のリベラルな学風を受け継ぎ、成蹊大学は6学部と大学院を擁する総合大学に発展しました。

建学の精神

- 「個性の尊重」
- 「品性の陶冶」
- 「勤労の実践」

学長メッセージ 大学で学ぶのは何のため?

——この問いには次のように答えましょう。
職業生活につく前の青春期の一時に、多様なものの考え方に触れ、知的なトレーニングを積むことによって、その後の長い人生を知的に生きるための礎を得ることができるからです。と。大学4年間を、知的に充実したものとして過ごせる場として、成蹊大学はみなさんをお待ちしています。4月にキャンパスでお会いしましょう!

もり・ゆういち 森 雄一 東京大学大学院人文科学研究科博士課程(国語国文学専攻)退学。専門分野は日本語学、認知言語学、レトリック論。成蹊大学文学部長・大学院文学研究科長を経て、2022年4月学長に就任。



データで見る成蹊大生の成長

成長を実感できる大学

成蹊大学では、さまざまな教育プログラムと吉祥寺のワンキャンパスにある充実した教育環境で学生の成長を支えています。

ここでは、学修成果を可視化する統計データから、学生の4年間の成長と、社会が求める力との関係を紐解きます。

企業が大卒者に特に期待する資質※1

1位	主体性	84.0%	4位	学び続ける力	36.2%
2位	チームワーク・リーダーシップ・協調性	76.9%	5位	柔軟性	18.4%
3位	実行力	48.1%	6位	倫理観	10.9%

成蹊大学で磨かれる資質

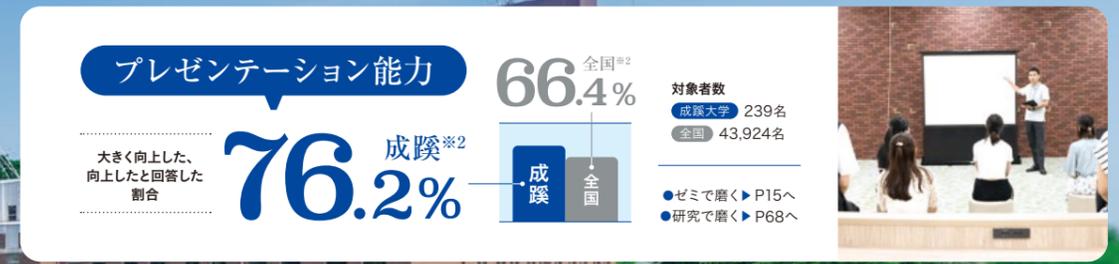
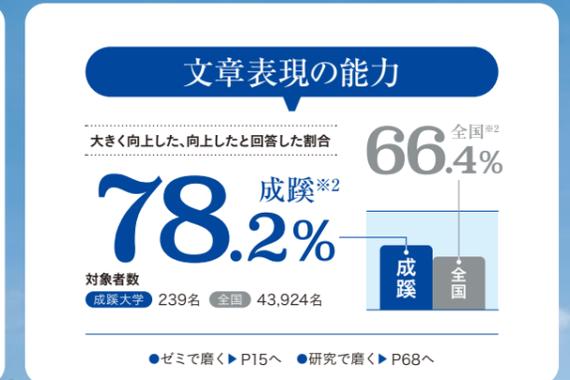
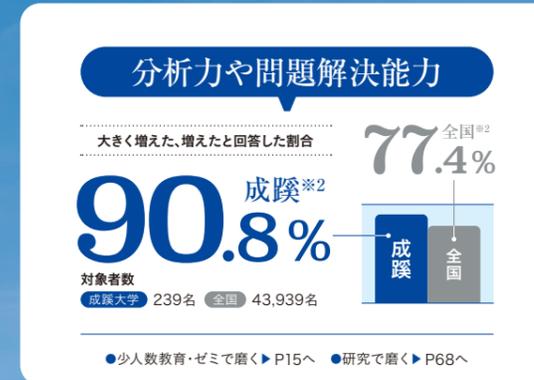


*テスト結果により該当する能力をS・A・B・C・Dにランク分けしたうち、高評価SとAの割合

企業が大卒者に特に期待する能力※1

1位	課題設定・解決能力	80.1%	4位	傾聴力	35.9%
2位	論理的思考力	72.1%	5位	発信力	35.1%
3位	創造力	42.6%	6位	情報活用能力・データ分析力	13.8%

成蹊大学で磨かれる能力



企業が大卒者に特に期待する知識※1

1位	文系・理系の枠を超えた知識・教養	84.7%	4位	数理・データサイエンス・AI・ITに関する専門知識	34.4%
2位	専攻分野における基礎知識	75.8%	5位	専門資格	16.4%
3位	専攻分野における専門知識	61.8%			

成蹊大学で修得する知識



データは、下記の調査結果を使用しています。
 ※1 一般社団法人 日本経済団体連合会調査「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」2021年8月実施 ※2 大学IRコンソーシアム学生調査(能力・満足度等に関する自己評価アンケート) 2023年度上級生(3年生)調査回答データ ※3 ベネッセ「キャリアGPS-Academic」(客観的に思考力等を測定するテスト)2021年度1年生、2023年度3年生受験データ

「国際共創学部」新設。

2026年4月
開設予定

国際日本学専攻^(仮称) / 環境サステナビリティ学専攻^(仮称) ▶詳しくはP54へ

※収容定員増加の認可申請中(2025年5月現在)。内容等に変更になる場合があります。

一緒に
つく
れる
方
が
い
い。

ともに
生
き
る
未
来
な
ら、



現代の社会課題の解決、
そして持続可能な社会の実現のために。
創立以来「ESD=持続可能な開発のための教育」に通じる教育に
取り組んできた成蹊大学が、次の100年を見据えつくり上げるのが
「国際共創学部(仮称)」です。
日本および世界の地域の文化や諸課題を知り、
人の営みそのものを学ぶ「国際日本学専攻(仮称)」と、
自然環境や地理といった、人と社会を取り巻く「環境」を探究する
「環境サステナビリティ学専攻(仮称)」の2専攻による専門教育を展開。
専攻を横断した学びで「文理複眼」の思考を養い、
他者との「共創」によって、あらゆる活動を推進する力を修得します。

TOPIC

文部科学省「大学・高専機能強化支援事業」に選定

成蹊大学 国際共創学部(仮称)の設置計画は、成長分野をけん引する高度専門人材の育成に向けた事業として認められており、政府が創設した基金により安定的・機動的かつ継続的な支援が行われています。

国際日本学専攻^(仮称)

募集人員 75名

▶詳しくはP56へ

日本の「文化」「地域」を見つめ、グローバル社会の未来を拓く

「文化学」「地域学」などを基盤分野とし、日本と世界をつなぐ文化の交流・多様性、さらにグローバル化する地域の諸課題、日本語教育などについて多角的に学びます。



Theme 学びのテーマ

生活文化からポップ・カルチャー
まで、日本の多様な文化をグロー
バルな視野で理解する



生活文化

衣食住の文化とグローバルな
文化の交流を理解する



地域創生

地域に学び、
地域を支える



共生社会

地域の中の
多文化社会を探る



日本美術

世界から
日本の美の源流を探る



ポップ・カルチャー

現代文化の特質を、
社会やメディアから分析する



異文化交流・比較文化

異なる文化を
どう理解・比較する?



日本語教育

日本語を教える
スペシャリストを育てる



環境サステナビリティ学専攻^(仮称)

募集人員 75名

▶詳しくはP58へ

「環境」「地理」をキーワードに、世界をつなぐ、新しい光を

「環境学」「地理学」などを基盤分野とし、成蹊学園が先覚的に実践してきた地域
や社会と協働する環境科学的な学びを軸とします。

Theme 学びのテーマ

環境や気候変動から観光や防災
まで、地域や社会を見つめながら
環境科学を学ぶ



サステナブル観光論

持続可能なツーリズムとは?
持続可能な観光地域とは?



気候変動論

気候変動問題に
グローバルな視点でアプローチ



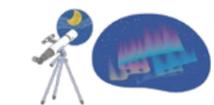
環境学・地域研究

自然と人間の持続可能な関係を
探究する



情報環境学

数理の力で
自然や社会を理解する



グローバル地球環境学

宇宙から地球環境を
俯瞰する



グローバル経済空間論

地理空間と産業活動の関係を
考える



地形地質・防災論

身近な環境の仕組みを知って
災害に強い街づくりを考える

垣根を越えて学生が集う

文理融合を加速させる 大学11号館

2024年9月に、最先端の研究環境を備えた理工学部研究室や、文系・理系の学生が交流し、自発的な学びを促進するためのラーニングcommonsなどを備えた大学11号館が誕生しました。理工学部の「創造的テクノロジー拠点」になるだけでなく、文系と理系の学生が学び合い、共同で社会課題に取り組む「コラボによるアイデアの泉」になります。



イメージ図提供: 竹中工務店

POINT 1 最先端の未来を生み出す研究空間
理工学部研究エリア

約40の理工学部研究室が集結し、最先端の研究設備を備えるとともに、研究空間の垣根を越えるフリースペースや交流プラットフォームも設置。建物内を可視化し、自由に回遊して意識や情報を共有できる設計にすることで、「この研究室のこの研究は面白そう」という予想外の刺激が生まれ、未来の研究につながるアイデアや可能性を生み出します。



交流プラットフォーム

研究エリアの中心に配置された施設で、中央の光庭からの光が心地よく、研究の合間にリラックスできる空間。学生が自由に場所を選択し、研究に取り組みます。研究室間の垣根を越えて交流を深め、学生間のシナジーが生まれることが期待されます。



研究室

POINT 2 未知への踏の交差点
ラーニングcommons トーリウム



自ら問い、自ら考え、自ら答えを導き出す。成蹊大学がずっと大切にしてきた主体的な学びの姿勢を、より加速させる場がこのラーニングcommons トーリウムです。学生は、理解を深めるための自主学習から専門分野の異なる人とのディスカッション、研究結果を発表するためのプレゼンテーションまで自由自在に活用することができます。学ぶことにアクティブな成蹊大生が集い、互いがインタラクティブに刺激し合うことで、これまでになかった視点や発想、そして未来へのヒントが形づくられています。



テラス

本物の木材でくみ上げた学生のコミュニケーションスペース



グループワークエリア/マルチユーススペース

グループでのディスカッションや課題に取り組むことができるエリアで、利用人数に応じてテーブルや椅子を自由に動かしレイアウトを変えることができます。



アカデミックサポートエリア

専属のアカデミック・インストラクターからの学習指導や相談ができるエリアです。レポートや論文などの書き方の指導を受けられるライティングセンターも併設しています。また、個別学習に適したデスクも設けられています。



プレゼンテーションエリア

学修成果の発表やイベントで使用できるエリア。半円形のオープンなつくりにするので誰でもプレゼンの様子を見ることができ、新たな気づきや出会いの場にもなります。



2階個別学習エリア

リフレッシュエリア

休憩や気分転換したいときに活用できるエリアで、1階には地元店舗のパンやおにぎりなどの軽食が購入できるショップやコーヒーマシン、自販機も設置されています。



POINT 3 国際交流の拠点
グローバルスクエア

留学生をはじめとする学生たちが自由に集う異文化交流エリアで、会話や学び合いなど、国籍を越えた交流の場です。国際教育センターが併設されており、留学や語学学習サポート、国際交流に関する情報収集、相談をすることができます。





2 Liberal Arts

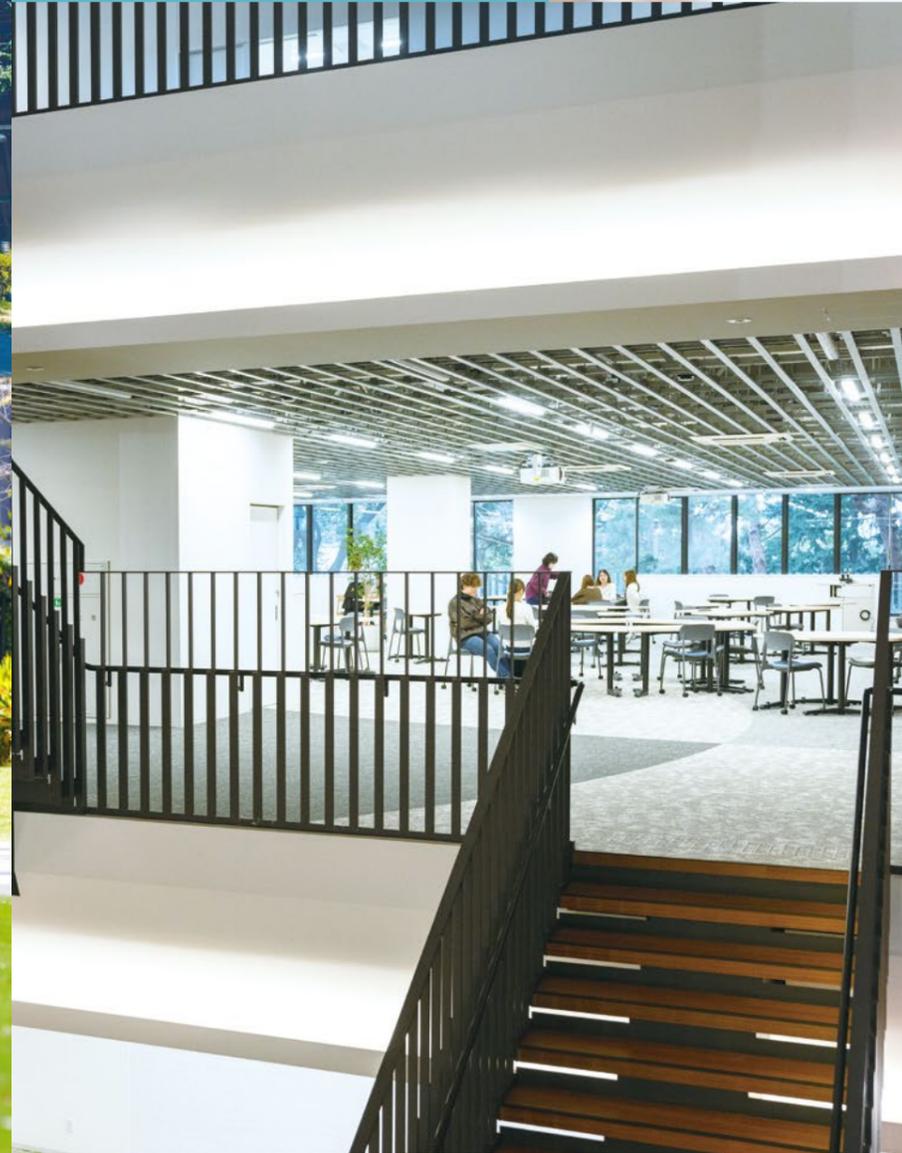
自分の答えを
見つける学び

発想力を磨く幅広い教育
時代に対応した力を身につける

▶P16



1
One Campus
五感を刺激する
学びの舞台
吉祥寺のワンキャンパス
個性を伸ばす少人数教育
▶P12



3
Career Support
可能性をカタチにする
キャリア支援
4年間のキャリアデザイン
産学連携の丸の内ビジネス研修
▶P26



1

五感を刺激する 学びの舞台

新たな価値を創造するためには、他者と出会い、

多様な価値観を尊重し、

相互に情報を交換するといった場の存在が不可欠です。

成蹊大学は、都心からほど近く、武蔵野の自然が色濃く残る

東京・吉祥寺のワンキャンパスが学びの舞台です。

この舞台でさまざまな刺激を受け、創造性が育まれていきます。



※2026年4月開設予定。

武蔵野市吉祥寺

キャンパスのある吉祥寺は、歴史や文学、音楽、アート、アニメ、自然などさまざまな文化が交差する街。老若男女が集い、グローバルに展開する企業から地域密着のコミュニティビジネスまで、持続可能な社会に向けた取り組みがさまざまな場所でされています。この豊かな環境で多様な価値観に触れながら、問題解決能力や実践力を育みます。





6学部約8,000人の学生が4年間吉祥寺のワンキャンパスで学びます。文系・理系の学生が学問領域を越えて学び合うだけでなく、運動施設や学生会館などもキャンパス内に整っているため、クラブや行事などの課外活動と学業を両立できることも大きな魅力です。

ワンキャンパス

全学部・全学年が共に学ぶ4年間

成蹊大学では、全ての学生が4年間を吉祥寺のキャンパスで学びます。学部や学年を越えた交流で幅広い人間関係を築くことができます。また、ワンキャンパスの特徴を生かしたカリキュラムや学部横断型のプログラムがあり、専門の異なる学生が多様な意見を交わしながら共に学ぶことで、幅広い知識や考え方を身につけることができます。



《ワンキャンパスのメリット》

文理融合の学び

全学部の学生が吉祥寺のキャンパスで共に学び、時には合同で社会課題や地域課題に取り組みます。専門領域を越えた交流を通し、他者を理解する力や協働する力を身につけます。2024年の秋には、新たな学びの拠点として大学11号館ラーニングcommonsが誕生しました。

充実した副専攻

各分野のスペシャリストである教員が同じキャンパス内にいることで、文系・理系のさまざまな授業を開講しています。学生は自身の専門分野だけでなく、興味や関心に合わせた学びに取り組みます。

▶副専攻制度 P20

課外活動への 取り組みやすさ

運動施設や学生会館などの施設がひとつのキャンパス内に整っているため、クラブ・サークル活動や行事などの課外活動と学業を両立することができます。

▶クラブ・サークル P76

生きた学びの場

ICT教育環境の充実

環境の変化に対応する学修の場

初等教育・中等教育におけるICT環境の変化により、高等教育においても発展的な対応が求められます。本学は、全教室に最新の視聴覚設備を導入し、学生にも開放しています。また、学生が映像・音声コンテンツを制作できるスタジオを整備し、自主的な活動をサポートしています。



進化する教室設備

「自ら学び・発信する」を鍛える

最新の視聴覚設備の導入により、どの教室でも主体的、対話的な授業が実施されています。自身のデバイス画面を教室のどこからでも無線投影可能なシステムにより、教員も学生もスムーズな資料共有・発表ができ、授業改善にもつながります。また、設備は学生が自由に利用できるため、自主性や積極性を発揮することができます。



少人数教育

個性を育てる伝統の少人数教育

「個性の尊重」を教育理念に、少人数による一人ひとりと向き合う教育を行っています。教職員と学生、学生同士が切磋琢磨しながら学びを深めます。実社会へのアプローチとして、地域や企業と協働しつつ課題を発見し、解決していく実践型の授業や研究も数多く用意しています。また、教職員は学生一人ひとりの学修状況を把握しながら指導にあたり、卒業後の進路実現に向けても手厚いサポートを実施しています。

少人数教育で磨かれる力

専門性 コミュニケーション能力 他者理解 etc.



1年次から始まる「ゼミの成蹊」

少人数で実施される演習

成蹊大学の教育は「教員と学生が心と心でつながる」ことを理想としており、大学開学以来伝統的に行われてきたゼミ指導教授制を維持発展させ、教員と学生の間に確かな信頼関係を築いています。また、全ての文系学部で卒業論文(ゼミ論文)・研究を必須とした教育を実施しています。

▶各学部学科の卒業論文・研究のテーマはP35へ

▶ゼミのテーマは各学科ページへ



専門性を深める研究活動

理工学部の集大成 少人数指導による卒業研究

理工学部では、各分野の基礎的な知識や技術を学んだ上で4年次の卒業研究に取り組めるよう、3年次後期から研究室に所属します。研究室では少人数のきめ細かい指導を受けながら、互いに高め合い卒業研究を完成させます。

▶研究室ごとの研究領域・分野、キーワードはP68へ



2

自分の答えを見つける学び

社会が大きく動く今、
世界で起こっている問題は「正解」のないものばかりです。
その中で解決策を見出すためには、
幅広い分野の知識を持ち、
多様性を理解して判断することが大切です。
自由な発想を生み出す基礎となるリベラル・アーツを学び、
自分の答えを見つける力を身につけましょう。

Liberal Arts



基礎から専門

自由な発想の基礎をつくる
成蹊教養カリキュラム
全学共通科目
▶P18

コミュニケーション	情報
ライフデザイン	教養基礎 持続社会探究



専門性を身につける
学部学科専門科目

経済学部 ▶P36	経営学部 ▶P40	法学部 ▶P44
文学部 ▶P48	国際共創学部(仮称) [※] ▶P54	理工学部 ▶P60



+a の専門分野を持つ

副専攻制度 ▶P20



可能性を広げる学び

留学 ▶P22	成蹊Global Study Program(GSP) ▶P24
成蹊アントレプレナーシッププログラム(SEP) ▶P25	
丸の内ビジネス研修(MBT) ▶P30	教員免許状取得 など ▶P31

※2026年4月開設予定。
収容定員増加の認可申請中(2025年5月現在)。
内容等は変更になる場合があります。



文理の枠を越えて幅広く学び、自由な発想の基礎をつくる

Point 1	Point 2	Point 3
多才な人々とワンキャンパスで刺激し合い、学び合う	多彩な科目から選んで学び広い視野と教養を身につける	多様な社会、SDGsなど「今の世の中」が分かる

カリキュラム

コミュニケーション	外国語科目	英語	College English(必修)、自分でデザインする英語学習、多読で学ぶ英語と文化 I・II、キャリアのための英語と文化、Discussion & Presentation、English for the Workplace
		初修外国語	基礎A I*B II*A II*B II*、演習コミュニケーション*、演習言語と文化*、演習検定対策*、演習プレゼンテーション*、世界の言語(ロシア語 I・II、イタリア語 I・II、タイ語 I・II、ルーマニア語 I・II)
情報	日本語力科目		実践日本語表現、実践話し方入門、実践漢字講座、語彙・読解講座、文章表現を磨く、話し方を磨く、創作実践A・B、文学作品の表現
	情報リテラシー	情報基礎A・B、情報技術活用概論、Python入門、オフィスソフトの活用と実践、Webサイト作成入門、Excel VBA入門、Java入門	
	データサイエンス	データサイエンス入門、データサイエンスのための基礎数学、Excelによるデータ分析入門、データベース入門、AI入門、統計分析入門	
ライフデザイン	キャリア教育科目	キャリアプランニング、桃李キャリア入門、イノベーション人材、キャリアセミナー、ビジネストレーニングセミナー、日本企業の現状と展望、キャリア発展講義、インターンシップ準備セミナー、実践キャリアデザイン	
	健康・スポーツ科目	健康・スポーツ演習A・B、スポーツと科学、スポーツと文化、スポーツと社会、健康と科学、健康心理学	
教養基礎	人文学		哲学の基礎、倫理学の基礎、文学への招待、芸術への招待、カルチュラル・スタディーズ、自己理解の心理学、近現代日本史
	社会科学		政治学の基礎、経済学の基礎、社会学と現代、日本国憲法、企業と社会、現代のマスメディア、現代社会の地理
	自然科学		脳科学と心、天文学入門、葉はなぜ効くか、身の回りの科学、科学技術の発展と歴史、サイエンス・トピックス
	総合		成蹊を知る、大学生活と相互理解、総合セミナーA・B、総合トピックス、海外言語文化研修A・B・C、短期海外研修
持続社会探究	環境・地域		気象と地球環境、自然環境と文明、日本列島の歴史と災害、外国の自然と社会、地域づくり論、環境科学トピックス
	国際理解		戦後の日本と世界、近現代のアジア、近現代のヨーロッパ、近現代のアメリカ、近現代のアフリカ、現代の国際政治、国際文化交流論、異文化理解トピックス
	人権・共生		裁判と社会、地域福祉論、人権とジェンダー、こころの健康と臨床、高齢者福祉論、福祉社会に生きる、共生社会トピックス
	実践		情報保障とボランティア、野外自然教育論、武蔵野地域研究、地元学実践演習、成蹊グローバルセミナーA・B

*ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語から最低ひとつの言語を選択し、履修します。
※上記のカリキュラムは全体の一部を抜粋。

I 成蹊教養カリキュラムで身につく力

学生が自らの観察力を研ぎ澄まし、自然界や社会の複雑な事象を解き明かす、本物に触れる学びが成蹊教育の原点です。その伝統を受け継ぎながら、情報力や多様な言語によるコミュニケーション力、アカデミックな思考力を高めていくために「成蹊教養カリキュラム」がつけられています。持続可能な社会を担い、より良い社会環境を実現していく力をバランスよく育むとともに、自分はどのように生きていくのかを考え実行する力を養います。

Pick Up 授業



英語
自分でデザインする英語学習

学生一人ひとりが自分の学習スタイルを探求する
さまざまな英語学習方法を実践し、その学習効果を理解しながら自分の学習スタイルに適した学習方法を探求することを目的とします。また、段階的目標(短期・中期・長期)を設定し、実績に応じて計画の見直しや軌道修正を行うことも学びます。学生一人ひとりが今までの自分の学習スタイルを見つめ直し、より効果的なスタイルを考え、英語学習を継続するコツを見つけます。



データサイエンス
データサイエンス入門

データ分析のための基礎的な知識やスキルを修得する
データサイエンスが社会の各分野でどのように活用され、そこからどのように有益な情報や価値が生み出されているのかについて、さまざまな分野におけるデータサイエンスの研究や活用事例を通して学び、データサイエンスの目的や意義、現代社会との関わりを理解することを目的とします。単位修得者には、「数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム」の修了認定を行います。



キャリア教育科目
桃李キャリア入門

成蹊大学での学びのモチベーションを向上させる
社会の諸分野で活躍されている卒業生を講師に招き、大学生活というキャリアを卒業後のキャリアに接続するヒントを、講師の経験を踏まえ講義します。自己のキャリア形成について低学年時から意識し、成蹊大学での学びのモチベーションを向上させることを目的としています。受講生は、各回にそこで何を学んだか、自分のキャリア形成にその知識をどう生かすべきかに関して学修します。



人権・共生
人権とジェンダー

実学として「使える」ジェンダー論を身につける
ジェンダー学に関する基礎的な知識から学び、社会をより良くするため広い視野から思考し、判断する力の修得を目指します。「ジェンダー」を正しく理解し、日本の状況を知り、社会で働く上で必要な実践的なコミュニケーション・スキルを学びます。さらに、世界のジェンダー問題から複眼的な視点で社会を見る力を養い、実学として「使える」ジェンダー論を身につけます。





興味や関心を追究し $+a$ の専門分野を持つ

「自分の専門だけでなく、全ての学問分野の基礎にある思想や哲学を掘り下げて学びたい。」そうした想いに応えられるよう、各自が自身の興味関心やニーズに合わせて $+a$ の学修を進められる副専攻制度を設置。これからの時代に必要なマルチな専門性を身につけることが可能です。なお、本プログラムの修了証はデジタル証明書のひとつである「オープンバッジ」にて発行します。

経済学部
経営学部
法学部
文学部
国際共創学部 (仮称)*
理工学部

$+a$

※2026年4月開設予定。

《副専攻制度の3つのポイント》

Point 1 自分の興味関心やニーズに沿って学べる	Point 2 組み合わせによってユニークな専門性が高まる	Point 3 学びの幅が広がり、問題解決能力が高まる
--------------------------------------	---	---------------------------------------

《 $+a$ マルチな専門性を備える多様な専攻》

歴史文化学 副専攻 歴史学の基本を通じて、各時代を読み解く力を身につける	哲学思想 副専攻 思想や哲学の古典を学び、知恵や教訓から新たな知見を引き出す	地理環境学 副専攻 文理融合的学問、地理学の視点から地域経済・社会の課題を考える	社会福祉 副専攻 誰もが安心安全に暮らすために必要な社会の仕組みを考える	公共政策 副専攻 暮らしやすい地域経済社会を築くために必要な公共政策を考える	言語文化 副専攻 (ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語) 言語と文化を学び、グローバル社会へのアプローチを試みる
国際関係 副専攻 急速に変化する国際関係を理解するための総合的思考力を修得する	経済学 副専攻 豊かさを公平に分ち合うために、基本的な経済学の知識を深める	経営学 副専攻 企業の活動や運営管理に関わる経営学など、専門領域を幅広く学ぶ	法学 副専攻 日常生活に関係する法を通じて、世の中の多様な事象を考察する	政治学 副専攻 政治学の基礎を学び、さまざまな問題を解決する方法を考える	文学 副専攻 人や社会を鋭く描く作品を読み解き、現代を生き抜く知恵を考察する
心理学 副専攻 ストレス対処など、心理学の現実生活での活用を目指す	科学と社会 副専攻 環境問題などを考える際に不可欠な科学と社会の関わりを掘り下げる	総合IT 副専攻 文系・理系を問わず、全ての学生に必要な情報技術の基礎を学ぶ	データサイエンス 副専攻 統計学などをベースとして、データに基づく問題解決方法を学ぶ	SDGs 副専攻 分野横断的な学びを通じて、持続可能な社会の実現に貢献する	

《多彩な組み合わせでデザインする自分だけの学び》

Case.1 法学部 + 総合IT副専攻 SNSで守るべき個人の権利を知る	Case.2 経済学部 + SDGs副専攻 持続可能な経済を知る	Case.3 経営学部 + 法学部副専攻 新たなビジネスを始める上で不可欠な経営と、法との関係性を知る
Case.4 文学部 + 心理学副専攻 心理を学び、言語文化や社会現象の理解を深める	Case.5 理工学部 + 経営学副専攻 企業経営のスキルを持ち併せた技術者をめざす	Case.6 国際共創学部 (仮称)* + 哲学思想副専攻 「人間とは?」から地域・世界が抱える課題解決のアプローチを考える



オープンバッジ

修得した知識やスキルを証明する国際技術標準規格のデジタル証明書です。学修成果の可視化により、さらなる学修意欲の向上、就職活動時や就職後にも自己の能力を対外的に示すツールとしての活用が期待されます。

- 発行対象例**
- 副専攻制度
 - 成蹊Global Study Program (GSP)
 - 成蹊アントレプレナーシッププログラム (SEP)
 - 丸の内ビジネス研修 (MBT)
 - 数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム ほか





豊かな国際感覚を養う

グローバル化が進展し、ボーダーレスとなった国際社会では、語学力・コミュニケーション能力に加え、豊かな国際感覚を備えた人材が求められています。
成蹊大学では、豊富な留学プログラムや、学内でも実現する国際交流の機会を通じて異文化との出会いの場を提供し、広い視野で世界を多角的に捉える力を育成します。

国際交流・留学のポイント

本学Webサイト ▶ 国際交流と留学
詳細はWebサイトをご覧ください。



Point 1

多彩な
留学プログラム

世界中のさまざまな国や地域での、語学留学、インターンシップ、現地大学の正規授業で専門科目を学ぶ学部留学など、学生それぞれの目的で選べる多彩なプログラムを用意しています。

Point 2

留学に対する
手厚い経済的支援

派遣留学生に対して成蹊大学独自の充実した奨学金制度を用意し、意欲ある学生の留学を経済的にバックアップしています。

Point 3

充実した
国際交流イベント

海外への留学制度だけではなく、学内でも外国人留学生との交流の機会が設けられています。ウェルカムパーティーなど年間を通して数多くのイベントが開催されています。

国際交流

国際感覚を育むキャンパス内の多様なプログラム

留学生や英語教員と
日常英会話を楽しむ

English Chat Time

教員と交えながら、留学生とさまざまなトピックスについて英語で話します。カジュアルなテーマから少し難しい話題など幅広く取り上げ、時にはボードゲームも行います。



成蹊大生と留学生との
集いの場

GLOBAL SQUARE

成蹊大生と留学生が自由に集う、交流や学び合いのスペースです。English Chat Timeや国際交流イベントのほか、留学説明会も定期的を実施しています。



四季折々のイベントを通じて
異文化交流を図る

国際交流・異文化交流イベント

留学生を歓迎するウェルカムパーティー、七夕やハロウィンなど留学生と交流できるイベントを年間を通して数多く開催しています。



学生が留学生の
キャンパスライフをサポート

バディシステム

留学生のキャンパスライフにおけるパートナーが「バディ」です。学生がバディとなり、さまざまな場面で率先して留学生をサポートしながら交流を深めることができます。



専用国際交流寮

留学生と共同生活を送り、自然に国際感覚を養う

留学生をはじめとする、さまざまな国の学生が共同生活を送っています。お互いを理解し学び合うことで、豊かな心を養い、国際感覚を身につけることができます。



留学

目的に合わせて選べる留学スタイル

本学が留学先大学と協定を締結している協定留学、一般財団法人JSAF (Japan Study Abroad Foundation) が提供するプログラムを利用するJSAFプログラム、教育機関を自由に選択する認定留学制度があります。半年または1年の中・長期留学をはじめ、夏期休業や春期休業期間中に参加する短期留学など、自分の目的に合わせて留学スタイルを選ぶことができます。



THE世界大学ランキングTOP100

イギリスの教育専門誌Times Higher Education (THE) が公表している世界の大学ランキングTOP100の大学と協定。
※THE World University Rankings 2025より

協定留学校は **20** 地域 **47** 校

短期留学 (夏期・春期休業期間中) 語学 + 異文化交流	中期留学 (前期or後期) 語学 + インターンシップ	長期留学 (1年間or6カ月間) 語学 + 専門科目
イギリス 長中短 エディンバラ大学 長中短 オックスフォード・ブルックス大学 長中短 カーディフ大学 長中短 ケンブリッジ大学 長中短 マンチェスター大学 アイルランド 長中短 ダブリンシティ大学 スペイン 長中短 サンティアゴ・デ・コンポステラ大学 長中短 アルカラ大学 メキシコ 長中短 グアダハララ大学	ドイツ 長中短 ボン大学 長中短 ハイデルベルク大学 フランス 長中短 リヨン第三大学 ベルギー 長中短 ブリュッセル自由大学 ノルウェー 長中短 ヘルゲン大学 アイスランド 長中短 アイスランド大学 イタリア 長中短 ヴェネツィア大学	ルーマニア 長中短 ルーマニア・アメリカ大学 台湾 長中短 淡江大学 長中短 実践大学 長中短 文藻外語大学 中国 長中短 北京大学 長中短 同済大学 長中短 復旦大学 長中短 広東外語外貿大学 長中短 上海交通大学 長中短 華東政法大学 長中短 黒龍江大学 長中短 上海理工大
韓国 長中短 高麗大学 長中短 梨花女子大学 長中短 漢陽大学ERICAキャンパス 長中短 弘益大学 タイ 長中短 チェンマイ大学 マレーシア 長中短 アジアパシフィック大学 オーストラリア 長中短 モナッシュ大学 長中短 マドック大学 長中短 グリフィス大学 長中短 ウーロンゴン大学 ニュージーランド 長中短 オークランド大学	カナダ 長中短 ビクトリア大学 長中短 ニューファンドランド・メモリアル大学 アメリカ 長中短 アメリカン大学 長中短 ウェスタン・ワシントン大学 長中短 メンフィス大学 長中短 ハワイ大学 マノア校 長中短 サンフランシスコ州立大学 長中短 ウィスコンシン大学マディソン校 長中短 オークランド大学	

一般財団法人JSAFを利用した留学

JSAFプログラム 協定校約 **100** 校

6カ月間
1年間

自分で自由に選ぶ留学
認定留学

6カ月間
1年間

授業料減免制度と奨学金

成蹊大学独自の制度により、意欲ある学生の留学を経済的に支援しています

留学する学生の大半が受給しています

	期間	成蹊大学納付金 (留学期間中)	留学先授業料	留学プログラム費 補助金(年額)	成蹊大学外国留学奨学金		単位認定 申請	修業年限 への算入
					一般学生	GSP生*5		
協定留学	長期 1年間 プログラムにより 半期留学もあり	2/3減免	免除	—	300,000円 ~500,000円*2	600,000円 ~800,000円*2	可	可
	中期 半期	2/3減免	自己負担	上限200,000円*1	250,000円	400,000円	可	可
	短期 夏期・春期休業期間中	減免対象外	自己負担	—	100,000円	100,000円	可	—
JSAFプログラム	半年または1年間	2/3減免	自己負担	半期 上限175,000円 1年間 上限350,000円	500,000円*6	800,000円*6	可	可
認定留学	半年または1年間を 単位とし、2年以内	2/3減免	自己負担	—	300,000円 ~500,000円*3	600,000円 ~800,000円*3	可/不可*3	可*4

*1 留学先の授業料が有償となる中長期のプログラムの場合に給付 *2 地域による *3 留学先機関による *4 修業年限に算入できるのは1年間を限度とする *5 GSP生向けの各種奨学金は予定額を記載。なお、成績の基準を満たさなかった場合は一般学生の金額を適用 *6 留学の全期間を学部留学する場合のみ(語学留学は対象外) 2025年度予定の奨学金制度です。定期改正により変更となる場合があります。奨学金の給付には成績や語学スコアの基準があります。

その他の奨学金

■成蹊学園三菱留学生奨学金/学業成績や語学スコア、面接などの審査の上、採用されると、留学先の授業料が有償の場合は180万円を上限として、無償の場合は120万円を上限として給付されます。
■JSAFプレステージ奨学金/ハーバード大学やオックスフォード大学などのJSAFプレステージ・スタディアブロードプログラム対象大学に派遣が決定した学生のうち所定の基準を満たした場合は、200万円を上限にプログラム費の80%を奨学金として給付します。

成長への意欲を支える学び

NEW 成蹊Global Study Program (GSP)

「GSP」は、各学部学科で培う専門性に加えて、グローバル化時代に貢献できるスキルと柔軟性を身につけるグローバル教育プログラムです。選抜された1学年90名の学習意欲と英語力の高い学生が、学部の枠を越えて切磋琢磨しながら学び合います。また、本プログラムの修了証はデジタル証明書のひとつである「オープンバッジ」にて発行します。

プログラムで磨かれるチカラ

高度な英語力	質問力	発信力	国際理解
協働する力	積極性	柔軟性	適応力

GSPの特徴

実践的な英語力の強化

英語を学ぶ

「Advanced English」を受講し、読む・書く・話す・聞くの4技能向上に加え、留学やビジネスで役立つ実践的な英語力を身につけます。

英語による専門科目

英語で学ぶ

語学としての英語科目だけでなく、多様な専門科目を英語で学びます。「Global Studies」群から専門的な学問内容を選んで英語で学ぶことによって、グローバルな知見と国際感覚を磨きます。留学前の訓練としても最適です。

GSP専用のゼミの設置

発信型のゼミで学ぶ

少人数制のクラスで、2年次前期にはディスカッション、2年次後期にはプレゼンテーションといったアウトプット活動を通して、英語による質問力・発信力を高めます。3年次のゼミではプロジェクト(協働学習)を行い、提案力や問題解決力を身につけていきます。また、一連のゼミを通して、留学や実社会で求められるライティング力、リサーチ力、異文化理解力、クリティカル・シンキング力も身につけていきます。

手厚い経済的サポート

中期・長期留学では、留学時の成蹊大学授業料等納付金の3分2が減免されるほか、留学奨学金給付^{※1}や留学先大学の授業料免除^{※2}の制度があり、経済的サポートを充実させています。また、GSP生は留学奨学金の給付金額が増額されます。

60~80万円

留学奨学金給付^{※1}

成蹊大学授業料等納付金2/3減免
留学先授業料免除^{※2}



^{※1} 予定額。一定の基準を満たした上で選考があります。給付金額は長期留学する場合の年額です。
^{※2} 留学先により自己負担の場合もあります。

学びの流れ

1年次 (プレGSP)	2年次前期	2年次後期	3年次前期
GSP応募	専用ゼミ (Seminar) ▼ ディスカッション	プレゼンテーション	プロジェクト
英語力強化 (IELTS [™] や TOEFL [®] などの 英語スコア取得に 挑戦)	Advanced English ▼ Intensive Reading, Essay Writing, Discussion & Presentation, Academic Listening, English for the Workplace, World Englishes Global Studies ▼ Topics in Business, Global Career Design, Japanese Economy, Topics in Political Studies, Law in Society, Topics in Japanese Culture, Japanese Art, Topics in History, Regional Studies, Science and Technology, Geography, Climate and Nature, ほか多数		
留学検討・準備	留学・キャリア ▼ 海外研修科目も含まれており、GSPは中長期留学の力強い基盤となります。		

NEW 成蹊アントレプレナーシッププログラム (SEP)

激しく変化する社会の中で、新しい課題が次々と生まれます。これまでうまくいっていたものが逆に障害になってしまうこともあります。今まさに、「常識」という殻をやぶり全く新しい枠組みで物事を考え、自分の力で行動を起こそうとする人が求められています。このような人材を本気で育てようとする教育プログラムがSEPです。

アントレプレナーシップとは？

「与えられた環境のみならず、自ら枠を越えて行動を起こし新たな価値を生み出していく精神」のこと。



プログラムで育む素養と将来像

イノベーションマインド

新しいアイデアや方法を創造し、挑戦と改善を通じて進化する意欲と能力を育みます。常に問題を意識し、未来を見据えて、柔軟で創造的な発想を持ち続けることが重要です。

自立心と行動力

自ら考え、決断し行動することで、目標達成に向けて進む力が生まれます。困難に直面しても自信を持ち、積極的に行動することが成長にもつながります。



将来像

- 企業でプロジェクトリーダーを任せられ新しい企画や提案を行う。
- 自分自身で起業する。
- コンサルタントとしてビジネスのアドバイスを行う。
- 実家や親戚の会社を承継する。

SEPの特徴

徹底したプロジェクト型授業

少人数の授業を基本とし、課題発見、課題解決のためのグループワークを通じて、チームビルディングやプロジェクトの進行管理の手順や手法などを身につけていきます。

実務家教員による実践的教育

官公庁や民間企業などで実際に活躍している方を多数講師に招き、現場で実際に起こっていることを聞くことができるだけでなく、学生からの相談にも対応していきます。

授業を超えた学びの拡張

正課科目のほかに学生の興味・関心に応じて多数の課外講座(エクステンション)を設けています。また、学外のピッチコンテストやプレゼンコンクールなどへの参加も奨励します。

学びの流れ

1年次	2年次	3年次	4年次
<ul style="list-style-type: none"> ● イノベーション人材 「イノベーション人材」は全学生が履修可能(人数により抽選あり。)興味をもった学生が1年次にSEPに登録する。(定員40名) *定員は変更される場合があります。 ● ビジネストレーニングセミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業課題演習 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業創造演習 MBT(丸の内ビジネス研修)に参加した場合は3年次の科目の一部を、MBTの科目に振替えることが可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスコンテスト、プレゼンコンクールなどに参加 学生の活動を支援するための課外講座は、2年次から4年次まで随時実施されています。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業企画入門 ● マネタイズ戦略入門 	<ul style="list-style-type: none"> ● 起業実務入門 ● SEP発展講義 	

3

可能性をカタチにする キャリア支援

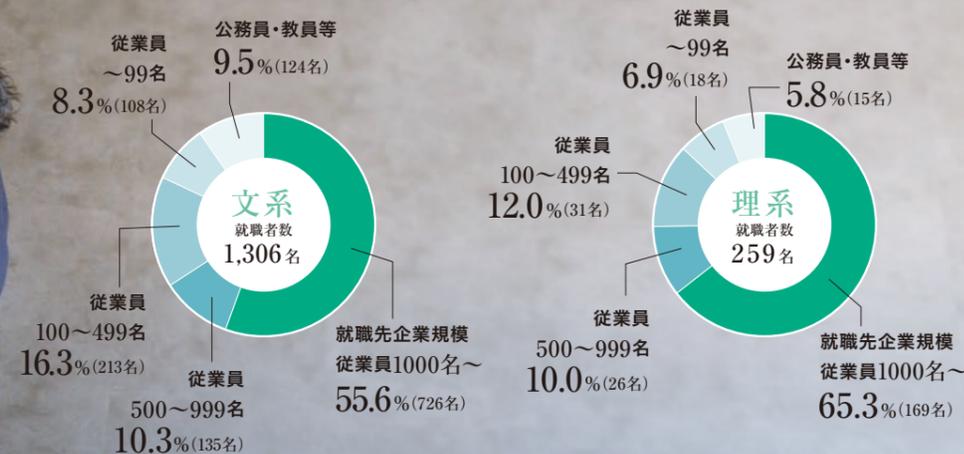
成蹊大学では、一人ひとりと向き合う「個別相談」、
さらに、1年次から始まる体系化された「キャリア教育」と
「キャリア・就職支援プログラム」で
確かなキャリア形成をバックアップしています。

また、企業や地域・行政と連携し、実社会と接する機会を多く用意するなど、
きめ細かく徹底したキャリア支援を行っています。

- 1 一人ひとりの進路を実現する個別相談
- 2 段階的なキャリア教育で希望の進路へ
- 3 企業と連携した実践的プログラム

経済動向にかかわらず、
高い実績を残し続けています

2024年度就職率
2025年3月31日現在 **97.2%**



Career Support





POINT 1 一人ひとりの進路を実現する個別相談

学生一人ひとりが納得した進路へ進めるよう、専門の相談員によるきめ細かな個別相談を実施しています。将来のキャリアについて1年次から幅広く相談することができ、3年次からはエントリーシートや面接対策など具体的な就職活動全般のサポートを行います。また、学生が相談員を選択して予約するシステムを採用しており、一人ひとりに合ったアドバイスを行えるようになっています。

個別相談年間総数
約 11,000回



キャリア支援センターの学生への想い

キャリア支援センター事務局長
本郷 有充

就職活動を成功に導くための秘訣は、充実した学生生活を送るとともに、早めの準備を行うことです。そうはいっても、就職活動は人生初の経験になるので、どのような準備をすればよいか分からず不安に思うことでしょう。そうした不安を抱える皆さんを最大限支援するのが我々の役目です。是非ともキャリア支援センターを頼ってほしいと思います。

POINT 2 段階的なキャリア教育で希望の進路へ

1・2年次は「キャリア教育科目」を中心に、自分自身がどのような人生を生きていくのか、社会で働くことの意味は何か、を考えることから始め、業界の現状や企業のキャリア形成などについての理解も深めていきます。3年次からは就職活動を意識し、企業説明会やインターンシップ、各種試験対策講座などに参加し、希望する業界への就職に向けて準備を進めていきます。

4年間のキャリアステップ

1年次・2年次

自己発見・行動計画

自分自身を見つめ、社会を知り、将来を見据えた行動計画を立てる

- ・キャリア教育科目受講
- ・グローバルキャリアセミナー受講
- ・キャリア支援プログラム参加

3年次

就職活動準備

具体的な目標を定め、自分で考え、行動を起こす

- ・自己分析
- ・志望業界・企業研究
- ・就職支援プログラム参加
- ・OB・OG訪問

- ・インターンシップへの参加

キャリア教育科目 成蹊教養カリキュラム[全学共通科目]

- 1年次対象** キャリアプランニング、ビジネストレーニングセミナー
- 2年次対象** グローバルキャリアセミナー、キャリアセミナー、キャリア発展講義
- 3年次対象** 丸の内ビジネス研修(MBT) ▶P30、日本企業の現状と展望、インターンシップ実習、インターンシップ準備セミナー、Global Career Design ほか

キャリア・就職支援プログラム

- 全学年対象** 業界研究セミナー、公務員試験対策講座、就職四半報の読み方セミナー ほか
- 1年次対象** 新入生進路・就職ガイダンス
- 3年次対象** 進路・就職ガイダンス、学内企業セミナー、グループディスカッション対策講座、筆記試験対策講座 ほか

4年次

就職活動・進路決定

就職活動を通して自分を磨き、活動を継続していく

- ・エントリー
- ・説明会参加

選考

内定

1 キャリア教育科目

1年次からの体系化されたキャリア教育で
目指す将来像を早期に具体化する

キャリア教育科目では、社会に必要な力を身につけるために大学で何を学び、行動するかを最初に学びます。学びを通して調査力、論理的思考力、傾聴力、自己発信力などを養い、企業や地域・行政と連携したプロジェクトに参加することで、身につけた力を実社会で生かす術を学びます。学びを通して目指すべき将来像を明確にします。



TOPIC



世界のビジネスに直接触れる本学独自の
人材育成プログラム

三菱海外ビジネス研修(MOBT)

三菱海外ビジネス研修(MOBT)は、グローバル意識を持ち、将来海外で活躍するビジョンを持った学生を対象に実施されるプログラムです。希望者は選抜の上、3年次に協力企業へ派遣され、現地スタッフや駐在員の方との交流、ディスカッションなどを通して、文化・習慣・宗教・働き方・ビジネスモデルなど、多様な切り口から「グローバルマインド」を醸成し、将来的な人格形成やキャリア形成につながる貴重な経験を積むことができます。



協力企業 ※2024年度実績

紀伊國屋書店タイ店/大正製薬ベトナム/三菱自動車ベトナム/三菱自動車タイランド/タイ国三菱商事/三菱商事ホーチミン支店/三菱ロジスネクスト

1 各種支援講座

年次や時期に対応した充実のプログラム

キャリア担当の職員が企業人事と情報交換して得た情報や、社会状況を踏まえたオリジナルのイベントを企画し実施しています。毎年実施時期や内容を見直し、学生にとって最適なプログラムで就職活動を手厚くサポートしています。

Pick UP 業界研究セミナー

各業界・企業のつながりを知り、研究方法を理解することで、学生の視野や進路の選択肢を広げることを目的として実施しています。



Pick UP 優良企業の探し方講座

優良企業とはどのような企業か、どのように探せばよいのかなど、企業選択の視野を広げることを目的として開催しています。企業理解を深めるための情報源の見つけ方や、地方就職(U・Iターン)の進め方なども紹介しています。



Pick UP キャリセンLIVE(年間約20回実施)

オンラインツールを使用し、就職活動時期に合わせたトピックスを生配信します。配信が一方通行にならないように、配信中に学生の質問に回答し、双方向のコミュニケーションを行っています。何気ない疑問や不安を参加者同士で共有することができ、就職活動へのモチベーションアップにもつなげています。



Pick UP 学内企業セミナー

多分野の優良企業を招いて採用説明会を開催

参加企業 (2024年度実績) ※企業名・団体名は2025年4月1日現在

参加企業 **150**社以上
東京海上日動火災保険/あいおいニッセイ同和損害保険/みずほフィナンシャルグループ/三井住友銀行/三井住友信託銀行/ゆうちょ銀行/日本政策金融公庫/商工組合中央金庫/日本生命保険/明治安田生命保険/三菱商事マシナリ/三菱食品/ロッテ/雪印メグミルク/大日本印刷/TOPPAN/東急エージェンシー/三菱電機/沖電気工業/村田製作所/三菱マテリアル/三菱自動車工業/本田技研工業/日産自動車/鹿島建設/清水建設/三菱倉庫/三菱地所プロパティマネジメント/SCSK/Sky/NTTデータ・アイ/日本オラルク/日立システムズ/東日本旅客鉄道/京成電鉄/日本航空/日本通運/帝国ホテル など

POINT 3 企業と連携した実践的プログラム

企業と連携し、社会が抱える課題の解決に取り組む「丸の内ビジネス研修(MBT)」やプロジェクト型の授業を実施するほか、多くの企業と連携してキャリア・就職支援を行っています。



最前線のビジネス現場を知る人材育成プログラム
丸の内ビジネス研修(MBT)
 Marounouchi Business Training

本学Webサイト ▶ キャリア支援センター
 ▶ 丸の内ビジネス研修(MBT)
 詳細はWebサイトをご覧ください。



約7か月間かけて行う成蹊大学独自の産学連携人材育成プログラムです。多数の有力企業の協力の下、課題に取り組む学内研修やインターンシップを実施。研修や討論においては文系・理系の学生が一緒に取り組むことで、異なる考え方や専門分野への相互理解を深め、協働して課題を発見、解決する力身につけます。なお、本プログラムの修了証はデジタル証明書のひとつである「オープンバッジ」にて発行します。

MBTの特徴

- 1 多業種・多職種とのコラボレーション
- 2 文理融合のプロジェクト
- 3 課題解決型プログラム

丸の内ビジネス研修(MBT)の流れ



- 学内準備研修
- 丸の内研修

東京・丸の内企業課題のプレゼンテーションや討論などを行うほか、第一線で働く企業の方を招き講義を聴いて質疑応答を行います。



- インターンシップ実習

営業同行(文系)、工場実習(理系)など各企業で就業体験。



- 学内個人発表会／丸の内成果発表会

企業課題で取り組んだ課題についての成果発表や、各人がインターンシップ実習にて実施した業務内容やその成果についての報告など、協力企業の担当者や関係者に向けて発表します。

MBT協力企業 (2024年度実績)

三菱電機/三菱地所プロパティマネジメント/三菱重工業/東京海上日動火災保険/三菱冷熱工業/三菱総合研究所/東京海上日動システムズ/三菱地所リアルエステートサービス/三菱オートリース/三菱ロジスネクスト/明治安田生命保険/AGC
 ※企業名・団体名は2025年4月1日現在

※年度により内容やスケジュールは変更となる場合があります。

免許・資格サポート

1 教員免許状取得

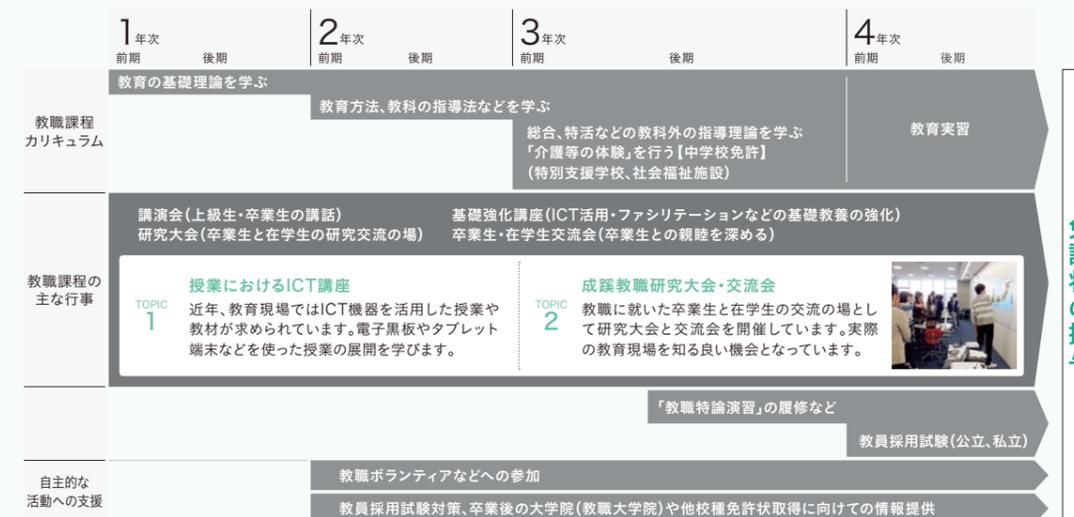
教員免許状取得・教員を目指す学生をサポート
 教職課程センター

教職課程センターは、教員免許状の取得から教員採用試験対策まで、実際に教職に就けるよう、きめ細かなサポートを行います。学習スペースを提供し、教職課程専任教員が教職に関する質問や相談に応じるオフィス・アワーを設けているほか、卒業生の現任教員と懇談する機会を提供するなど、教員を目指す学生を全面的に支援しています。

取得できる教員免許状とその教科

学部・学科	中学校 一種免許状	高等学校 一種免許状	学校図書館 司書教諭
経済学部 経済数理学科 現代経済学科	社会	公民 地理歴史/公民	○
経営学部 総合経営学科	社会	公民	○
法学部 法律学科 政治学科	社会	地理歴史/公民	○
文学部	英語英米文学科	英語	英語 ○
	日本文学科	国語	国語 ○
	国際文化学科 現代社会学科	社会	地理歴史/公民 ○
理工学部 理工学科	数学/理科	数学/理科/情報/工業	○

4年間のステップ



免許状の授与

1 公務員試験対策

公務員試験合格に向け、学内でもサポート

専門学校と提携して公務員試験対策講座を学内で開講しています。大学の学年暦に合わせたスケジュールのため、授業や行事とも両立しながら無理なく公務員試験対策に取り組むことができます。ほかにも説明会やグループガイダンス、内定者報告会など、さまざまな情報を収集できる機会を用意しています。

公務員就職実績 [2025年3月卒業生、大学院修了生]

財務省/法務省/経済産業省/厚生労働省/国土交通省/農林水産省/防衛省/検察庁/特許庁/国税庁/海上保安庁/裁判所事務官/青森県庁/茨城県庁/埼玉県庁/千葉県庁/東京都庁/東京特別区(1類)/市川市役所/川越市役所/国立市役所/さいたま市役所/狭山市役所/静岡市役所/船橋市役所/つくば市役所/所沢市役所/西東京市役所/東松山市役所/武蔵野市役所/横浜市役所/警視庁/神奈川県警察本部/埼玉県警察本部/千葉県警察本部/山梨県警察本部 (ほか)

1 資格取得サポート

成蹊大学では、資格試験専門学校が開講する資格試験対策講座の一部を、成蹊大生向けの優待料金で受講することが可能です。計画的な学習で実力を蓄え、それぞれの進路目標を達成する学生も着実に増えています。

社会保険労務士/司法書士/行政書士/公認会計士/税理士/日商簿記検定/ITパスポート/基本情報技術者 ほか

各種資格取得に向けて専門学校と提携し支援しています。

就職実績

本学Webサイト ▶ キャリア支援センター ▶ 就職状況
詳細はWebサイトをご覧ください。



学部別・業種別就職状況 2025年3月31日現在

学部別就職先

学部	業種別就職状況 (2025年3月31日現在)	学部別就職先
経済学部	<p>経済学部 214名</p> <ul style="list-style-type: none"> 公務員・教員等 7.0% (15名) IT業 22.0% (47名) サービス業 28.0% (60名) 金融業 18.7% (40名) 商業 7.9% (17名) 製造業 16.4% (35名) 	<p>●金融業</p> <ul style="list-style-type: none"> あいおいニッセイ同和損害保険 静岡銀行 損害保険ジャパン SOMPOひまわり生命保険 第四北越銀行 大和証券グループ 多摩信用金庫 千葉銀行 東海東京フィナンシャル・ホールディングス 東京センチュリー <p>日新火災海上保険</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本政策金融公庫 日本カストディ銀行 芙蓉総合リース 北陸銀行 みずほ証券 三井住友海上火災保険 三菱UFJ銀行 三菱UFJニコス 武蔵野銀行 明治安田生命保険 <p>りそな銀行</p> <ul style="list-style-type: none"> ●商業 ニトリ 三菱食品 ●製造業 オムロン 鹿島建設 ココロ 住友林業 セキスイハイム中部 大成建設 <p>東急建設</p> <ul style="list-style-type: none"> 東洋建設 パナソニックホールディングス 富士電機 三菱製紙 三菱電機 横河電機 ●サービス業 伊藤忠ロジスティクス インタージホールディングス JTB <p>住友不動産ステップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合警備保障 三井不動産商業マネジメント 三菱地所プロパティマネジメント 三菱地所リアルエステートサービス 読売新聞グループ本社 ●IT業 伊藤忠テクノソリューションズ インテック SCSK NECソリューションイノベータ <p>NTTデータ・アイ</p> <ul style="list-style-type: none"> MS&ADシステムズ 第一生命テクノクロス デロイト トーマツ アクト 東京海上日動システムズ 日立システムズ BIPROGY 富士ソフト 富士ファイルビジネスイノベーションジャパン 三井住友トラスト・システム&サービス 三菱総研DCS <p>三菱UFJトラストシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> 明治安田システム・テクノロジー ●公務員・教員等 経済産業省 埼玉県庁 成蹊学園 東京特別区(1類) 東京都庁 農林水産省 東松山市役所
経営学部	<p>経営学部 289名</p> <ul style="list-style-type: none"> 公務員・教員等 2.8% (8名) IT業 19.0% (55名) サービス業 33.2% (96名) 金融業 18.3% (53名) 商業 11.8% (34名) 製造業 14.9% (43名) 	<p>●金融業</p> <ul style="list-style-type: none"> あいおいニッセイ同和損害保険 アフラック生命保険 SMBC日興証券 NTTファイナンス 岡三証券 オリックス生命保険 損害保険ジャパン SOMPOひまわり生命保険 大樹生命保険 太陽生命保険 大和証券グループ <p>日本マスタートラスト信託銀行</p> <ul style="list-style-type: none"> みずほ銀行 三井住友銀行 三菱オートリース 明治安田生命保険 ゆうちょ銀行 りそな銀行 ●商業 伊藤忠丸紅鉄鋼 キャノンマーケティングジャパン セブン イレブン・ジャパン トラスコ中山 日本アクセス <p>三菱商事エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 三菱商事ケミカル 良品計画 ●製造業 オークマ 沖電気工業 鹿島建設 キッセイ薬品工業 ココロ 清水建設 積水ハウス 大和ハウス工業 東レ <p>ニコン</p> <ul style="list-style-type: none"> ニッスイ 日本発条 富士フィルムメディカル 三菱プレジジョン 三菱マテリアル 明電舎 LIXIL ●サービス業 エイチ・アイ・エス ADKホールディングス 住友倉庫 <p>中部電力</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本総合研究所 博報堂プロダクツ 東日本旅客鉄道 北海道電力 三井不動産レジデンシャルリース 三菱地所プロパティマネジメント 三菱地所リアルエステートサービス ルミネ ●IT業 伊藤忠テクノソリューションズ インテック <p>SCSK</p> <ul style="list-style-type: none"> NECソリューションイノベータ MS&ADシステムズ 大塚商会 キャノンITソリューションズ Sky スクウェア・エニックス スミセイ情報システム トランスコスモス 日本タタ・コンサルタンシー・サービス 日立ソリューションズ <p>富士ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> みずほリサーチ&テクノロジーズ 三菱総研DCS ●公務員・教員等 茨城県庁 財務省 東京特別区(1類) 日本年金機構
法学部	<p>法学部 415名</p> <ul style="list-style-type: none"> 公務員・教員等 13.7% (57名) IT業 14.0% (58名) サービス業 29.2% (121名) 金融業 17.8% (74名) 商業 9.9% (41名) 製造業 15.4% (64名) 	<p>●金融業</p> <ul style="list-style-type: none"> あいおいニッセイ同和損害保険 あおぞら銀行 アフラック生命保険 かんば生命保険 静岡銀行 住友生命保険 第一生命保険 大同生命保険 太陽生命保険 大和証券 東海東京フィナンシャル・ホールディングス <p>東京海上日動火災保険</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本政策金融公庫 福岡銀行 三井住友銀行 三菱UFJ銀行 明治安田生命保険 りそな銀行 ●商業 キャノンマーケティングジャパン ニトリ ●製造業 SMC <p>大林組</p> <ul style="list-style-type: none"> シャープ スズキ 住友林業 積水ハウス 太平洋セメント 大和ハウス工業 THK キッセイハイム ニチレイフーズ 日産自動車 日本精工 <p>日本発条</p> <ul style="list-style-type: none"> ミサワホーム 三菱地所設計 三菱自動車工業 三菱電機 三菱マテリアル 村田製作所 UBE三菱セメント YKK AP ●サービス業 出光興産 共同通信社 <p>時事通信社</p> <ul style="list-style-type: none"> セコム 総合警備保障 東京電力ホールディングス TOKAIホールディングス 日本通運 三井不動産ビルマネジメント 読売新聞グループ本社 ●IT業 コナミグループ コナミデジタルエンタテインメント シーエーシー <p>トランスコスモス</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本電気 BIPROGY 富士ソフト 富士通 みずほリサーチ&テクノロジーズ ●公務員・教員等 経済産業省 警視庁 検察庁 厚生労働省 国際協力機構 <p>国税庁</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土交通省 千葉県教育委員会 千葉県庁 東京都教育委員会 東京特別区(1類) 東京都庁 特許庁 法務省 武蔵野市役所 横浜市役所
文学部	<p>文学部 388名</p> <ul style="list-style-type: none"> 公務員・教員等 11.3% (44名) IT業 13.1% (51名) サービス業 37.6% (146名) 金融業 12.9% (50名) 商業 10.1% (39名) 製造業 14.9% (58名) 	<p>●金融業</p> <ul style="list-style-type: none"> あいおいニッセイ同和損害保険 あおぞら銀行 SMBC日興証券 SBI新生銀行 オリックス かんば生命保険 クレディセゾン 損害保険ジャパン 第一生命保険 大樹生命保険 大同生命保険 <p>千葉銀行</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本政策金融公庫 日本生命保険 みずほ銀行 三井住友ファイナンス&リース 三菱UFJモルガン・スタンレー証券 横浜銀行 りそな銀行 ●商業 紀伊國屋書店 キャノンマーケティングジャパン ニトリ <p>良品計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ローソン ●製造業 NTN オークマ 住友林業 積水ハウス 太平洋セメント 大和ハウス工業 竹中工務店 テルモ 東京セキスイハイム <p>西松建設</p> <ul style="list-style-type: none"> ブルボン 三井金属鉱業 三菱地所設計 三菱自動車工業 三菱電機 三菱マテリアル 山崎製パン 雪印メグミルク YKK AP ●サービス業 エイチ・アイ・エス <p>ANAウイングス</p> <ul style="list-style-type: none"> 京成電鉄 JTB JALスカイ 住友倉庫 セキスイハイム不動産 全日本空輸 総合警備保障 ソラシドエア シーエーシー 日本通運 乃村工務社 <p>PwC税理士法人</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本旅客鉄道 ●IT業 アルファシステムズ インテック SCSK エヌ・ティ・ティ・コムウェア キャノンITソリューションズ コーエーテックモホールディングス シーエーシー スミセイ情報システム トランスコスモス <p>日本タタ・コンサルタンシー・サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 日立システムズ 富士ソフト ●公務員・教員等 国立市役所 警視庁 厚生労働省 埼玉県教育委員会 埼玉県庁 東京都教育委員会 東京特別区(1類) 東京都庁
理工学部	<p>理工学部 259名</p> <ul style="list-style-type: none"> 公務員・教員等 5.8% (15名) IT業 45.9% (119名) サービス業 15.1% (39名) 金融業 2.7% (7名) 商業 3.1% (8名) 製造業 27.4% (71名) 	<p>●金融業</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽生命保険 三井住友海上火災保険 ゆうちょ銀行 ●商業 プラス ●製造業 アマダ いすゞ自動車 荏原製作所 大林組 沖電気工業 カンオ計算機 <p>カルビー</p> <ul style="list-style-type: none"> 関東化学 小林製薬 清水建設 Japan Advanced Semiconductor Manufacturing スズキ SUBARU 大日本印刷 タカラスタンダード 田辺三菱製薬 TMEIC <p>デンソー</p> <ul style="list-style-type: none"> 東芝 東芝エネルギーシステムズ 東芝テック 東レ 日本信号 日本航空電子工業 パナソニックオートモーティブシステムズ 本田技研工業 マックス 三菱自動車工業 三菱電機 三菱電機ビルソリューションズ <p>三菱マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 三菱ロジスネクスト 横河電機 ●サービス業 NTTドコモ 京浜急行電鉄 コーエーテックモゲームス 総合警備保障 ソニーミュージックグループ ソフトバンク 東京電力ホールディングス 日本総合研究所 野村総合研究所 <p>三菱倉庫</p> <ul style="list-style-type: none"> ●IT業 インテック SCSK NECソリューションイノベータ NTTデータ NTTデータ・アイ NTTデータMHIシステムズ 大塚商会 キリンビジネスシステム シーエーシー JALデジタル Sky <p>スミセイ情報システム</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京海上日動システムズ トランスコスモス ニッセイ情報テクノロジー 日本アイ・ピー・エム 日立ソリューションズ BIPROGY 富士ソフト 富士通 丸紅情報システムズ 三井住友トラスト・システム&サービス 三菱総研DCS <p>●公務員・教員等</p> <ul style="list-style-type: none"> 警視庁 埼玉県庁 千葉県教育委員会 東京都教育委員会 日本中央競馬会 船橋市役所 松戸市役所 横浜市教育委員会

*2022年4月より1学科5専攻に改編

学部学科index

	学科・専攻名/学生男女比(2025年度)	将来	学びのキーワード	卒業論文・研究テーマ例	取得を目指す免許・資格	
経済学部 ▶P36	経済数理学科 ▶P38 男子71% 女子29%	経済学・データ解析の専門家として、激変する時代の中で社会を正しくリードしていく人材へ	マクロ経済学/ミクロ経済学/計量経済学/統計学/プログラミング/経済数学/ゲーム理論/組織の経済学/公共経済学/企業会計/金融	<ul style="list-style-type: none"> ●新卒就職活動による経済学的損失の推定 ●ボードゲームとゲーム理論—チェスと将棋 ●いじめ問題の解明・解決への経済学的アプローチ ●行動経済学で紐解くソシャゲのしくみ 	<ul style="list-style-type: none"> ●物価水準の財政理論の2期間モデルによる分析 ●タイル尺度を用いた地域価格差変化の分析 ●PFI方式による公共施設整備の課題 ●パンデミック時における株価上昇要因 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員免許状 中学一種 社会 高校一種 公民 学校図書館司書教諭 ●社会福祉主事[任用]
	現代経済学科 ▶P39 男子69% 女子31%	グローバル経済や地域経済における諸課題を発見し、他者と協働して持続可能な経済社会づくりに貢献する人材へ	サステナビリティ/グローバル経済/地域コミュニティ経済/フィールドワーク/地域研究/GIS/制度・歴史/企業経済/金融経済/地域・環境/公共政策	<ul style="list-style-type: none"> ●世界金融危機以降の株式市場とマクロ経済 ●ASEAN自由貿易地域の発足と対内投資 ●ガーナ共和国におけるe-waste問題 ●日本の物流業界における雇用と労働 	<ul style="list-style-type: none"> ●伝統産業維持における職能集団コミュニティの役割 ●ディアスポラの観点からみたアメリカの社会経済 ●古民家活用シェアハウスを拠点とした二地域居住 ●起業家精神を育む地域風土とは 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員免許状 中学一種 社会 高校一種 地理歴史・公民 学校図書館司書教諭 ●社会福祉主事[任用]
経営学部 ▶P40	総合経営学科 ▶P42 男子49% 女子51%	経営学の基礎から応用までの十分な知識を持ち、高い語学力や最新の情報機器に関するスキルを身につけた職業人として世界で活躍する人材へ	企業経営/組織と人間/マーケティング/消費者行動/情報戦略/国際戦略/簿記・会計/ファイナンス/コーチング/心理分析	<ul style="list-style-type: none"> ●消費者理解とマーケティング戦略 ●企業行動・経営手法研究 ●儲かっている会社のヒミツを探る ●経営心理と戦略 	<ul style="list-style-type: none"> ●企業組織と人材育成 ●環境問題と消費者の心理・行動 ●フィンテックに焦点を当て、経済問題を考える ●イノベーションのマネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員免許状 中学一種 社会 高校一種 公民 学校図書館司書教諭 ●社会福祉主事[任用]
法学部 ▶P44	法律学科 ▶P46 男子54% 女子46%	国際化し価値観が多様化する社会で、ルールに基づき論理的・合理的に思考し、相手に伝わる適切な言葉で表現するスキルを磨く	人権と統治/ビジネス法務/契約と債権/結婚と相続/金融と担保/雇用と労働/犯罪と処罰/起業と会社経営/知的財産/民事裁判と刑事裁判/経済法/行政法/環境法/国際紛争/国際貿易	<ul style="list-style-type: none"> ●ロボット兵器と国際法 ●完全自動運転車事故の法対策 ●インサイダー取引における情報受領者規制について ●日本におけるメーガン法導入の可能性について 	<ul style="list-style-type: none"> ●労働者の利益代表システムの分析・課題とその法整備 ●東京23区における地域別選権傾向 ●フランスの法制度と日本の少子化 ●EUデータ保護規則の域外適用についての考察 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員免許状 中学一種 社会 高校一種 地理歴史・公民 学校図書館司書教諭 ●社会福祉主事[任用]
	政治学科 ▶P47 男子63% 女子37%	問題が複雑化し価値観も多様化する世界にあって、政治学の知識を基礎にして多様な他者との共存・協働の条件と問題の解決策を探る人材へ	政治思想・理論/政治史/政治制度/福祉/行政/地方自治/財政/比較政治/国際政治/外交/平和	<ul style="list-style-type: none"> ●現代人に宿る「凡庸な悪」—ハンナ・アレントの思考と理性の重要性 ●戦後の管理社会化と大衆の受動性 ●アメリカの単独行動主義の変容 	<ul style="list-style-type: none"> ●高度プロフェッショナル制度から考える働き方改革 ●市町村合併の成果と課題—紆余曲折を乗り越えたさいたま市の姿— ●カンボジアの内戦とその経過について 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員免許状 中学一種 社会 高校一種 地理歴史・公民 学校図書館司書教諭 ●社会福祉主事[任用]
文学部 ▶P48	英語英米文学科 ▶P50 男子31% 女子69%	外国語としての英語の運用能力を強化し、英語圏の言語・社会・文化・コンテキスト・芸術・思想について幅広い理解を得た人材へ	英語学/社会言語学/英語教育/音声学/精神分析/ジェンダー/人種/舞台芸術/アメリカ文学/イギリス文学/英語圏文化	<ul style="list-style-type: none"> ●Vowels in Estuary English: A Comparison with Contemporary Received Pronunciation ●グローバル人材育成と複言語主義の関連性について ●氷の精神分析—「アネと雪の女王」のクイア研究 	<ul style="list-style-type: none"> ●「夏の夜の夢」における自然と超自然 ●アメリカ合衆国におけるアフターメディアティブ・アクションをめぐる論争に関する考察 ●Samuel Johnson の「英語辞典」 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員免許状 中学一種 外国語(英語) 高校一種 外国語(英語) 学校図書館司書教諭 ●登録日本語教員*1 ●社会福祉主事[任用]
	日本文学科 ▶P51 男子27% 女子73%	日本文学と、言語としての日本語を体系的に理解し、深い専門知識と豊かな思考力を身につけた人材へ	古典文学/近現代文学/日本語学/日本文化/物語と絵画/日本民俗学/書誌学/レトリック	<ul style="list-style-type: none"> ●古代和歌における「夢」の展開 ●『源氏物語』藤壺論 ●『宇治拾遺物語』における「笑い」 ●黄表紙に描かれた妖怪 	<ul style="list-style-type: none"> ●芥川龍之介とキリスト教 ●中原中也研究 ●近代日本語の片仮名について ●命名論研究—ご当地キャラクターの名前の分析— 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員免許状 中学一種 国語 高校一種 国語 学校図書館司書教諭 ●登録日本語教員*1 ●社会福祉主事[任用]
	国際文化学科 ▶P52 男子24% 女子76%	現代世界の複雑な動きを的確に理解し、社会と文化が直面する諸課題に柔軟に対処できる人材へ	国際関係/歴史・文化/宗教/平和/異文化理解/文化人類学/移民・難民/ジェンダー	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ選手からみる在日コリアンのアイデンティティ ●付加価値としてのハラールマーク—日本社会におけるイスラームと食生活— ●アメリカ映画にみる「人種」表象の変遷 	<ul style="list-style-type: none"> ●平安時代の結婚 ●グアテマラ内戦とマヤ系先住民—ジェノサイドはなぜ起こったのか— ●茶会文化の歴史と現在—日・中・英比較の観点から— 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員免許状 中学一種 社会 高校一種 地理歴史・公民 学校図書館司書教諭 ●登録日本語教員*1 ●社会福祉主事[任用]
国際共創学部* (仮称) ▶P54	国際日本学専攻 (仮称) ▶P56	国際的な視点から日本を学び、世界と結ぶ。文化学・地域学などを専門に、日本と世界の架け橋となるグローバル人材へ	生活文化/地域創生/共生社会/日本美術/ポップ・カルチャー/異文化交流・比較文化/日本語教育/メディア/歴史/グローバル・コミュニケーション/フィールドワーク/国際協力/データ分析/情報リテラシー	<ul style="list-style-type: none"> ●多文化共生社会における地域コミュニティの構築 ●伝統文化の継承とまちづくり ●文化財のデジタルアーカイブと活用 ●ファッションと環境問題 	<ul style="list-style-type: none"> ●食文化とツーリズム ●海外における日本のマンガ・アニメの受容 ●ポップカルチャーにおけるジェンダー表現 ●異文化間コミュニケーションと日本語教育 	<ul style="list-style-type: none"> ●登録日本語教員*1 ●社会福祉主事(任用)
	環境サステナビリティ学専攻 (仮称) ▶P58	地理学や環境学などをベースに、文理の総合知と複眼的思考から地域や世界の社会課題の解決に貢献できるグリーン人材へ	グローバル経済空間論/サステナブル観光論/環境学・地域研究/地形地質・防災論/気候変動論/グローバル地球環境学/情報環境学フィールドワーク/環境データ分析/環境数理科学/環境保全/国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ●人工衛星データを用いた地球環境変動の研究 ●地理情報システム等を用いた都市防災の研究 ●統計・社会経済指標データ等を用いた地域格差研究 ●バイオマス資源活用による持続可能な地域づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ●食料安全保障と日本農業の再生 ●数理モデルを用いた人口変動予測 ●環境問題のトポロジカルなモデルの探求 ●沖縄県読谷村におけるサステナブルツーリズム 	<ul style="list-style-type: none"> ●登録日本語教員*1 ●社会福祉主事(任用)
理工学部 理工学科 ▶P60	データ数理専攻 ▶P62 男子84% 女子16%	データ活用/情報マネジメント/情報システム/データサイエンティスト/AIエンジニア/ITコンサルタント/システムエンジニア/データアナリスト/情報教員/数学教員	データサイエンス/人工知能/最適化/モデリング/オペレーションズ・リサーチ/離散数学/アルゴリズム/確率統計/データ解析/ビッグデータ/機械学習/深層学習/映像解析	<ul style="list-style-type: none"> ●Partial Team Swap による Kirkman スケジュールのグラフ初期遷移について ●階層的なカテゴリー分類の追加によるGANの性能向上 ●学生研究発表会における優秀発表者決定に対する最適化モデル 	<ul style="list-style-type: none"> ●おれだんごパズルのNP完全性と0-1整数計画法による解法 ●正規化ネットワークによる歩容シミュレーション ●数値的整数計画問題における小教カット ●生物多様性ビッグデータ解析 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員免許状 中学一種 数学・理科 高校一種 数学・理科・情報・工業 学校図書館司書教諭 ●社会福祉主事[任用] ●技術士*2
	コンピュータ科学専攻 ▶P63 男子78% 女子22%	ソフトウェア開発/インターネット/スマホアプリ開発/システムエンジニア/システムインテグレイター/メディアエンジニア/セキュリティエキスパート/AIエンジニア/ITコンサルタント	プログラミング/データベース技術/インターネット技術/情報セキュリティ/人工知能/深層学習/画像処理/音声処理/データマイニング/ユーザインタフェース/自然言語処理/情報処理	<ul style="list-style-type: none"> ●動く物体への投影型拡張現実感 ●接客ロボットなどの対話システム ●早聴きのための音声合成システム ●大規模言語モデルを用いた文書自動要約 	<ul style="list-style-type: none"> ●ネットワーク上で作業を分担するエージェントシステム ●クラシックバレエ映像の振付検出 ●3次元点群を用いた環境把握に基づく自動追従カート ●体感品質を高めるインターネット制御 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員免許状 中学一種 数学・理科 高校一種 数学・理科・情報・工業 学校図書館司書教諭 ●社会福祉主事[任用] ●技術士*2
	機械システム専攻 ▶P64 男子90% 女子10%	自動車・輸送機関連/建築関連/環境設備・機器関連/産業機器関連/製造機器関連/ソフトウェア開発/システムエンジニア	振動制御/スピーカシステム/ヒューマンインタフェース/知能機械/環境問題/IoT/金属材料/食品工学/生体医学/リハビリ・スポーツ科学/人間工学/動作計測/自動車	<ul style="list-style-type: none"> ●金属3Dプリンタ製SUS316Lの機械的性質と結晶方位観察 ●脳波を利用した認知機能訓練システムの構築とその実用化 ●波動ガイドによる音波の局所封じ込め制御 ●IoTセンサを用いた建物内の環境モニタリングとCO₂排出削減対策 	<ul style="list-style-type: none"> ●添い寝時のインタラクションにより入眠を促すペトロロボット ●個人差を考慮した重量物取扱い作業の腰痛リスク評価式の構築 ●自動運転車の機能限界におけるドライバへの運転交代支援システムの設計と評価 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員免許状 中学一種 数学・理科 高校一種 数学・理科・情報・工業 学校図書館司書教諭 ●社会福祉主事[任用] ●技術士*2
	電気電子専攻 ▶P65 男子95% 女子5%	エレクトロニクス関連/電子デバイス関連/電力・エネルギー関連/環境設備・機器関連/システムエンジニア/ロボット・産業機器関連/精密機器関連/材料開発関連	電気電子制御/ロボティクス/エレクトロニクス/高性能材料/超伝導/計測解析システム/電力市場経済モデリング/プラズマサイエンス	<ul style="list-style-type: none"> ●放電プラズマによる免疫システムの活性化 ●海洋プラスチック3次元測定データの機械学習による解析 ●大電力ハルス放電プロセスによる真空微小電子源の作製 ●新トポロジカル絶縁体を用いた新規メモリデバイス 	<ul style="list-style-type: none"> ●ナノ粒子が銅酸化物超伝導薄膜の臨界電流密度に及ぼす影響 ●複数台ロボット重機を用いた土工作業の自動化 ●二足歩行ロボットの脚重心移動による自律歩行制御 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員免許状 中学一種 数学・理科 高校一種 数学・理科・情報・工業 学校図書館司書教諭 ●社会福祉主事[任用] ●電気主任技術者*3 ●エネルギー管理士*2 ●技術士*2
	応用化学専攻 ▶P66 男子53% 女子47%	製薬・医療関連/食品・化粧品関連/化学・マテリアル関連/環境・エネルギー関連/機械・精密機器・エレクトロニクス関連	物理化学/有機化学/無機化学/生物化学/分析化学/化学工学/電気化学/触媒化学/マテリアルサイエンス/バイオインフォマティクス	<ul style="list-style-type: none"> ●遺伝子やタンパク質をターゲットに新規薬剤を開発 ●電気力での生体に学び生体を超える ●糖が制御する生体機能を解明し生命の理解や医療につなげる ●新たな構造と機能を持つ有機化合物の合成に挑戦 	<ul style="list-style-type: none"> ●触媒化学・無機材料に関する研究を通して持続可能社会に向けた環境・エネルギー技術に挑む ●地球環境から室内環境まで問題解決の技術を生み出す ●電池の化学で持続可能なスマートエネルギー社会を実現する 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員免許状 中学一種 数学・理科 高校一種 数学・理科・情報・工業 学校図書館司書教諭 ●社会福祉主事[任用] ●毒物劇物取扱責任者 ●危険物取扱者[甲種]*4 ●技術士*2

*2026年4月開設予定。収容定員増の認可申請中(2025年5月現在)。内容等は変更する場合があります。

*1 「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」(令和5年法律第41号)に基づき、文部科学省への登録申請を、「登録日本語教員養成機関」(2025年度に、「登録実践研修機関」は2027年度に、それぞれ行う予定です。そのため、文部科学省における審査の結果、予定している各機関の開設時期等が変更となる可能性があります。 *2 卒業後に実務経験を経ることで、取得可能な受検資格を得られる資格 *3 第一種~第三種 *4 卒業時に受験資格を得られる資格

経済学部

Faculty of Economics

経済数理学科
現代経済学科

本学Webサイト

学部・大学院

経済学部



学生インタビュー
教員紹介はこちら



論理的な思考力と分析力を磨き持続可能な社会づくりを目指す

経済学とは、社会における経済活動のあり方を研究する学問です。グローバル化が進み、経済社会のさまざまな問題点が露呈する今日。社会を豊かにするための効率性を求めるとともに、その豊かさを公平に分ち合いつつ、次世代に受け継いでいくためにはどうしたら良いのでしょうか。経済学部では経済学の基礎から応用までをしっかりと学ぶとともに時間軸や空間軸、経済を支える制度や文化の多様性などに目を配りつつ、分析力を高めて、私たちがいかに行動したら良いかを考えていきます。

学部の特徴

Features

お互いの顔が見える
少数精鋭の学び

大規模大学に比べて、コンパクトな規模の経済学部です。学生同士、また学生と教員がコミュニケーションを取りやすい環境です。

社会と自分について
真摯に考える

社会問題を経済の視点から捉えます。真摯に社会と自分自身を見つめ、持続可能な未来への構想力を大切に育みます。

実社会とつながる
生きた学びの場

地域社会や民間企業など、実社会とのさまざまなつながりを重視し、実践的な生きた学びの場を提供します。

専門知識とともに
豊かな人間性を育む

経済学の専門知識をしっかりと学びます。そして、確かな教養と豊かな人間性を基礎に、社会で行動する力を手に入れます。

「学部」に 「フォーカス」

異なるアプローチで 社会の課題と向き合う2学科

経済数理学科からのアプローチ

- 曜日による人動の推測
- 天候による生産量の予測
- 消費者の購買意欲の推移

多様かつ膨大なデータをモデル化してシミュレーションします。近年ではAIの進化により、複雑な計算を高速で行うことも可能になりました。

経済数理学科 P38

現代経済学科からのアプローチ

- サプライチェーンの最適化
- 廃棄食材コストの全体可視化
- 産地の多様化と流通管理

企業や国・地域や消費者など市場に参加する多様なプレイヤーの立場で、各々の利益と全体最適の関係を考察し持続可能な解を探っていきます。

現代経済学科 P39

例えば
世界で
年間25億トンもの
フードロスを防ぐには？

News | 現代経済学科の新たな2つの取り組み

4つのエキスパートコースの設置

現代経済学科では、新たに「企業マネジメントコース」「ファイナンスコース」「サステナビリティコース」「公共政策デザインコース」の4つのエキスパートコースを設置。2年次から選択でき、より専門的かつ体系的に学びます。要件を満たした者にはエキスパート認定証を発行します。また、複数のコースへの挑戦も可能です。

2つの新たな実践プログラムのスタート

2年次で選べる選択制・少人数制の2つのプログラムを設置。「フィールドワークプログラム」では、実際の地域や現場に出向き、社会課題などの原因や解決に向けての考察をします。「情報分析プログラム」では、ICTを活用し、データに基づく課題の抽出・分析・解決などに取り組みます。要件を満たした者にはプログラム修了証を発行します。

経済数理学科

Department of Economics and Econometrics

データとモデルに基づいて
「経済現象」を解き明かし
立ちはだかる社会課題を解決へ導く

現代経済学科

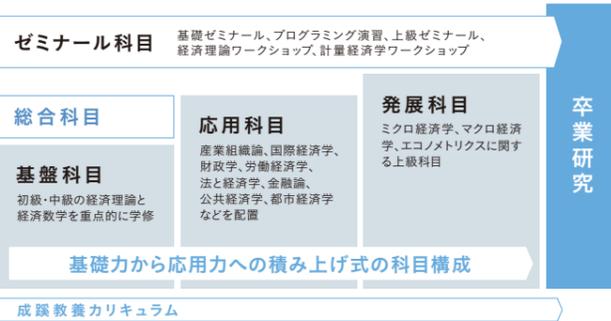
Department of Contemporary Economic Studies

現代社会が抱える複雑な問題を
発見・考察し他者との協働を通じて
課題解決に立ち向かう

学科の特徴 Features

- 1 数理的に経済学を学び、社会問題の解決を目指す**
経済数理学科では数理的側面を重視し、ミクロ経済学とマクロ経済学を系統的に学びます。経済数理モデルを構築・分析し、国際貿易・企業間競争・金融マーケットなど諸分野の研究や少子高齢化などの社会問題解決に応用します。
- 2 膨大なデータを解析する統計的思考力を養う**
高度情報化社会では膨大なデータから正しい知見を得ることが大切です。経済数理学科では計量経済学をはじめとする講義やゼミで、データ収集・解析のための統計的思考力とプログラミング技能を修得します。
- 3 世界標準の経済学を無理なく身につける**
経済数理学科では工夫を凝らしたカリキュラムにより「世界標準の学問」であるミクロ経済学・マクロ経済学・計量経済学を無理なく修得できます。3年次終了時には大学院初年度向けの英語教科書が理解できる程になります。

カリキュラムイメージ Curriculum Image



- ### ゼミ紹介
- 統計的モデリングとその応用
 - 計量経済学の理論と応用
 - マクロ経済学と経済政策
 - マクロ経済学と実証研究
 - 数理ファイナンスとデータサイエンス
 - マクロ経済モデルを用いた政策分析
 - 環境問題の経済学的分析
 - ミクロ経済学とゲーム理論

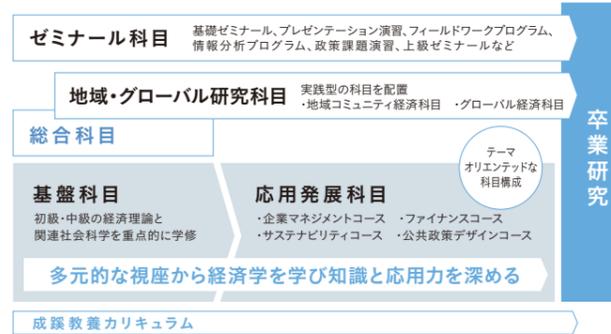
4年間の学修ステップ Four Years



学科の特徴 Features

- 1 多角的な視座から経済学を学ぶ**
経済学の視座と手法を学ぶと同時に、隣接領域の学問の視座と手法を学び、それを取り入れながら複雑多岐にわたる現代の社会問題を探ります。原因の調査、分析などを行うことで、課題を明確にする術を得ます。
- 2 国内と海外の比較から学ぶ**
地域社会が抱える問題を解決へ導くには、国内外を比較・分析するグローバルな視座を学ぶことも必要です。地域コミュニティ経済領域、グローバル経済領域のふたつの科目群から多角的に現代の社会問題を考察していきます。
- 3 複眼的視座を持って実践的に社会問題を考察する**
経済学への素養を深めるには、自らの目と耳で社会問題を直視し、データを収集・分析し原因を明らかにする「複眼的視座」を持つことが大切です。その目で他者と協働し、多種のデータ分析に基づいて客観的かつ批判的に社会問題を直視します。

カリキュラムイメージ Curriculum Image



- ### ゼミ紹介
- マクロ経済学
 - 国際金融論
 - 日本経済論
 - 金融論
 - 経済発展論
 - 産業組織論
 - 法と経済学
 - 地域経済論
 - 経済地理学
 - 社会保障
 - 労働経済学
 - 現代社会と社会学
 - 社会哲学
 - グローバル正義論
 - 経済発展の歴史
 - ヨーロッパ史
 - 社会文化論
 - 環境政策

4年間の学修ステップ Four Years



経営学部

Faculty of Business Administration

総合経営学科

本学Webサイト

学部・大学院

経営学部



学生インタビュー
教員紹介はこちら



経営学の深い知識と実践力で組織のリーダーや起業家として活躍

社会のグローバル化と情報ネットワーク化の進展によって、企業や官庁、非営利団体(NPO)など、多くの組織の活動は極めて複雑になり、今まで以上に高度で幅広い専門知識が求められています。このような社会の変化に適応し、真に社会に貢献できる人材を育成するために、経営学部では単に学問としての経営学だけではなく、企業経営に関わる重要な関連科目も豊富に設置して「総合」的に経営を学べることを特長としています。

学部の特徴

Features

経営学の専門知識を段階的に学ぶ

社会で活躍する職業人となるために不可欠な経営学の基本から応用まで段階的に学べます。

ビジネスに直結する語学力と異文化理解

グローバル時代に対応したビジネスに直結する語学力を身につけ、また異文化に対する理解を深められます。

情報を自在に活用できるスキルの養成

現代社会の企業経営に不可欠なICT(情報通信技術)を活用できる能力を培うことができます。

キャリア教育で経営の実践力を育てる

多くの実務的・実践的な科目を通じて企業経営に必要な能力や知識を身につけられます。

「学部」にフォーカス

専門性を深める段階的な学びと学生を支えるサポート体制

特色ある学び

幅広い専門応用発展科目の提供

実際に企業経営を行う上で不可欠となる経営学の3領域の科目を基礎から応用まで設置しているほか、経営学特殊講義として商法や労働法などの法律系科目や、経営学の複数領域にまたがる科目など豊富な科目を設置しています。

企業経営に関する実践的な学際科目の設置

学際科目として、現代人に不可欠な英語力を培う科目としてビジネス英語入門、ビジネス・コミュニケーションなどを設置しているほか、情報化社会に対応する情報処理能力を養う科目として情報コミュニケーション技術、ビジネス・モデリングなどの科目を設置しています。

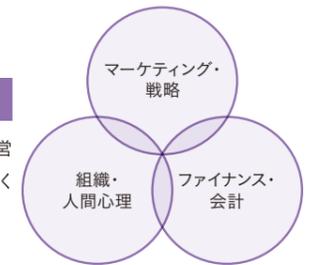
戦略的問題解決型プロジェクト演習の開設

企業が抱える実践的な問題を経営学の理論や手法で解決するためのプロジェクト型演習を2年次向けに開設することによって経営学に対する学生の関心をより高めます。

学びの仕組み

3領域を網羅的に学ぶ

基礎から応用まで現代企業の経営に関する複合的な知識を無理なく体系的に修得できます。



学生の学びをサポートする指導教授制

1年次から少人数制のゼミ科目を開設し、その担当者が同時に学生の指導教授を兼ねることで、学生一人ひとりの学びをサポートします。



総合経営学科 P42

Topics

実務経験豊富な教員によって経営の今を学ぶ

効果的な企業経営を行うには、理論だけではなく直観や経験が重要です。経営学部では豊富な実務経験を持つ専任教員や実際に企業経営に関わる実務家の客員教員が教育に参加しています。実務経験の豊富な教員の授業を通じて、経営学の理論を超えた深い実践ノウハウを学んでいきましょう！

「マーケティング分析プログラム」を新設

2年次から始まる「マーケティング分析プログラム」は、マーケティング分野の科目を体系的に学ぶことで、論理的思考力と分析力を養います。市場の競争環境や消費者行動を把握するために、調査や実験を通じてデータを収集し定量的に分析したり、実際のマーケティング事例を定性的に分析・評価したりします。

総合経営学科

Department of General Business Administration

グローバルな視野とITリテラシーを備えた職業人として企業経営とこれからの情報化社会に貢献する



学科の特徴 Features

- 経営学の3つの基本領域を体系的に学ぶ**
「マーケティングと戦略」「組織と人間」「ファイナンスと会計」の3つの経営学の基本領域について基礎から応用発展まで体系的に科目を配置。科目の選択自由度が高く、関心や将来設計に合わせて学べます。
- 企業経営に関連した語学科目や情報関連科目を配置**
現代の企業経営に不可欠な語学能力やICT(情報通信技術)の知識に関する科目、コンピュータを使った企画調査・分析・プレゼンテーションの能力を培う科目を豊富に配置。これらの科目と経営学を結ぶ科目も配置し、知を統合します。
- 実務家による実践的な科目を通じて現代に役立たせる**
実務家の経験の蓄積から始まった経営学は、企業経営から離れた抽象論や分析論となる危険性もあるため、理論を補完する実務的・実践的な科目を多く配置。理論科目と実践科目を「車の両輪」として機能させ、真に活躍できる職業人を養成しています。

学びのイメージ Image of Learning



ゼミ紹介

- 儲かり続けている会社のヒミツを探る
- 「経営学」および「会計学」に関する様々な実際上の問題
- 企業のマーケティング戦略に対してインプリケーションを提示する
- マーケティング・リサーチの手法と実践
- 企業におけるICTの活用事例の研究
- 組織の中で人間心理について実践的に学ぶ
- ソーシャルデータ分析の実践
- 企業価値を高めるための経営—会計情報を活用して考察する—
- 企業文化と企業戦略
- フィンテックに焦点を当て、経済問題を考える
- エクセレントカンパニー(優良企業)の研究
- 人間の心理および行動の側面からの企業経営の研究
- 日本の業界・企業について調査・分析をする
- 環境問題と企業
- ツーリズムを国際的な見地から概観し、その特徴や動向を理解する
- イノベーションのマネジメント
- 企業組織と人材育成
- 企業の人事制度と組織内における個のキャリア形成

4年間の学修ステップ Four Years

1年次	導入期	<p>経営学の基礎を学びながら大学の勉強スタイルを身につける</p> <p>経営学や会計学、経済学の最も基礎的な内容を学びながら、学問の特徴を理解するとともに、大学の勉強スタイルを確立します。</p> <p>授業紹介 ●企業経営の基礎 ●マーケティングの基礎 ●企業会計の基礎 ●ミクロ経済学の基礎</p>
2年次	成長期	<p>経営学の各専門領域の基礎を学んで、自分の関心の幅を広げる</p> <p>経営学の各専門領域の基礎をその領域間の相互関係を意識しながら学びます。同時に学際科目を通じて、企業経営に関する幅広い関心を培います。</p> <p>授業紹介 ●ミクロマーケティング ●人間行動と組織 ●経営戦略 ●ファイナンスの基礎</p>
3年次	発展期	<p>経営学の中で自分の関心のある専門領域の勉強を深めていきゼミを中心に研究を進めてその成果を卒業研究としてまとめる</p> <p>2年次までで基礎的な内容が理解できた後には、それぞれの学生の関心や将来設計に合わせて、より高度で応用発展的な経営学の科目を中心に勉強します。また3年次の「経営専門演習Ⅰ・Ⅱ」では特定の指導教授の下で専門領域の研究を進め、さらに4年次の「経営卒業研究」では卒業研究を研究論文や研究報告の形でまとめます。</p> <p>授業紹介</p> <p>3年次 ●イノベーションと製品開発 ●人的資源管理 ●消費者行動 ●国際会計</p> <p>4年次 ●ベンチャー・ビジネス ●組織の経済学 ●ブランド戦略 ●証券市場</p>
4年次	卒業	

総合経営学科

目指せる人物像



国際文化の理解と語学力を備えた 起業家モデル

ベンチャー企業などを立ち上げる起業家として最も必要となる戦略とマーケティングの基礎知識を修得すると同時に国際的に活躍できるように、学際科目の「グローバルと文化」領域の科目を中心に履修します。

主な履修科目例

- 消費者行動
- イノベーションと製品開発
- ビジネス英語入門
- ベンチャー・ビジネス
- 企業の国際戦略
- 国際社会トピックス

心理分析ができる 人事コンサルタントモデル

人事コンサルタントとして、「組織と人間」領域の科目のうち、単に人的資源管理や組織論の知識だけではなく、心理学により近い科目も履修し、さらに労使関係の重視から労働法関連科目なども履修します。

主な履修科目例

- キャリア・マネジメント
- 組織の経済学
- コーチングの基礎
- 組織と管理
- カウンセリングの基礎
- 経営学特殊講義(労働法の基礎)

ファイナンス知識に長けた 職業会計人モデル

税理士や公認会計士のような会計の専門家として会計科目を中心に履修することはもちろんのこと、会計学と同じくカネ(金銭)に関わる学問でありながら、通常は別の領域とされるファイナンス(企業ファイナンス)の科目も履修して、カネに関する総合的な専門家となることを目指します。

主な履修科目例

- 管理会計
- コスト・マネジメント
- 資産選択の意思決定
- 国際会計
- 税務会計
- ファイナンスの基礎

情報技術の知識を備えた マーケティング・リサーチャー・モデル

マーケティングに関連する科目を体系的に学び、データ分析に基づいた論理的な企画提案ができるマーケティングのスペシャリストを目指します。市場の競争状況や消費者の嗜好に関するデータを収集・分析する能力を身につけ、企業の新製品開発などで活躍します。

主な履修科目例

- 統計学
- マーケティング・サイエンス
- 情報分析特殊講義
- マーケティング・データ分析
- 多変量解析

国際的なビジネスの現場で活躍する 国際職業人モデル

成蹊Global Study Program(GSP)に参加して英語能力の向上に努めると同時に経営学の基本も満遍なく履修して、国際的な舞台上で活躍する職業人を目指します。

主な履修科目例

- 国際経営
- Japanese Economy
- Japanese Contemporary Issues
- 国際会計
- Regional Studies
- Topic in Business

高度専門人材 (大学院進学)モデル

大学院で経営学を専攻するために、学部の教育課程において、経営学の各専門領域の科目を広く履修することで、大学院での修学を基礎付けることを目指します。

主な履修科目例

- 消費者行動
- 意思決定科学
- コーポレート・ファイナンス
- ブランド戦略
- 組織と管理
- コスト・マネジメント

中学校・高等学校で活躍する 教員モデル

中学校の社会科および高等学校の公民科の教員免許状を取得し、実践的な教育を行える教員を目指します。

主な履修科目例

- 教育課程論
- 社会科・地理歴史科教育法
- 公民科教育法
- 教育の方法と技術
- 社会科教育法
- 教育実習論

法学部

Faculty of Law

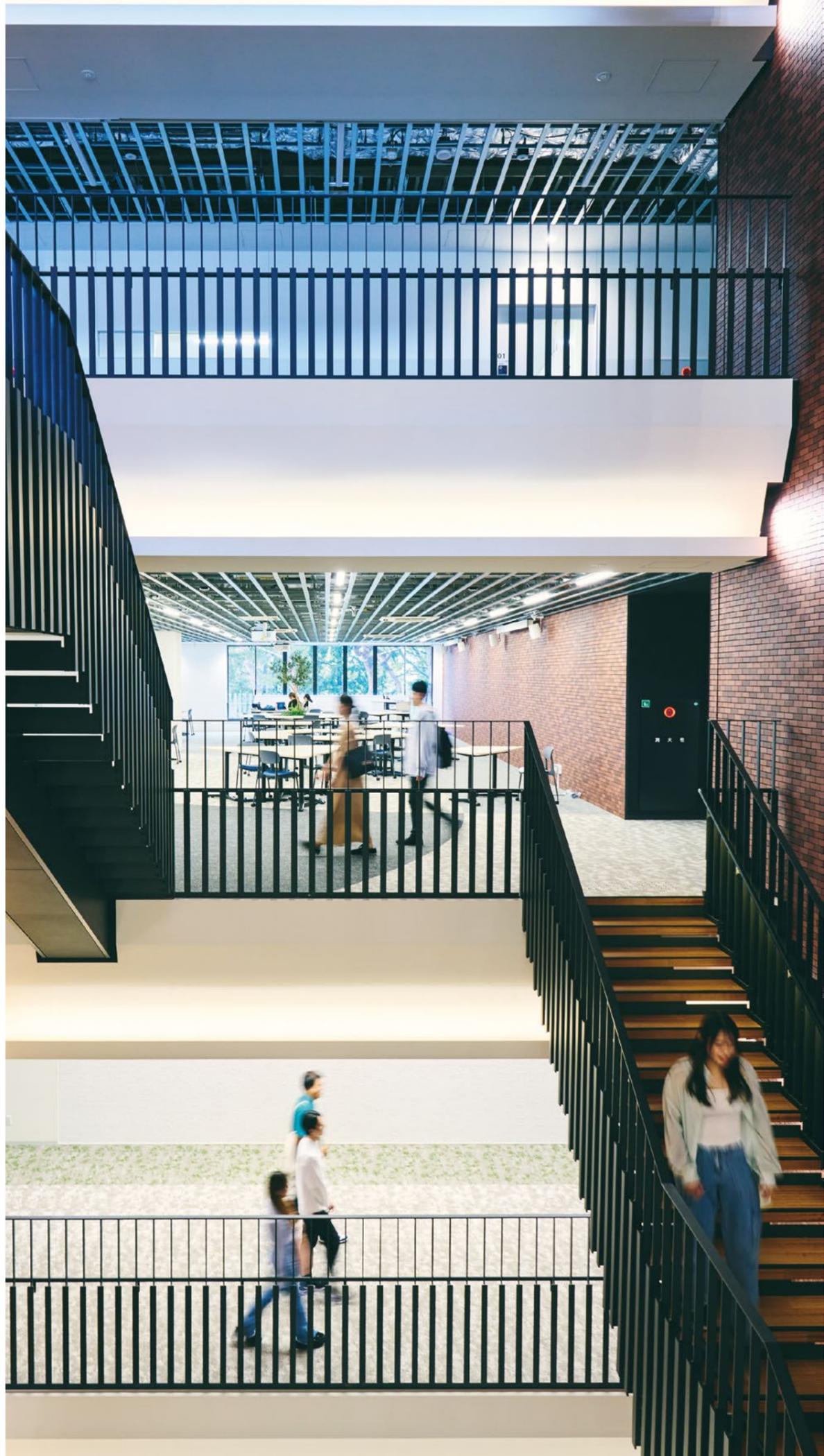
法律学科
政治学科

本学Webサイト

学部・大学院
法学部



学生インタビュー
教員紹介はこちら



複眼的・批判的思考力と表現力を有し国際感覚豊かな「人才」の育成

未来の社会をデザインし、それを実現していく、クリエイティブで実践的な学問。それが法律学と政治学です。過去を振り返って検証し、現実を直視して問題を掘り下げ、自由を尊び、多様な価値観を尊重しながら共に生きる方途を探ります。そこで求められるのは「言葉と論理」の力。読みこなし、書き綴り、伝え、発信するための国際的視野と思考力、そして表現力です。ルールに則ってビジネスを展開し、より良き人間関係を育むために、あらゆる分野で輝ける知的なスキルを磨いていきましょう。

学部の特徴

Features

少人数ゼミで議論する力をつける	学科の枠を越えた多様な学びが可能	卒業論文(ゼミ論文)が必修	専門化やグローバル化に対応したカリキュラム
1年次より、少人数制のゼミで「議論する力」を身につけていき、2・3・4年次と段階的に専門性を高めていきます。	学科の枠を越え、法律学と政治学両方の視点で立体的に学ぶ科目履修が可能。視野が大きく広がります。	各自が問題意識に合わせて関心のある研究分野を選び、卒業論文(ゼミ論文)にまとめて論理的思考力と論述力を鍛えます。	エキスパート・コースと重点学修認定制度を導入するとともに、一部に外国語の運用スキルを磨くカリキュラムを編成しています。

高度職業人養成システム 法学部にフォーカス 将来に備えてより体系的に学ぶ 2つのプログラム

program 1 エキスパート・コース

法律学・政治学の専門性を生かした道を目指す、意欲の高い学生を対象としたコースです。

法律学科	政治学科
Legal Expert	Political Science Expert
LEコース	PSEコース

目指す将来像

公務員/法科大学院進学
弁護士、司法書士、弁理士などの
法律専門職/企業の法務

公務員/商社/マスコミ
大学院進学/国際機関
NGO/コンサルタント

program 2 重点学修認定制度

学びの軸を定め、体系的に学修を進めていくことで、高度な専門性を身につける制度です。

法律学科	政治学科
金融と法	政治理論・歴史
行政と法	現代政治・行政
国際関係と法	国際政治

目指す将来像

銀行/保険/証券
広告/公務員
情報・サービス

商社/外資系企業
公務員/マスコミ



2つのプログラムは併用可能



Topics

クロスオーバー演習

リベラル・アーツと専門科目の融合を目指す、教員のダブル配置による立体的・分野横断的な授業です。専門を異にする教員が、それぞれの専門性を生かし、深い教養の獲得を目指します。

公務員試験受験、法科大学院・大学院進学希望者などのニーズに合わせたプログラム

通常の専門科目で獲得した知識をもとにしてさらに専門分野に関する学びを深めて将来の進路に役立てたい、という学生に向けてLEコース、PSEコースを設置しています。応用的な知識の伝達・少人数の学生を対象とした丁寧な添削指導など、満足度の高いプログラムです。

法律学科

Department of Law

深い専門知識と
広い視野を身につけ
法的思考で社会に貢献する

政治学科

Department of Political Science

国際的な視野と発想力を養い
問題解決の糸口をつかむ

学科の特徴 Features

- ゼミ活動の充実した4年間**
4年間の在学中、全期間にわたってゼミを履修できます(1年次後期以降は各期ふたつまで)。各分野に精通した教員と共に、同じ分野の学修・研究を志す仲間と議論しながら法的な思考力とセンスを磨きます。
- 法的三段論法に則った論理、読解、文章力を磨く**
ビジネス、行政、法律実務、そして家庭生活に至るまで、あらゆる分野で力を発揮する法的三段論法を、4年間かけて身につけます。単なる知識としての法律にとどまらず、条文を道具として実際に使い、論述するために必須の思考スキルです。
- 卒業論文(ゼミ論文)で4年間の学修と研究を集大成**
卒論執筆が4年間の目標。ゼミで教員や仲間たちと共に自分が興味を持った分野の研究を深め、プレゼンテーションや書き方の指導を受けながら論文として形にします。自分がアカデミックな高みに至り、学位を得た証として、卒業論文(ゼミ論文)が一生の宝になります。

高度職業人養成システム Specialized Program

エキスパート・コース	重点学修認定制度
Legal Expert LEコース 民法を中心とする重要分野を集中的・発展的に学ぶ 全ての法分野の基礎となる民法を中心とした高度な学修を通じて、法律のエキスパートを目指します。在学中に難関資格試験の合格や企業の法務部を目指す学生、そして法科大学院志望者などに最適なコースです。	金融と法 金融ビジネスに必要な法的知識を学び、世界に通用する力をつけます。 行政と法 国や地方公共団体など公共部門の組織や活動に関する法を学びます。 国際関係と法 国際的な紛争や法的ルールなど、国際関係と法の関わりを学びます。
将来 公務員/法科大学院進学/法律専門職/企業の法務	将来 銀行/保険/証券/広告/公務員/情報・サービス

ゼミ紹介

■ アメリカにおける生命倫理と法 ■ アメリカ民事訴訟法 ■ 国際的な私人間の様々な問題を解決する ■ 民法と著作権法(知的財産法)の判例を研究して評釈を書く ■ 刑法各論の主要な論点に関する重要な判例を学ぶ ■ 法的な知識からトラブル回避を考える ■ 労働法(会社と社員のトラブルをどう解決するか) ■ 法の基礎理論と応用 ■ 現代の社会問題と法-近代法の他者- ■ 日仏の近現代家族の特徴 ■ 現代の国際社会における諸問題をめぐる法と政策 ■ スポーツをめぐる法と政策 ■ 日本国憲法第21条に関連してメディアについて検討する ■ 刑事手続法に関する重要判例 ■ ロボット・AIと法 ■ 警察行政について検討する ■ 英語文献を使用して憲法を学ぶ ■ 紛争解決と民事司法について学ぶ ■ 行政法の重要問題について考える ■ 地方自治法に関する判例を検討する ■ 民法の司法試験問題をを用いて論述力を磨く ■ 民法判例研究 ■ 企業の合併や買収(M&A) ■ 会社(法制度)に関するトピックの検討 ■ 実際に株式会社を設立・運営してみよう! ■ 企業の倒産 ■ 社会を動かした裁判-著名な訴訟事件の事実関係と法適用に関する研究

4年間の学修ステップ Four Years

1年次 ルールの面白さ探訪期	1年次 規則の仕組みは 知れば知るほど面白い 日常的な売買や債権・債務に関わる民法、国民の自由を保障する憲法、そして犯罪と刑罰を定めた刑法を中心として、法律というルールによる制度設計の基本と面白さを学びます。
2年次 法的視野の拡大期	2年次 法律による制度設計と ルール形成の仕組みを探究する 1年次の基本を発展させ、国際的・行政的なルール形成、裁判手続の仕組み、政治学まで隣接分野も学び、ルールを応用する力を養います。
3年次 研究の深化と展開期	3年次 多様な法分野を知りゼミでの研究を深める AI、金融、ICT、ジェンダー、企業経営など、一挙に広がる多様な法分野から各自の興味にしたがって研究を深め、未来志向のルールづくりを視野に展開します。
4年次 研究の磨き上げ期	4年次 研究の集大成として卒業論文(ゼミ論文)を執筆し法の未来を見定める ビジネス、公務員、法科大学院進学、留学、起業など各自の進路や問題意識に合った学修を進めるとともにゼミに所属して仲間と共に卒業論文(ゼミ論文)を書きあげます。(ゼミのテーマは下記を参照)

学科の特徴 Features

- 現代社会の問題を多角的・立体的に学ぶ**
政治学科では、法律などのルールが生まれる背景となるさまざまな問題(経済成長と格差、移民や外国人労働者、環境破壊、国際的緊張など)について、①問題の状況、②問題解決のための仕組み、③それらの根本で問われる原理の3点にわたる幅広い視野を身につけます。
- 少人数教育とコース選択で知識を深める**
政治学科では、1年次からの必修ゼミ、2年次のコース選択、3年次のゼミ論文執筆を通じて、多様な政治学上の専門を持つ教員の下で、ほかの学生と共に、問題の表層の裏に潜む歴史的経緯や構造をも分析・理解する力を身につけ、専門性を高めていきます。
- 長期的視野に立ち、他者と共に社会を担う力を身につける**
政治学科では、特にゼミでの実践を通じて、自ら立てた問いに答えつつ、文章・報告・討論などで他者に自分の考えを論理的に表現する力も鍛えます。そこで得られるのは、長期的な視野に立って他者と共に協力しながら課題を定め、その解決を目指す、社会人として最も必要な力です。

高度職業人養成システム Specialized Program

エキスパート・コース	重点学修認定制度
Political Science Expert PSEコース 政治の世界をより深く、多角的に学ぶ 人権・環境・多文化共生などの課題を深く理解し、その解決策を模索します。また、自由・平等・民主主義のような政治学の古典的課題が、現代社会においてどのようにあらわれているのかを深く理解します。	政治理論・歴史 政治・社会現象を理論的・歴史的に捉え直して、あるべき社会を模索します。 現代政治・行政 現代政治・行政のダイナミズムを多様な視点から学びます。 国際政治 国際社会の組織化の原理と変化の動態を歴史的・理論的に理解します。
将来 公務員/商社/マスコミ/大学院進学/国際機関/NGO/コンサルタント	将来 商社/外資系企業/公務員/マスコミ

ゼミ紹介

■ 現代行政が抱える諸問題を取り上げ、改革を批判的に検証する ■ 少子高齢化社会の実態およびそれが国や地方自治体に与える影響 ■ 日本社会における格差や分断を分析し、民主主義の将来を展望する ■ 戦後日本の政治システムおよび政治経済体制を理解する ■ 「明治維新」を通じた日本の近代化とは何だったかについて考える ■ 沖縄と平和について考える ■ 中国・台湾・香港など激しく移ろうアジアの現状と歴史について学ぶ ■ ポーランドの医師・文学者J・コルチャクの時代と思想を通じて子どもの尊厳について考える ■ 保健衛生・環境・戦争をめぐる国際機関の可能性と実態を検討する ■ 国際機関の現場で国境を越えた活動の実態を学ぶ ■ 現代世界における紛争・戦争と軍事力とがもつ意味を再検討する ■ 資本主義世界の動揺が国際的な政治経済秩序に与える影響を理解する ■ 現代世界における民主主義の諸問題を考える ■ ジェンダーの視点から民主政治の現実を問い直す ■ 戦後日本における民主主義・ナショナリズム、平和主義、ジェンダーの射程を考える ■ 戦争の記録/記憶の継承について考える ■ エーリッヒ・フロム「自由からの逃走」を通じて民主主義と自由の関係について考える ■ 資本主義と環境問題と民主主義についての政治理論的考察

4年間の学修ステップ Four Years

1年次 導入期	1年次 必要な基礎知識・技能を身につける 講義を通じて、政治という人間の多面的な営みについて基礎知識を得ると同時に、1年次ゼミを通じて知識のインプットだけでなくアウトプットの方法についても学びます。
2年次 形成期	2年次 基礎知識を固め、自らの問題関心を掘り下げる 1年次の学修を踏まえて深めたい問題関心を定め、それに沿って、設定された3つのコースのいずれかに所属し、コースに関連の深い講義やゼミを通じて知識や問題意識を深めます。
3年次 完成・再導入期	3年次 多角的・立体的に政治や社会を理解する目を養い、卒業後の進路を見据えた専門知識と発信力を修得する 3年次では2年次までの学修を踏まえ、自らが設定した課題を多角的・立体的に考察する力を鍛えます。特にゼミ論文の執筆では、考察の成果を論理的に発信する力を身につけます。4年次では、ゼミ論文で十分に考察できなかった問題や、そこから生まれた新たな問題関心を中心に、専門知識を積み重ねます。その意味で、4年次は再導入期になります。

授業紹介	基礎となる科目 ●基礎講義群 「現代日本の政治」 「現代ヨーロッパ政治論」 「現代東アジア政治論」 「比較政治経済」 「現代日本の行政」 「現代の国際関係」 「政治思想の基礎」 ●政治学への案内 ●社会科学方法論 ●政治学原論	政治理論・歴史コース ●西洋政治思想史 ●現代政治理論 ●文化の政治学 ●日本政治史	国際政治コース ●国際政治学 ●国際政治史 ●国際機構論 ●中国政治外交論 ●アメリカ政治外交論
------	--	--	---

文学部

Faculty of Humanities

英語英米文学科
日本文学科

国際文化学科
現代社会学科

本学Webサイト
学部・大学院
文学部



学生インタビュー
教員紹介はこちら



柔軟な知性で「人間の本质」を見抜く自立の人間、国際教養人を養成

文学部で学ぶ学問は人文学と呼ばれます。学科ごとに研究の対象や方法論は異なりますが、目指すところは同じ。過去から現在までの多様な社会・文化と、その担い手である人間について探究します。人工知能研究の進展によって人間と技術の境界が曖昧になりつつある現在、人文学の重要性はますます高まっています。広い視野と多角的な視点を獲得し、人間と社会・文化を柔軟な知性で捉え、物事の本質を見抜く批判力を養います。

学部の特徴

Features

少人数教育だから
生まれる人間的交流

自主性と考える力が
養われるゼミ

自由な科目選択で
広い視野を身につける

現代社会のニーズに
即したコースを設置

1年次から少人数のゼミを設け、きめ細かい指導を実施。教員と学生、また学生同士の人間的交流を重視しています。

3・4年次のゼミは、卒業論文に向けて、同じ教員が指導を行います。自らテーマを探して問いを立て、考える力を養います。

4学科の枠にとらわれない自由な科目履修が可能。広い視野、多角的な視点で物事を考えられる人を育てます。

これからの社会においてますます重要となる、日本語教員や芸術文化行政の担い手を育てるコースを設置しています。

『**学部**に
フォーカス』
『**学際的視点で、
人間性を探究する**』

学びのキーワード 興味のあるキーワードから学科を知ってください。

英語英米文学科	日本文学科	国際文化学科	現代社会学科
英語学	近現代文学	異文化理解	社会学
文学研究	日本語学	国際関係	メディア研究
英語教育	古典文学	歴史・文化	社会調査
文化研究	創作	地域研究	コミュニティ
通訳・翻訳	日本文化	文化人類学	サブカルチャー

英語英米文学科 P50

日本文学科 P51

国際文化学科 P52

現代社会学科 P53

Topics

グローバル化・多様化する社会に向けて学科横断型コースで学ぶ

日本語教員養成コース

日本語教員養成コースは、日本語を母語としない人の日本語学習を支援する「日本語教員」を養成するコースです。本コースでは、日本語教授法や日本語の仕組み、歴史などを学び、日本語や日本文化を教えるための知識とスキルを実践的に身につけます。日本語教員は、2024年度から国家資格となり、本学の文学部または国際共創学部（仮称）で所定の科目を履修し、かつ、卒業後に文部科学省の定める試験に合格すると、登録日本語教員の資格が得られるようになります。

※「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」（令和5年法律第41号）に基づき、文部科学省への登録申請を、「登録日本語教員養成機関」は2025年度に、「登録実践研修機関」は2027年度に、それぞれ行う予定です。そのため、文部科学省における審査の結果、予定している各機関の開設時期等が変更となる可能性があります。

芸術文化行政コース

官民における芸術文化振興の担い手を育成することを目的として開設されたコースです。行政やNPOによる芸術文化振興の実務を学ぶとともに、芸術文化を通じてさまざまな人たちが共生できる社会を考えていきます。

英語英米文学科

Department of English

英語を通じて世界を知ろう
真に創造的な人間になろう

学科の特徴

Features

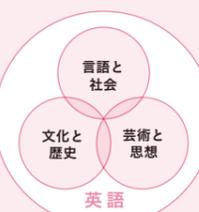
1

英語を通じて世界を知ろう

Explore English, Explore the World

「英語ができるようになりたい」という皆さんの願いを叶えるための手助けを私たちはします。なぜなら私たちもまた、外国語の習得や外国人との接触によって、自分のものの考え方が変わり、人間として成長できることを経験的に知っているからです。英語を学び、英語が話される地域の言語・文化・社会・歴史について知ることで、もっと深く世界を体験しましょう。

Explore English, Explore the World



2

真に創造的な人間になろう

Unlock Your Creativity, Make a Difference

英語を使って英語圏の言語、文化、歴史を学び研究することを通して、自ら問題を発見し、解決することのできる創造力を培いましょう。未だないものをつくりだすことのできる人間の創造性は、人工知能にはない特性です。この普遍的な力を引き出しそして磨く手助けを私たちはします。皆さんは、4年間の学びを通して、学友との相互作用の刺激を受けながら自律して問題を整理し、分析し、結論を導く力をつけることができます。この力は、将来を拓く糧になるでしょう。

Unlock Your Creativity, Make a Difference



*フォーカス入門科目

- 言語学入門 ●英語圏文化入門
- 英語圏芸術・思想入門

*フォーカス科目(例)

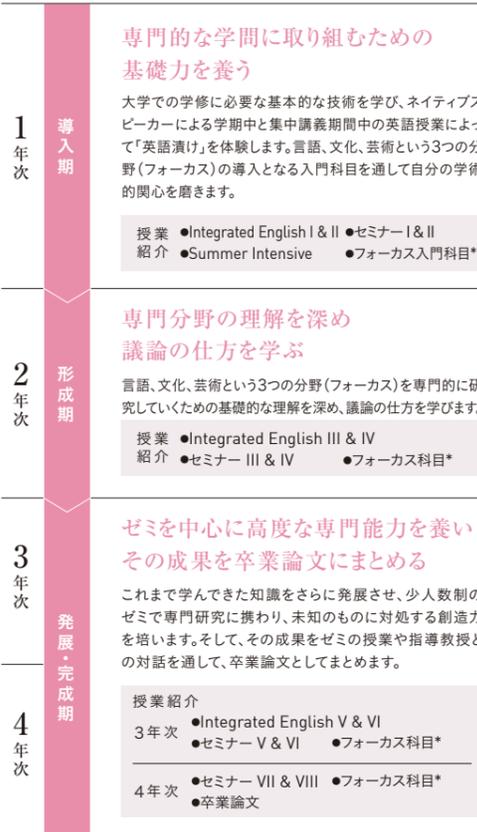
- ・言語学 ・翻訳・通訳学 ・社会言語学 ・英語学 ・英語教育 ・英語圏文化研究(ジェンダー)
- ・複言語 ・複文化主義 ・レイシズム ・アメリカ文学史 ・イギリス文学史 ・舞台芸術論 ・批評理論

ゼミ紹介

- Investigating Conversation; The Pragmatics of Communication
- The interdisciplinary field of Gender Studies
- Carl Gustav Jung's theories of archetypal psychology
- 英語圏の文化研究の基礎と応用として精神分析の理論を学ぶ
- 第1および第2言語習得論の基礎的知識と教授法に関する理論を学ぶ
- ミュージカル映画鑑賞を通じてどのようなイデオロギーを体現しているかを考える
- アメリカ社会におけるレイシズム
- 日本の英語教育における問題点
- 第二次世界大戦を描いた英語圏文学
- 言語から見える話者の「立ち位置」を読み解く
- ポストコロニアル文学
- 現代アメリカ文学 ■ 言語とジェンダー

4年間の学修ステップ

Four Years



日本文学科

Department of Japanese Literature

日本語・日本文学を深く学ぼう
広い視野と実践力を
兼ね備えた人になろう

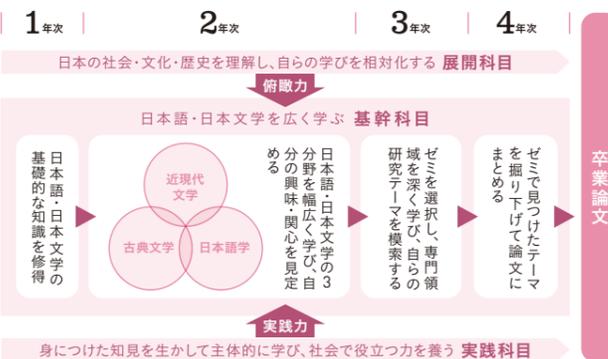
学科の特徴

Features

- 日本語・日本文学を広く深く学ぶ**
1~4年次までの基幹科目で日本語・日本文学研究の基本知識を段階的に身につけます。2年次の全学年必修のゼミでは「古典文学」「近現代文学」「日本語学」の3分野を全て学修して研究の基礎を幅広く身につけ、3年次以降に専門的なテーマをより深く追究するための知力を養います。
- 日本の社会・文化・歴史を理解し自らの学びを相対化する**
美術、民俗、思想、演劇、暮らし、中国文学、翻訳、映像、メディア、ジェンダー、データベースなど、日本の社会や文化、歴史を幅広く学ぶことで、自らが探究していく日本語・日本文学の専門的なテーマを多角的な視野で捉えられるようになります。
- 主体的に学び、実践力を養う**
日本語・日本文学や日本文化への幅広い知識を生かしながら、現実社会の問題に主体的・能動的に関わる実践力を身につけます。編集や創作、話し方などを実践的に学ぶワークショップ科目や、日本語・日本文学に関する特定のテーマを設定し、資料などの調査・分析を踏まえて、その成果を展示・発表するプロジェクト型科目を用意しています。

カリキュラムイメージ

Curriculum Image



ゼミ紹介

- 和歌の鑑賞眼を養う
- 『源氏物語』を読む
- 『宇治拾遺物語』を読む
- 近世の怪談を読む
- 芥川龍之介の短編小説
- 『怪異』の想像力
- 現代文学を読む
- 恋愛の近代文学
- 資料から知る江戸語
- 似た意味のことはの違いを分析
- 日本語変化の実証的解明
- レトリックの言語的分析

4年間の学修ステップ

Four Years



PICK UP 授業

- 日本語・日本文学を深く学ぶ**
- 日本語の表現 ●日本語の文法 ●源氏物語を読む
 - 近世小説を読む ●近代文学を読む ●現代文学を読む
- 実践力を鍛える**
- 話し方ワークショップ ●創作ワークショップ
 - 編集ワークショップ ●文芸の創作と技法 ●プロジェクト演習
- 現代から見る**
- 近現代文学とメディア ●映像作品と日本文学 ●現代日本語論
 - 古典文学と現代文化 ●コーパス日本語 ●翻訳と文学
- 視野を広げる**
- 物語と絵画 ●日本民俗学 ●日本演劇史 ●日本美術史
 - ジェンダーで読む文学 ●日本の文学と思想

国際文化学科

Department of Cross-Cultural Studies

世界の多様性を学び
国際社会で活躍する
人材へ



現代社会学科

Department of Contemporary Societies

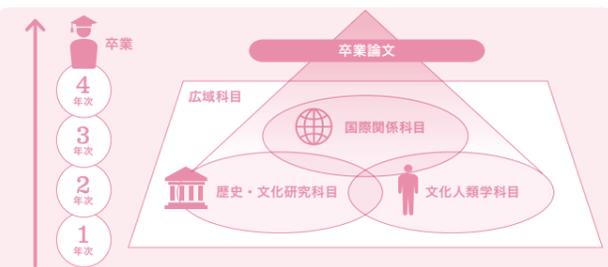
社会学とメディア研究の
視点から問題解決能力を
養成する



学科の特徴 Features

- 世界の総合的な理解を促す学際的な学び**
国際文化学科は、歴史・地域文化研究、文化人類学、国際関係研究にまたがる学際的なカリキュラムを提供しています。個々の学問分野の境界が切り分けてきた、人や社会、文化、世界に関する「知」を、時間と空間の広がりの中で統合的に再編することを目標としています。
- 学生と教員が協働してつくり出す、「実践知」の創成現場**
越境的現象と多文化的状況が日常化する現代世界。そこに生きる私たちに何が必要かを考え、先駆的で幅広いカリキュラムを組んでいます。社会の中での学びや時代を先取りする研究を促し、学生と教員がタッグを組んで今日的な「実践知」を創成します。
- 学生の探究心を支援する、自由度の高いカリキュラム**
国際文化学科のカリキュラムは、複数の学問分野を組み合わせ、履修者が関心に応じて学びの射程を決められる自由度の高さを備えています。新鮮で建設的な視野を育み、「世界とは、人間とは何か」という深遠なテーマに果敢に取り組んでほしいと願っています。

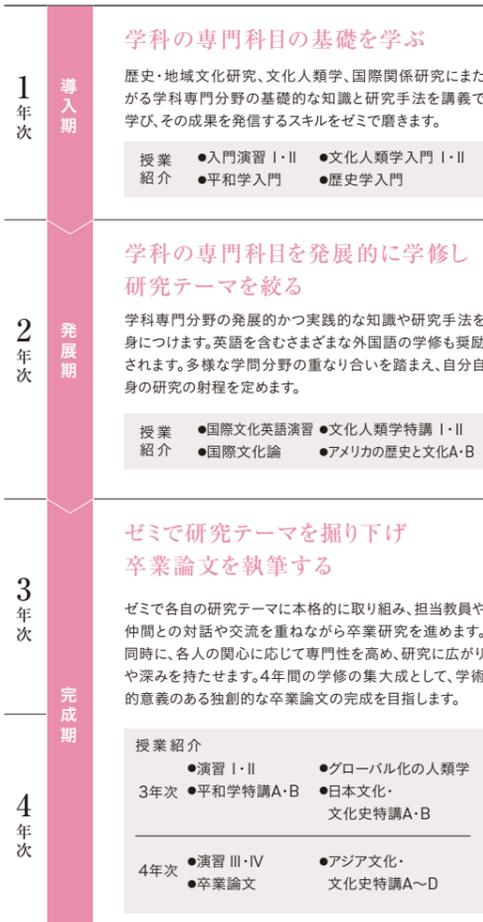
学びのイメージ Image of Learning



ゼミ紹介

- アジア・アフリカの歴史と文化
- 権力政治的・地政学的な視点から国際関係を見る術を学ぶ
- 文化人類学
- 国際関係論の基本事項や重要論点
- ヨーロッパの歴史と文化
- 国際関係に文化の視点から取り組む
- イギリス史を多面的に研究する
- アメリカ合衆国における文化的多様性と国民統合
- アメリカ合衆国の社会・文化史・日米関係
- 日本を中心とする東アジア近現代史の歴史・社会・文化
- 歴史研究の基礎的手法を習得する
- 日本・東アジア社会の歴史と文化
- 文化人類学およびジェンダー

4年間の学修ステップ Four Years



学科の特徴 Features

- 社会学とメディア研究から現代社会にアプローチ**
複雑化する現代社会に「社会学」と「メディア研究」の2つの軸からアプローチします。社会学では現代の社会現象と社会問題について分析します。メディア研究ではメディアを分析し、そこに埋め込まれた価値観を読み解き、それらの受容過程を解き明かします。
- 3つの実践科目で社会に直結する力をつける**
「社会調査演習」では近隣自治体の人々を対象に社会調査を企画・実施します。「メディア・リテラシー演習」ではラジオ番組や映像作品を制作します。「コミュニティ演習」ではフィールドワークを通じて地域の課題に取り組みます。
- 問題発見力・リサーチ力・表現力を鍛える**
現代社会をどう把握するかという「問題発見力」を身につけ、社会調査やメディア分析を自力で行うための「リサーチ力」を養います。その上で、論文やプレゼンテーションで研究成果を効果的に発信するための「表現力」を鍛えます。

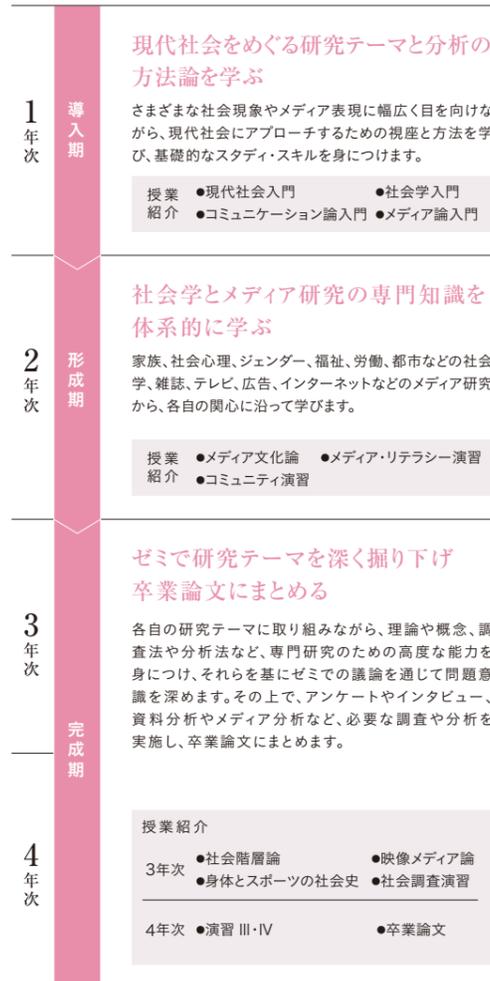
学びのイメージ Image of Learning



ゼミ紹介

- デジタルメディア論
- 都市と地域の社会学
- 情報のパーソナライズ
- ジェンダー・メディア・歴史
- 若者文化・教育・メディア・歴史
- 社会心理・人間関係・ライフスタイル
- メディア環境を考える
- 身体とスポーツの社会学
- 家族・コミュニティ・ライフコースの社会学
- 福祉の社会学
- 社会階層・ネットワーク・社会的自由の社会学
- ケアの社会学

4年間の学修ステップ Four Years



ゼミ紹介

- 社会学とメディア研究の専門知識を体系的に学ぶ
- 家族、社会心理、ジェンダー、福祉、労働、都市などの社会学、雑誌、テレビ、広告、インターネットなどのメディア研究から、各自の関心に沿って学びます。
- ゼミで研究テーマを深く掘り下げ卒業論文にまとめる
- 各自の研究テーマに取り組みながら、理論や概念、調査法や分析法など、専門研究のための高度な能力を身につけ、それらを基にゼミでの議論を通じて問題意識を深めます。その上で、アンケートやインタビュー、資料分析やメディア分析など、必要な調査や分析を実施し、卒業論文にまとめます。

国際共創学部

(仮称) ※

Faculty of
Global Studies
and Sustainability

国際共創学科 (仮称) ※

国際日本学専攻 (仮称) ※

環境サステナビリティ学専攻 (仮称) ※

本学Webサイト

学部・大学院

国際共創学部 (仮称)



国際共創学部 (仮称) の詳細は
Webサイトをご覧ください。



持続可能な地球・社会の実現を「文理複眼」 他者との「共創」をテーマに探究する

国際共創学部 (仮称) は、「今」そして「この先の未来」における社会課題を解決するための知識や技能、思考力を身につける学部です。グローバルな文化交流、共生社会や環境保全などの具体的な分野において、文理の枠を越えた複眼思考を養い、また理論と実践、ローカルとグローバルを往復する学びを通して、現代社会の課題に対する解決策を提案し、実際に貢献する力を育みます。

学部の特徴

Features

グローバル・コミュニケーション

卒業に必要な単位の約1/4は英語力強化を中心とした言語・グローバルスキル育成科目です。充実した英語学修や留学などを通して語学力、異文化・多様性理解などのグローバル社会で必要な力を身につけます。

フィールドワーク

日本各地にとどまらず、多様な言語が飛び交う海外も学びの舞台。「国内フィールドスタディ」では地方の都市部や農村などが、「海外フィールドスタディ」では他国がそれぞれ直面している現実の課題などについて現地の協力を得て学びます。

データ分析・活用力

「データサイエンス基礎」「統計学基礎」など、データサイエンスやAI技術の基礎になる授業を通して、今後あらゆる領域において必須となるデータ分析・活用力を修得。未来社会の中核として活躍できる人材の育成を目指します。

少人数制のゼミ教育

少人数の学生同士が互いに学び合う「双方向対話型」の授業を実施。多くの時間をかけてひとつのテーマを掘り下げていくプロセスを通じ、知識を身につけ、専門分野の学びを深めていきます。

「学部」に フォーカス

文理の複眼と、総合知を活用し 物事の本質を捉える

国際日本学からのアプローチ ～人の営みからの理解



文化、芸術、信仰の
対象としての富士山



環境サステナビリティ学からの アプローチ ～人を取り巻く世界の理解



豊かな自然、観天望気、
科学の対象としての富士山

物事はさまざまな側面を持つ。
見方によって、違った姿が浮かび上がるが、どれも真実。



国際日本学専攻 (仮称) ※ P56



環境サステナビリティ学専攻 (仮称) ※ P58

Topics

日本語教員養成コース

日本語教員養成コースは、日本語を母語としない人の日本語学習を支援する「日本語教員」を養成するコースです。本コースでは、日本語教授法や日本語の仕組み、歴史などを学び、日本語や日本文化を教えるための知識とスキルを実践的に身につけます。日本語教員は、2024年度から国家資格となり、本学の文学部または国際共創学部 (仮称) で所定の科目を履修し、かつ、卒業後に文部科学省の定める試験に合格すると、登録日本語教員の資格が得られるようになります。

※「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」(令和5年法律第41号)に基づき、文部科学省への登録申請を、「登録日本語教員養成機関」は2025年度に、「登録実践研修機関」は2027年度に、それぞれ行う予定です。そのため、文部科学省における審査の結果、予定している各機関の開設時期等が変更となる可能性があります。

※2026年4月開設予定 収容定員増加の認可申請中(2025年5月現在)。内容は変更になる場合があります。

国際日本学 専攻 (仮称)*

Major in Global Japanese Studies

国際的な視点から日本を学び
世界と結ぶ。文化学・地域学などを
専門に日本と世界の架け橋となる
グローバル人材へ

※2026年4月開設予定
収容定員増加の認可申請中(2025年5月現在)。
内容は変更になる場合があります。



専攻の特徴

Features

1

「文化」「地域」を専門に学ぶ

国際的な視点から日本の文化・地域について学び、文化多様性や地域の諸課題を捉えます。文化学では、生活文化、日本美術、ポップ・カルチャー、異文化交流・比較文化など、文化を通じた世界とのつながりを学びます。また地域学では、地域創生、共生社会など、グローバル化する地域の諸課題に取り組みます。さらにフィールドワークや共創プロジェクトを通じて専門分野の理解を深め、実践力を養います。

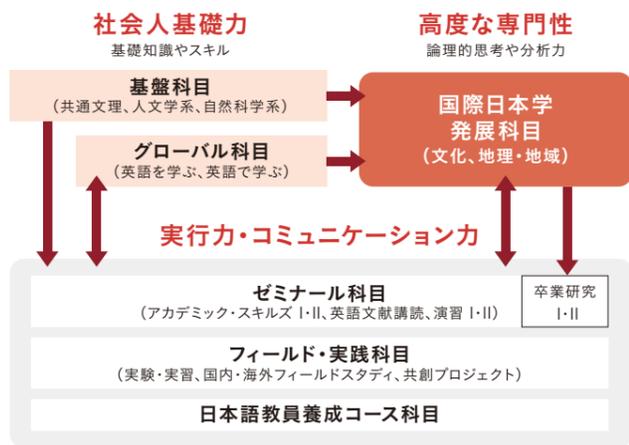
2

日本と世界の架け橋となるグローバル人材を育む

英語で専門分野を学ぶ「グローバル科目」などを通じ、国際社会への発信力や情報収集力、さまざまな国や地域の人たちと協働できるグローバルコミュニケーション力の修得を目指します。また、短期から中長期の海外留学を推奨し、フィールドワークなどの実践学習に取り組みます。日本語教育では、多角的に日本語と異文化理解について学び、国家資格である登録日本語教員の資格を取得することも可能です。

カリキュラムイメージ

Curriculum Image



想定される 将来像

- 民間企業のグローバル部門・サステナビリティ(CSR)部門・企画部門
- 国家公務員・地方公務員(国際交流部門や環境保全部門等)
- 独立行政法人(国際協力機構[JICA]等)
- 地域づくり等の団体や社会的企業
- 登録日本語教員
- 大学院進学

4年間の学修ステップ

Four Years

1 年次	基礎力涵養期	<h3>4年間の学びの基礎づくり</h3> <p>独自の教養カリキュラムや基礎科目をはじめとする、基礎的な科目を幅広く履修。「国際共創入門」「フィールドワーク入門」や「データサイエンス基礎」など、4年間の学びの礎となる知識・スキルを身につけていきます。また英語や初修外国語の科目も履修し、希望者は短期留学にもチャレンジ。グローバルな学びに向けた基礎を固めます。</p> <p>授 ●Intercultural Communication ●現代社会とアート 業 ●アカデミック・スキルズ I・II ●国際共創入門 例 ●フィールドワーク入門 ●国際協力論 など</p>
2 年次	専門技能の導入とスキル養成期	<h3>発展的な思考を身につける</h3> <p>「文化」「地域」の専門的な学びを深める「発展科目」、国内や海外のフィールドスタディなどを通じ、実践的な知識・スキルの修得を目指します。また「グローバル科目」では文化・社会・環境など幅広い専門分野を英語で学びます。さらに学部横断型の選抜型プログラムGSP(▶P24)で英語力と専門性を一層磨くことも可能です。</p> <p>授 ●英語文献講読 ●国際日本文化論 業 ●多文化共生論 ●Japanese Popular Culture 例 ●Regional Studies ●海外フィールドスタディ など</p>
3 年次	発展期	<h3>ゼミなどで確かな専門性を獲得</h3> <p>1・2年次の基礎科目および発展科目の知識・スキルを前提にした「国際日本文化特殊講義」など、専門性を高めた学びを中心に、ゼミ活動によるディスカッション能力向上のほか、副専攻の履修など、国際日本学領域における内容をより複眼的な思考で深めていきます。</p> <p>授 ●演習 I・II ●共創プロジェクト 業 ●Topics in Japanese Culture ●Language and Literature 例 ●国際日本文化特殊講義 ●地域資源論 など</p>
4 年次	完成期	<h3>卒業研究を通して学びの総仕上げ</h3> <p>4年間の学びの集大成と位置付け、自ら設定したテーマをより深く学び、掘り下げながら、学生一人ひとりが「卒業研究」をまとめ上げます。専門性の体系化はもちろん、培ってきたアカデミックな表現力や思考力を活用していくことも重要に。社会人になったあとも活躍していけるよう、将来を見据えたこれまでの学びの総仕上げを行います。</p> <p>授業例 ●卒業研究 I・II など</p>

?

なぜ国際日本学を学ぶのか



グローバルな社会課題に、 文化と地域から挑む

地球環境、文化多様性、地域社会、国際理解など、私たちが生きる現代社会はグローバル化が進むとともに複雑性も増えています。これらの諸課題を日本と世界の「文化」「地域」から探究し、グローバルな文化の交流、持続可能な社会、より良い未来の構築を考えます。

PICK UP!

成長を支える学び・科目紹介

1
年次



Intercultural Communication

英語コミュニケーション能力を鍛え、異文化理解・コミュニケーションに関する基礎的な知識や具体例を学びます。海外留学や研修も視野に入れ、自分とは異なる背景を持った他者とのコミュニケーションにおいて留意すべき事項を実践的に学びます。

成長目標・身につける力

異文化理解を目的に、グローバル人材に必須となる英語コミュニケーション能力を身につけ、多様なコミュニケーションスタイルに対応できる実践力を育成します。

2
年次



国際日本文化論

世界の中の日本という視点に立ち、「日本文化とは何か」という問いを、歴史、言語、芸術、思想、社会、政治、経済など、人文・社会科学にまたがるさまざまな観点から学際的に検討します。

成長目標・身につける力

日本と世界のつながりの中で「日本文化」の特徴を複眼的に理解する知識を身につけます。

3
年次



地域資源論、共創プロジェクト

日本における地域資源の「発見」の歩み、また世界文化遺産や日本遺産の取り組みと意義を学んだ上で、現代の地方創生・地域創生の動きの中での地域資源の活用について考えていきます。学部を特徴づける共創プロジェクトでは、二つの専攻の文理融合の集大成として、地域における社会課題や、地域のさまざまな特徴や価値を見出し、課題の解決や地域の魅力の発信などに取り組むプロジェクトを実施します。

成長目標・身につける力

日本と世界の地域資源や文化財に焦点を当て、これらが地域社会の持続的発展にいかん活用されてきたのか、地域創生のあり方を考察します。共創プロジェクトでは、プロジェクトデザイン・マネジメントの基礎力を整えます。

4
年次



卒業研究 I・II

卒業研究は、学生が自ら選んだテーマを深く探究し、独自の視点で考察する学びの集大成です。研究計画の立案、先行研究のレビュー、調査・分析方法の習得、論文執筆技術を学びます。文献調査やフィールドワークなど多様な手法を駆使しながら、定期的な進捗報告を通じて研究を進展させ、最終的に論文などに総括します。

成長目標・身につける力

研究計画の策定、実行、結果のまとめといった一連の取り組みを主体的に行うことにより、確かな問題解決能力を身につけます。また、他者からのフィードバックを受けることにより考察をより深化させます。

環境 サステナビリティ学 専攻 (仮称)*

Major in Environmental Sustainability Studies

社会・自然環境理解に基づく
グリーン人材を育成し
文理の総合知と複眼的思考から
持続可能社会の実現に貢献する

※2026年4月開設予定
収容定員増加の認可申請中(2025年5月現在)。
内容は変更になる場合があります。

専攻の特徴

Features

1

個人を取り巻く社会課題を学び 本質を見抜く探究を

例えば、気候変動や資源の枯渇、廃棄物の増加といった課題。これらは単なる環境問題にとどまらず、経済や人々の健康、地域社会のあり方にまで影響を及ぼします。さまざまな要因が絡み合うこれらの社会問題の本質を理解し、自分たちの日常とのつながりを知ることを通して、未来社会に必要な課題探究力を身につけます。

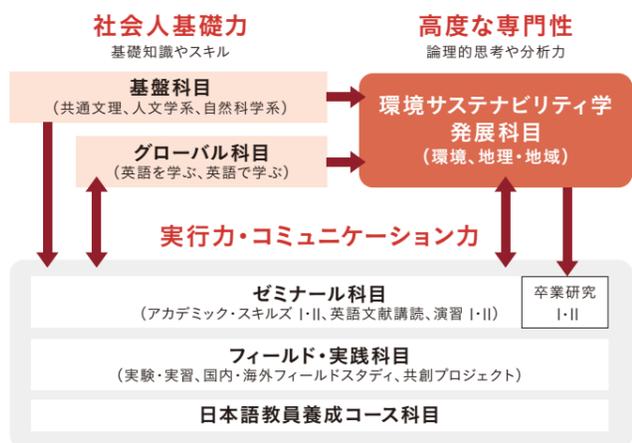
2

地理学や環境学、文化的側面を 理解し、課題解決を導き出す

世界的課題に対する課題解決を導くためには、多角的な視点からの学びが必要不可欠です。本専攻では、地理学や環境学をベースに文化的側面から課題解決力を修得。複眼思考による課題への深い理解を通して、企業や自治体、国際機関など、さまざまな分野で活躍しながら未来をリードする力を身につけます。

カリキュラムイメージ

Curriculum Image

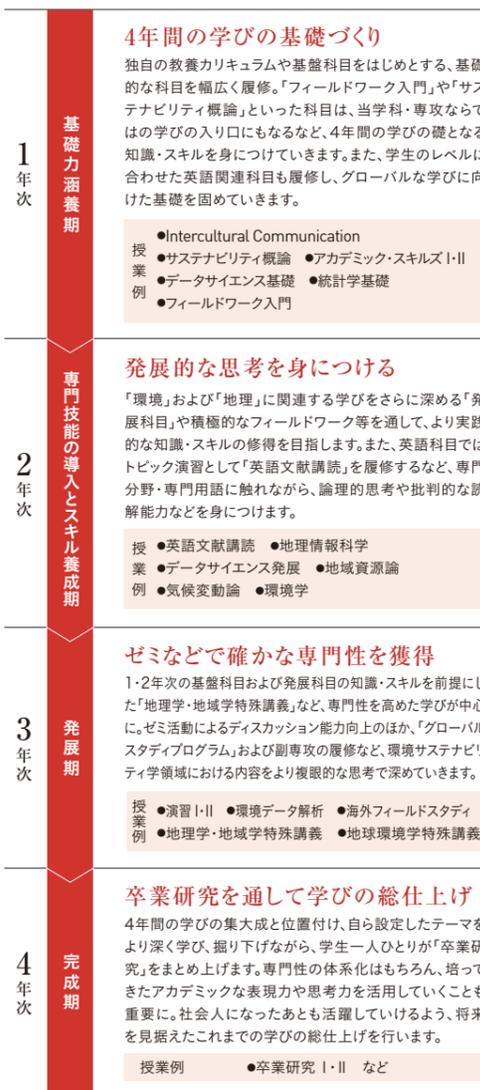


想定される 将来像

- 民間企業のグローバル部門・サステナビリティ (CSR) 部門・企画部門
- 国家公務員・地方公務員 (国際交流部門や環境保全部門等)
- 独立行政法人 (国際協力機構 [JICA] 等)
- 地域づくり等の団体や社会的企業
- 登録日本語教員
- 大学院進学

4年間の学修ステップ

Four Years



?

なぜ環境サステナビリティ学を学ぶのか



自然とともに生きる知恵を 未来へつなぐために

私たちは、四季折々の美しく豊かな自然の恵みを受け一方で、地震や風水害など自然の脅威とともに生きています。人・社会・自然と向き合い、より良く生きるための知恵を磨き、ずっと先の未来の子供たちに「自然の恵み」と「知の力」を残す義務があります。

PICK UP!

成長を支える学び・科目紹介

1年次



フィールドワーク入門

実際の現地調査を通じて、データ収集、観察、測量、地図作成などの実践的なスキルを修得します。大学が立地する吉祥寺エリアを中心に実地調査を行い、その後調査結果の報告プレゼンテーションを行います。

成長目標・身につける力

実地調査やフィールドワークの基礎的なスキルを身につけ、景観と人間の営みを結びつけて考察する力を養います。また、フィールドワークの目的や意義、計画や準備の重要性について理解を深めます。

2年次



地理情報科学

地理情報 (コンピュータで) 系統的に処理・表示・分析し、自然環境や人間活動の空間的な傾向や変化を学修します。地図や GIS (Geographic Information System) の概念や基礎的な知識を学修します。

成長目標・身につける力

社会のさまざまな分野で整備されている空間データを、GISソフトで地図化するスキルを身につけ、作成した地図から、多様な自然環境や人間活動、自然と人間活動の相互関係を読み取るスキルを修得します。

3年次



地球環境学特殊講義

地球温暖化の原因としての人為的な温室効果ガス排出や自然変動、そしてそれが引き起こす極端な気候現象に焦点を当てます。気候変動の科学的根拠やメカニズム、さらには地域ごとの影響とその対策について学修します。

成長目標・身につける力

科学的なデータを使用して気候変動の予測や影響を分析し、対策を検討します。また、気候と人間社会との関係を、気候変動や気候変化の観点から取り上げ、地域社会への影響と影響緩和について考察、提言する力を養います。

4年次



卒業研究 I・II

これまでに身につけた専門的知識をもとに、独自の研究プロジェクトを計画し実行します。策定した研究計画に基づいて、データの収集・分析を行いながら課題に取り組み、必要に応じて調査や実験を行い、得られた結果を評価・解釈します。

成長目標・身につける力

研究計画の策定、実行、結果のまとめといった一連の取り組みを主体的に行うことにより、確かな問題解決能力を身につけます。また、他者からのフィードバックを受けることにより考察をより深化させます。

理工学部

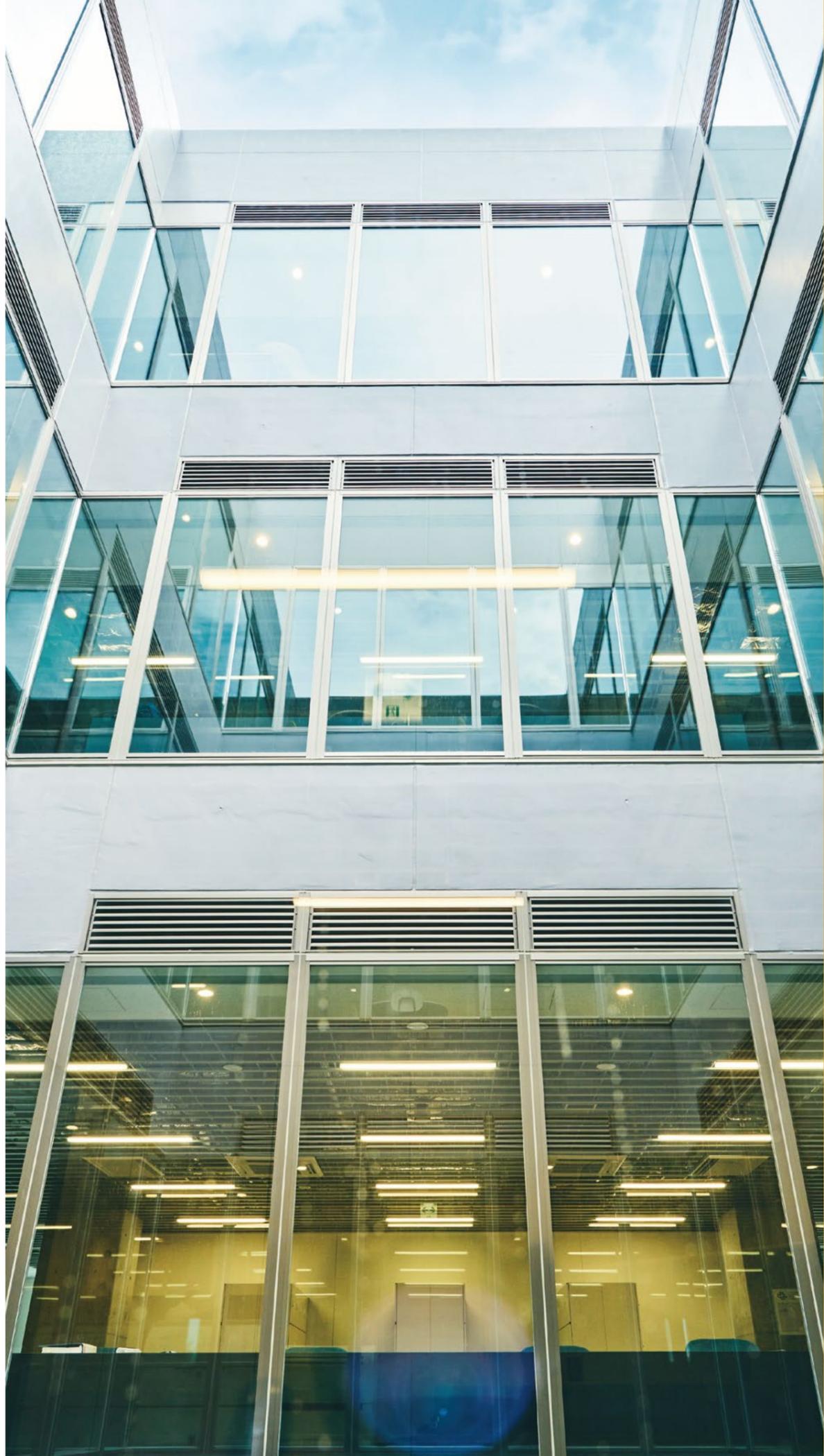
Faculty of Science
and Technology

- 理工学科
- データ数理専攻
- コンピュータ科学専攻
- 機械システム専攻
- 電気電子専攻
- 応用化学専攻

本学Webサイト
学部・大学院
理工学部



学生インタビュー
教員紹介はこちら



ICT活用力と専門性を駆使して 社会課題に果敢に取り組む「新しい理系」を養成

情報技術を中心とした基礎教育、各専攻分野に立脚した専門教育、専門の垣根を越えた融合教育の3つの教育の柱により、現代社会が抱える複雑な課題に果敢に取り組める人材を養成します。新たな学びの場として、2024年9月に大学11号館が竣工、理工学部の教育・研究拠点として活用しています。

学部の特徴

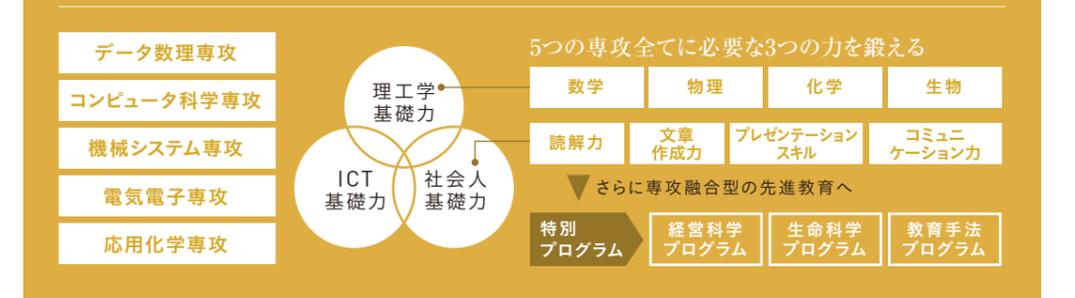
Features

1学科5専攻	特別プログラム	ICT活用力	連携プロジェクト
学問分野を明確にした5つの専攻を設置。自分に合った専攻分野で深い専門知識を身につけ、さらに専攻の垣根を越えた科目の履修により、学びの幅を広げます。	学修意欲の高い学生を対象に、「経営科学」「生命科学」「教育手法」という、各専攻分野にとられない社会的要請の高いテーマについて重点的に学びます。	全ての専攻で確かなICT活用力を身につけます。各専攻の専門知識とICTを高度に駆使して、実社会における課題を解決できる力を養います。	「連携プロジェクト」科目では、専攻の垣根を越えて学生同士が協働し、企業や地域における課題をチームで解決するための実践力を鍛えます。

「学部」に 「フォーカス」 未来が求める 「新しい理系」の3つの資質

専門性 × コラボレーション	専門性 × 融合分野	専門性 × ICT
専門の異なる人々と連携して社会課題を解決できる	専門の垣根を越えた融合教育で新しい価値を創造できる	社会の変化に最適なカタチで自らの力を発揮できる
データ数理専攻 P62	コンピュータ科学専攻 P63	機械システム専攻 P64
電気電子専攻 P65	応用化学専攻 P66	

3つの力を鍛えるカリキュラム



データ数理専攻

Data and Mathematical Sciences

数理学と情報科学で
ビッグデータを使いこなし
実世界の問題を解決する



コンピュータ科学専攻

Computer Science

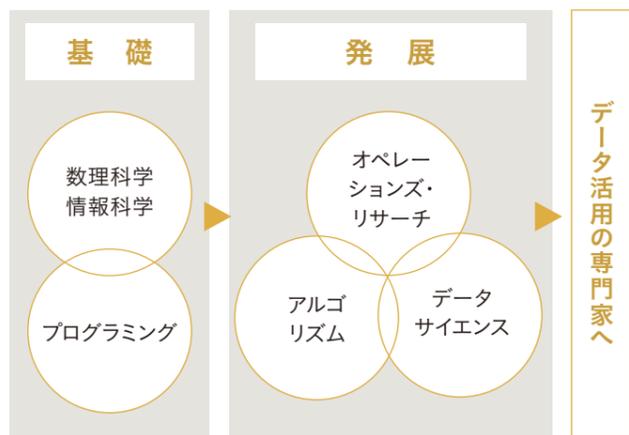
ICT
ヒューマン・メディア技術の
革新を促進して未来を築く



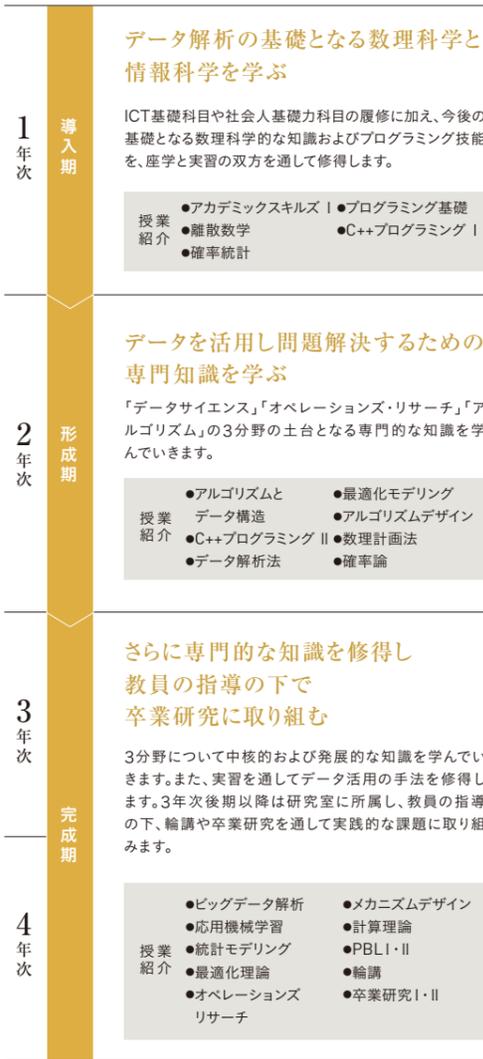
専攻の特徴 Features

- データ活用に必要な専門知識を体系的に学修
データを活用して複雑な問題を解決するため、本専攻では、データを解析し知見を見出す「データサイエンス」、データに基づく最適な意思決定を行う「オペレーションズ・リサーチ」、データを効率的に処理する「アルゴリズム」の3分野を体系的に学修します。
- 実習を通してプログラミングスキルや実践的な技能を修得
実世界の問題を解決するため、本専攻ではまず、基礎としてPythonとC++によるプログラミングを学修します。次に応用として、データの収集方法、それに、統計的な解析方法、最適化手法、アルゴリズムの設計手法を実習を通して学修します。

学びのイメージ Image of Learning



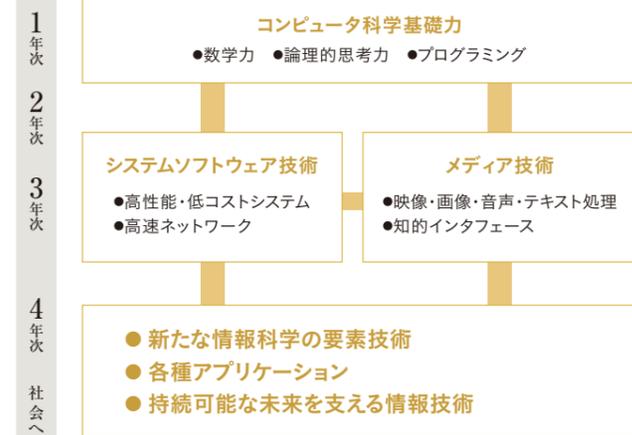
4年間の学修ステップ Four Years



専攻の特徴 Features

- コンピュータ科学全般に関する専門知識を体系的に学修
ソフトウェア、ネットワーク、並列・分散、Web技術、人工知能、自然言語処理、映像・画像・音声といったメディア技術など、現在はもちろん未来を支える要素技術について、基礎から応用による現実社会の問題解決まで、実践を通じて体系的に学修します。
- プログラミングからソフトウェア開発までの実践的能力を獲得
数学力や論理的思考力を高めながら、PythonやC++などの代表的なプログラミング言語を通じてプログラミング技術を実践的に学修していきます。そしてさらに規模の大きなソフトウェアシステムを構築する手法を学修し、さまざまな産業界で活用できる能力を修得します。

カリキュラムイメージ Curriculum Image



4年間の学修ステップ Four Years



経済学部
経営学部
法学部
文学部
国際共創学部(仮称)

理工学部

機械システム 専攻

Mechanical Systems Engineering

IT技術を基に産業界における
最先端の技術課題を
解決できる人材を育成



電気電子専攻

Electrical and Electronic Engineering

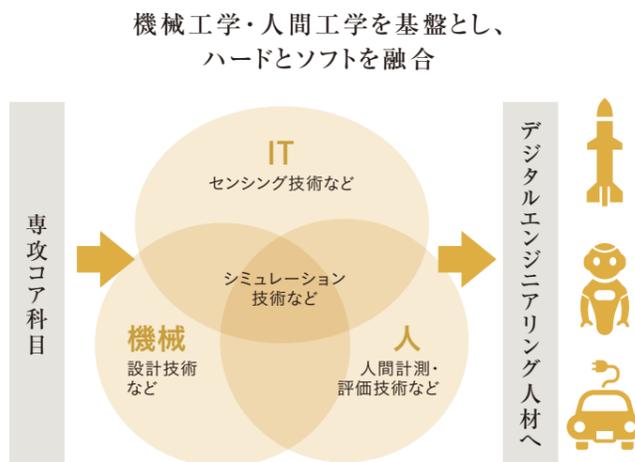
社会・産業・情報基盤
を支える“幅広く柔軟な”
人材育成



専攻の特徴 Features

- 1 **ハードウェア(モノ)とソフトウェア(IT)の融合した人材育成**
現代のモノづくりにとって、ITを活用することはとても重要になっています。機械システム専攻では、機械工学と人間工学を基盤とし、ハードウェアとソフトウェアの知識と技術を学び、「デジタルエンジニアリング人材」の育成を行います。
- 2 **デジタルエンジニアリング人材は強い社会的要請**
ハードとソフトの両方を身につけたデジタルエンジニアリング人材は、多くの企業が必要としています。また、機械システム専攻では、多くの優良企業と共同研究を行っています。このことから、自動車、重工業、総合電機、インフラ、ITメーカーなど就職に強いのが機械システム専攻の特徴です。

学びのイメージ Image of Learning



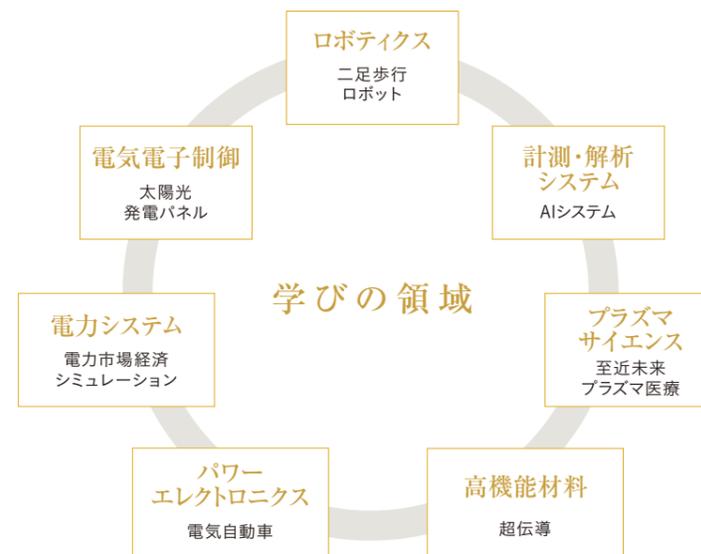
4年間の学修ステップ Four Years

1年次	導入期	<p>理工学の基礎知識とともに専門分野の基礎知識を学ぶ</p> <p>ICT基礎科目や社会人基礎力科目の履修に加え、理工学の基礎となる数学、物理、化学、生物などの科目とともに専門分野の基礎科目をバランスよく学修します。</p> <p>授業紹介 ●アカデミックスキルズ I ●インダストリアル・エンジニアリング ●熱力学 I ●CAD/CAM I ●人間工学</p>
2年次	形成期	<p>専攻の主要科目を通して専門的な知識を深める</p> <p>主要科目を中心に学び、ふたつの専門分野の知識と技術を複数の授業を通して学ぶことで視野を広げ、専門的な知識を深めます。</p> <p>授業紹介 ●機械力学 I ●設計工学 ●材料力学 I ●機械工学実験 ●流体力学 I</p>
3年次	完成期	<p>専攻の応用・発展科目でさらに専門的な知識を修得し学んだ知識の集大成として卒業研究に取り組む</p> <p>応用・発展科目を通して、さらに専門的な知識を修得するとともに、3年次後期より研究室に所属し、学んだ知識の集大成として、教員の指導の下でプロジェクトや卒業研究に取り組めます。</p> <p>授業紹介 ●シミュレーション基礎 ●音響工学 ●認知工学 ●金属材料工学 ●生産システム工学 ●PBL I・II ●実験計画法 ●輪講 ●センサデータ処理 ●卒業研究 I・II</p>
4年次	完成期	

専攻の特徴 Features

- 1 **広い基礎知識と深い応用力を両立する人材を養成**
近年、電気を用いない製品・システムはないといっても過言ではありません。特に家庭用機器、産業用装置などさまざまな分野で電気工学に基づく技術開発・製品適用が進んでいます。これらの分野で活躍できる広い基礎知識と深い応用力を両立する人材を養成します。
- 2 **電気電子・機械制御・情報処理を有機的に網羅**
自然科学の基盤である数学やプログラミング科目と並行して電気電子・機械制御系科目を網羅して履修します。これにより数学的な思考に長け、モデリングやプログラミングに習熟し、高度な理論的知識・実践的技能を身につけた専門家の養成を目指します。

学びの領域 Area of Learning



4年間の学修ステップ Four Years

1年次	導入期	<p>数学・物理とプログラミングを中心に電気電子工学の基礎を学ぶ</p> <p>ICT基礎科目や社会人基礎力科目の履修に加え、電気電子工学の修得に必須となる数学・物理とプログラミングの基礎を学びます。専門分野を学ぶための基礎を身につけることで、2年次以降の広範囲な応用専門科目を理解できるようになります。</p> <p>授業紹介 ●アカデミックスキルズ I ●線形代数 II ●確率統計基礎 ●電気回路 I ●プログラミング基礎</p>
2年次	形成期	<p>電気電子工学の応用科目を学び専門分野の特徴を把握する</p> <p>1年次に学んだ基礎科目を踏まえて電気回路・電磁気学・電気材料・ロボット工学・電気計測など分野ごとの応用科目をバランスよく修得します。</p> <p>授業紹介 ●電磁気学 I・II ●電気電子計測 ●電子固体物性 ●電子回路 I ●ロボット工学</p>
3年次	完成期	<p>専門性の高い科目を学び3年次後期から研究室に所属4年次では指導教授の下卒業研究に取り組む</p> <p>3年次ではより専門性の高い科目を学びます。3年次前期のPBL Iでは各専門分野の実験実習を、後期のPBL IIでは所属した研究室の専門分野の導入を学修します。それらを身につけた上で4年次では研究室教員による個別指導の下、卒業研究に取り組めます。</p> <p>授業紹介 ●電気電子材料 ●電気制御シミュレーション ●プラズマ理工学 ●電力システム ●モーションコントロール ●PBL I・II ●集積回路 ●輪講 ●パワーエレクトロニクス ●卒業研究 I・II</p>
4年次	完成期	

経済学部

経営学部

法学部

文学部

国際共創学部(仮称)

理工学部

応用化学専攻

Applied Chemistry

化学の学問探究を通して
人と暮らしの未来に貢献



理工学部理工学科 特別プログラム Special Programs



時代のニーズを捉えた専攻融合型の先進教育

各専攻の主要分野にとらわれない社会的要請の高いテーマについて重点的に学ぶ、学修意欲の高い学生に向けたプログラムです。異分野からの視点への気づきや、異分野の学生との知的交流を通して、社会で活躍するための広い視野や柔軟な発想を養います。

特別プログラムの流れ

1年次

■ 1年次後期までの成績による受講要件があります。

2年次

■ 2年次前期から登録できます(登録時期は任意)。
■ 2年次開講の指定先修科目を受講します。

3年次以降

■ 3年次開講の特別プログラム演習を受講します。特別プログラム演習は定員を設け、アクティブラーニング形式で実施します。
■ このほかに特別プログラムごとに、指定科目群の中から受講します。



経営科学プログラム

関連講義科目の受講と、グループワークやディベートなどのアクティブラーニングを通して、企業活動(経営)に科学的方法を活用し解決する経営科学の素養を身につけます。

学びのキーワード
企業/経営/経営工学/人間工学/
生産工学/AI(人工知能)/IT



生命科学プログラム

関連講義科目の受講と、グループワークやディベートなどのアクティブラーニングを通して、超高齢社会に重要な健康・医療の理解に資する生命科学の素養を身につけます。

学びのキーワード
健康/医療/創薬/高齢化対策/
感染症対策/バイオテクノロジー/食品



教育手法プログラム

関連講義科目の受講と、グループワークやディベートなどのアクティブラーニングを通して、次世代教育に重要なICTなどを活用した教育手法の素養を身につけます。

学びのキーワード
教材開発/ICT/ディープ・アクティ
ラーニング/ファシリテーション技術

Topics

連携プロジェクト

「連携プロジェクト」科目では、専攻の垣根を越えて学生同士が協働し、企業や地域における課題をチームで解決するための実践力が鍛えられます。

大学院の早期修了制度

4年次から、博士前期課程進学を見据えたプログラムに参加することで、学士と修士の学位を5年間で取得することができます。

専攻の特徴 Features

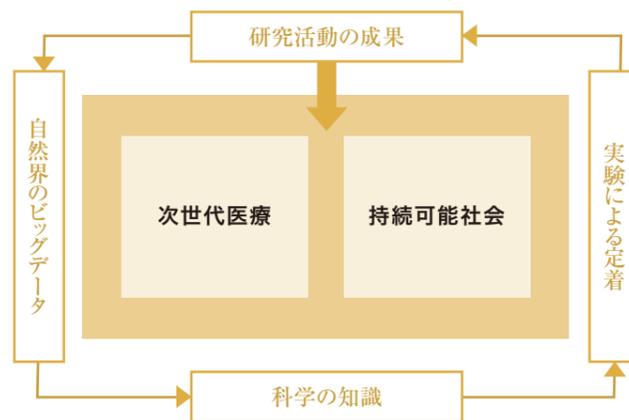
健康・医療を拓くライフノベーション

人が健康に暮らせる社会を実現するためには、生命科学の解明と健康で豊かな生活を実現するための食品・医療技術の進歩が必要です。バイオテクノロジー・ケミカルバイオロジーといった専門分野の深化とともにAIも活用した異分野とのコラボによるブレークスルーを目指していきけるように、基礎から応用まで幅広く学び、研究活動として実践していきます。

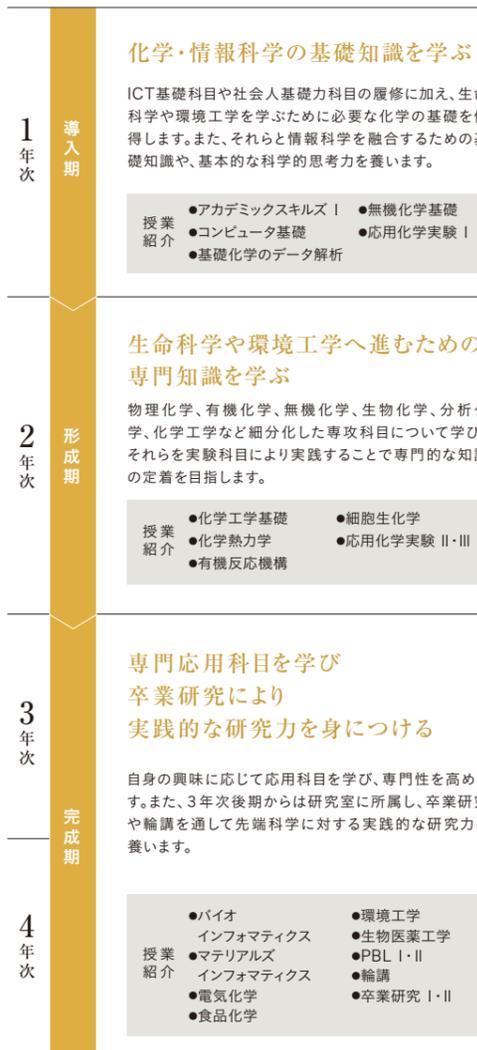
持続可能社会を拓くグリーンイノベーション

これまでと変わらない生活を維持するためには、二酸化炭素の排出削減と太陽光や風力からのエネルギー獲得が必要です。そのような新しいエネルギー利用システムを広げるために、また、AIも活用した材料・触媒・電池技術のブレークスルーを目指していきけるように、基礎から応用まで幅広く学び、研究活動として実践していきます。

学びのイメージ Image of Learning



4年間の学修ステップ Four Years





各研究室の詳しい研究内容は
こちらをご覧ください。

データ数理専攻

データサイエンス研究室

データに基づき自然現象の背後にある仕組みを捉え、それらを解明することを目指します。そのために統計科学、機械学習、深層学習、情報幾何学、コンピュータサイエンスを網羅的に扱うデータサイエンスの研究を行っています。

確率統計	機械学習	データサイエンス
深層学習	生物統計	情報幾何

知能数理研究室

データの中にひそむ知識やルールを自律的に学習し利用する人工知能の研究を行っています。数理的な手法に基づく基礎理論構築と、実際の文書分析などの応用技術開発の、ふたつの側面から研究を進めています。

データ解析	ビッグデータ	機械学習
人工知能	情報数理学	数理統計学

学習型知覚データ処理研究室

映像などのデータを解析し、認識・理解する技術の研究を行っています。主に、人を対象とした映像における認証・行動理解・状態推定などを行う技術を、人間の知恵と利用可能なデータを融合させる機械学習アルゴリズムを構築することで、実現を目指します。

データ解析	機械学習	人工知能
バイオメトリクス	コンピュータビジョン	映像解析

数理最適化研究室

世の中の多くの問題が、最適化問題とよばれる、満たすべき条件の下で費用の最小化もしくは利益の最大化を行う数学的な問題として表現できます。本研究室では、最適化問題へのモデル化や最適解を効率的に求めるためのアルゴリズムの開発を行います。

アルゴリズム	機械学習	数理科学
プログラミング	数理最適化	モデリング

オペレーションズ・リサーチ研究室

少子高齢化社会を迎えた日本では、資源の有効活用と生産活動の効率化は喫緊の課題です。最適化技術の研究・開発を通して課題解決し、持続可能な社会を実現し、生活の質の向上を目指します。

アルゴリズム	データ解析	数理科学
スマートものづくり	オペレーションズ・リサーチ	最適化

アルゴリズム応用研究室

アルゴリズムを工夫することでプログラムの速度は何百倍も速くなることがありますし、使用するメモリの量を劇的に減らすこともできます。従来のやり方は現実的に解くことのできなかった問題をアルゴリズムの工夫によって解くことを目指します。

アルゴリズム	ビッグデータ	プログラミング
グラフ	列挙	パズル・ゲーム

アルゴリズム論研究室

アルゴリズムとは、問題を解くための機械の手順のことです。アルゴリズムの良し悪しで問題を解く「効率」に大きな差が生じてきます。どのように設計したら計算の効率が良くなるか、アルゴリズムの設計および解析を行っています。

離散数学	アルゴリズム	数理科学
プログラミング	乱択計算	計算科学

コンピュータ科学専攻

イメージメディア研究室

超高速ネットワークやスマートフォンなどの急速な普及に伴い、ビジュアル系コンテンツメディアが社会にあふれています。人々が安全かつ安心して生活できる持続可能な社会実現にこれらのメディアデータ処理の観点から取り組みます。

深層学習	画像処理	データ解析
メディア処理	情報幾何	ブロックチェーン

映像情報研究室

映像情報をより進化発展させるため、臨場感や主観画質など人間中心の映像情報のあり方を考えながら、視覚心理や情報理論を基礎に、カメラ、伝送、ディスプレイ、コンピュータグラフィックスなど、広範囲な技術分野を対象として研究します。

インターネット技術	画像処理	映像処理
電子透かし	動画像符号化	画質評価

知的インタフェース研究室

人と接するようにコンピュータとコミュニケーションがとれれば、直感的なコンピュータの操作が可能で、音声言語とジェスチャーや表情など非言語情報を使って人とコミュニケーションがとれるアニメーションなどへの研究に取り組みます。

人工知能	ユーザーインタフェース	機械学習
会話エージェント	知識獲得	コミュニケーション支援技術

音声情報研究室

音声には、感情などの非言語情報を包含し、短時間で多くの情報を伝えられるといった利点があります。音声の性質を利用し分かりやすい情報提示を実現することを目的として、音声合成や音声認識などの音声処理技術の研究に取り組みます。

プログラミング	音声処理	機械学習
音声合成	音声認識	音楽情報処理

言語情報研究室

インターネットの急速な発展と大容量記憶装置の低価格化により、膨大なテキストデータへのアクセス、収集が可能になりました。Web上にあふれる情報に溺れることなく積極的に活用するための情報技術を、自然言語処理を基に研究しています。

データマイニング	自然言語処理	ビッグデータ
情報抽出	テキストマイニング	情報検索

ソフトウェア研究室

プロセッサのマルチコア化が進み、ネットワークにあたりまえのように相互接続される時代。コンピュータ同士を協調動作させてコストパフォーマンスの高い処理を実現するため、並列処理および分散処理技術をソフトウェア面から研究します。

プログラミング	深層学習	並列・分散処理
最適化	アルゴリズム	VRの教育応用

コンピュータシステム研究室

高速な有線とどこでも利用できる無線のインターネットでコンピュータ環境が便利に利用できる時代。研究室では、Webサーバ連携、仮想マシン環境、プログラミング言語の研究を中心に、さらに生活を豊かにするコンピュータシステムのあるべき姿を模索しています。

プログラミング	インターネット技術	機械学習
負分散	IoT	対話型アニメ

プログラミング言語研究室

交通・金融・医療など主要な社会基盤がソフトウェアにより制御される現在、その信頼性の確保が厳しく問われています。プログラミング言語理論を基礎に、言語処理系拡張による不正動作防止、セキュリティ検査技術などの研究に取り組みます。

データベース技術	並列・分散処理	知識情報処理
プログラム解析	言語処理	自律制御システム

情報通信ネットワーク研究室

インターネット上で発生する情報の流れである通信トラフィックをはじめとした、さまざまなネットワーク情報を可視化および分析し、その結果に基づいて情報通信ネットワークを最適化する研究を進めています。

インターネット技術	データマイニング	ビッグデータ
情報通信	ネットワーク	トラフィック制御

振動音響制御研究室

機械システムの価値を損なう振動・騒音現象を解明し、その物理的特性に特化した新しい制御法を提案しています。また、スピーカアレイによる音場の生成や超音波による非接触物体搬送などの音響利用技術にも取り組んでいます。

システムデザイン	振動音響	環境
スマート構造	楽器	超音波スピーカ

知能機械研究室

工学的・心理学的アプローチを融合してヒトの持つ知能や技能などの特性についての理解を深め、応用する研究を行っています。経営工学・ロボット・教育工学など、さまざまな分野のシステム構築に役立てることを目指します。

システムデザイン	知能機械	ヒューマンインタフェース
人工知能	VR	行動科学

材料力学研究室

全ての機械構造物は材料(主に金属)で構成されています。この材料の性質が向上すれば、それからできる各種構造物の性能は飛躍的に向上します。本研究室では、産業界と連携して、金属3Dプリンタ、鍛造用金型、インプラント、などを研究対象としています。

システムデザイン	金属材料	高機能材料
医療用材料	金属3Dプリンタ	金属結晶

熱・エネルギー研究室

機械や航空機の性能向上や電動化を目指し、数値シミュレーションと実験を用いて熱流動制御や伝熱量の高精度予測手法に関する研究を行っています。加えて、風力発電などの再生可能エネルギー設備の発電効率向上にも取り組んでいます。

システムデザイン	熱流動制御	再生可能エネルギー
航空工学	シミュレーション	データ解析

流体力学研究室

水や空気の流れについて理論・実験・数値シミュレーションを駆使して現象を明らかにし、その知見を基に環境問題をはじめとするさまざまな問題の解決に企業や自治体と連携して取り組んでいます。

システムデザイン	高速鉄道	人流解析
シミュレーション	プログラミング	流体制御

ヒューマンファクター研究室

ヒューマンファクターズは、使いやすさを追求する人間工学を包含し、人間特性やヒューマンエラーの間接・要因を分析して、安全で快適なものづくりを目指す学問です。特に、自動車の安全システムの開発に向けてシミュレータを用いて研究しています。

システムデザイン	自動車	人間工学
行動計測	人的要因	ユーザーインタフェース

スマートニューロリハビリテーション研究室

脳活動や身体動作など、さまざまな生体信号を計測解析することで、ヒトの脳の仕組みを解明し、その知見に基づき新しいリハビリテーション機器の提案をします。またIoT技術により、医療現場や家庭でも使いやすい脳機能訓練システムの開発も行っています。

システムデザイン	ヒューマンインタフェース	脳機能イメージング
リハビリテーション	スポーツ心理	スマートセンシング

産業人間工学研究室

働く人の安全性の確保と業務の効率化について研究しています。人の姿勢・動作の生体力学的解析や、バーチャル環境でのシミュレーションなどを用いて、腰痛や転倒・転落が発生しにくい環境構築を目指しています。

システムデザイン	人間工学	シミュレーション
VR	行動計測	スマートものづくり

プラズマエネルギーデザイン研究室

光・原子・分子レベルの小さな世界を扱うプラズマ科学の超領域モデリングにより未踏のバイオ・医療分野を切り拓きます。工学の側面だけでなく社会的・経済的側面も包括する超領域モデリングにより再生可能エネルギーの普及する近未来を予測します。

プラズマサイエンス	超領域モデリング	医療テクノロジー
再生可能エネルギー	未来予測シミュレーション	電力市場経済モデリング

情報メカトロニクス研究室

メカトロニクス(機械と電気)技術と情報処理技術を合わせて、土木建設作業・高所作業などの人間には大きな負担と危険が伴う作業を自動化するロボットとその技術、そして、人間の触感を増幅させる触力覚技術について研究を行っております。

メカトロニクス	情報処理	知能移動ロボット
触力覚	触覚デバイス	フィールドロボティクス

ロボティクス研究室

搭乗できる大型の二足歩行ロボットの動作制御、動作計画やロボットビジョンによる高速物体認識などに取り組んでいます。実機の開発・製作を行い試験動作における検証を重ねて、実用を見据えた研究を展開しています。

ロボティクス	機械学習	シミュレーション
次世代自動車	画像処理	自動制御

超伝導研究室

「電気抵抗ゼロ」の特徴を持つ超伝導でしか実現できない高度医療や低炭素社会に役立つ応用に向け、ナノテクノロジーを駆使した世界最高レベルの超伝導材料および機器開発に取り組んでいます。また、その知見を生かし、さまざまな高機能材料の研究開発も行っています。

超伝導	再生可能エネルギー	医療テクノロジー
高機能材料	次世代自動車	強磁場

※この表では研究室と専攻を結びつけて表示していますが、履修などの条件によっては、所属している専攻にかかわらず興味のある研究室への配属希望を出すことができます。 ※2025年4月現在

データ駆動計測研究室

高機能性材料やデバイスおよび生体組織中の分子分布や化学構造を明らかにできる先端計測手法からは有用なデータが得られますが、計測データが含む情報が極めて豊富で複雑なため、そのままでは読み解けません。そこで、AI技術を用いて計測データから最大限の情報を引き出し、さまざまな物理化学的性質を明らかにします。

計測解析システム	スマートセンシング	機械学習
AI技術	イメージング	データ駆動

電子材料プロセス研究室

原子・分子から堆積させる固体表面のコーティングや微細構造作製について研究しています。真空電子放出源、スマートウィンドウ、超低ガス放出コーティングなどへの応用に向けて、製膜技術と評価技術の向上に取り組んでいます。

電子材料	高機能材料	薄膜作製技術
プラズマサイエンス	真空工学	エレクトロニクス

細胞分子デバイス研究室

病気の発症や進行には細胞中の遺伝子やタンパク質の変化が関係しています。本研究室では、未知の遺伝子やタンパク質の新たな機能の発見に取り組み、病気の発生原因の解明や効率的な治療薬、再生医療への応用を目指しています。

生物化学	医療/創薬	生命
ビッグデータ	分子標的薬	診断

バイオエレクトロニクス研究室

生物と電気。一見無関係のようですが、そう考えているあなたの頭も実は電気で動いています。生物と電気之力を使って、医療診断から視覚・聴覚変換装置、植林による二酸化炭素削減まで、さまざまな分野の技術の研究・開発するのがバイオエレクトロニクス研究室です。

生物化学	環境	生命
ヒューマンインタフェース	医療テクノロジー	エレクトロニクス

生体分子化学研究室

糖鎖は身体の機能を調節する生体情報分子です。糖鎖情報は各種疾患の発症にも関与するため、その解明は疾患の予防・診断・治療につながります。糖鎖機能の分子レベルでの理解を目指し、糖鎖生命現象を化学的に探るケミカルバイオロジー研究を展開しています。

有機化学	生物化学	医療/創薬
医療テクノロジー	糖鎖	ケミカルバイオロジー

生命機能化学研究室

化学の力を使って、天然の機能を超える新しいタンパク質の合成を行います。遺伝子設計図として生産されるタンパク質は、糖の付加など、体内でさらなる修飾を受け機能しています。化学の力で未知の修飾タンパク質を創造し利用することで、生命現象を理解し制御するための基礎研究や、新しい薬の開発などの応用研究に挑みます。

有機化学	生物化学	生命
医療テクノロジー	合成化学	タンパク質

有機化学研究室

私たちの身の周りには医薬品やプラスチックなど数多くの有機化合物が存在し、日常生活において重要な役割を果たしています。これらの効率的で新しい合成方法の開発や、興味深い構造や機能を持つ新規化合物の合成に挑戦しています。

有機化学	分析化学	機能分子
高機能材料	高分子化学	合成化学

環境材料化学研究室

2050年の二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、再生可能エネルギーの利用拡大とカーボンリサイクル技術に取り組みます。再生可能電力からの水素の製造と二酸化炭素の水素化による液体燃料製造など、カーボンニュートラルな社会の構築に向けた研究開発を行っています。

物理化学	無機化学	カーボンリサイクル
再生可能エネルギー	次世代燃料	触媒化学

環境化学工学研究室

環境問題は、人間の体から地球までさまざまなスケールで、またさまざまな要素が絡み合った複雑なものです。本研究室では、さまざまな要素をシステムと捉え、環境問題の本質を解析しながら、個々の問題に応じた解決のための要素技術を開発します。具体的には、シックハウスの受動喫煙などの室内空気質の問題から、地球温暖化対策としての温室効果ガス排出削減技術、廃コンクリートや金属などのリサイクル技術を中心に研究を行っています。

化学工学	環境	カーボンリサイクル
材料	室内空気	分離工学

電気化学研究室

スマートフォンやタブレットなどの携帯機器だけでなく、電気自動車や再生可能エネルギーの利活用、ロボティクスなど、電池の活躍の場はますます広がりを見せています。電気化学研究室は、スマートエネルギー社会の構築へ向けて『電池の化学』で貢献します。

無機化学	エネルギー	次世代自動車
次世代電池	スマートグリッド	電気化学

ナノ物性研究室

ナノ系や孤立量子系における非平衡過程の解析。分子機械系における揺らぎ輸送や冷却原子系の熱平衡化などについて解析しつつ、非平衡統計力学の構築を行います。熱力学第二法則や時間不可逆性に関する原理的問題の解明にも取り組んでいます。

数理科学	確率統計	電気電子制御
非平衡	統計力学	量子物理学

画像センシング研究室

カメラはこれまで対象物体の空間や色情報を取得することが主な目的でした。本研究室では、光学および情報技術を基礎として、カメラで取得した情報を有効に利用したヘルスケア、医学工、情報セキュリティなどのさまざまな分野の研究を展開していきます。

機械学習	画像処理	映像処理
システムデザイン	医療テクノロジー	生命

機能性分子触媒研究室

有機金属を基盤とし、新しい機能を発現する触媒をデザインし、その設計指針の確立を目指しています。有機配位子と金属を組み合わせた有機金属錯体は、分子触媒、医薬品、金属材料などさまざまな用途に利用可能であり、まだまだ未開拓な領域です。この分子の設計を自在かつ精密に行い、新しい有機金属分子の機能を開拓する研究を進めています。

有機金属化学	均一系触媒	光化学
多核金属錯体	ポリヒドリド錯体	遷移金属

経済学部

経営学部

法学部

文学部

国際共創学部(仮称)

理工学部

教員紹介

<p>経済学部</p>	<p>教授</p> <p>井上 潔司 ―― 統計学、離散分布論</p> <p>井上 智夫 ―― マクロ経済学、応用計量経済学</p> <p>大野 正智 ―― 国際金融論、マクロ経済学</p> <p>小田 宏信 ―― 人文地理学、経済地理学</p> <p>勝野 喜以子 ―― 自然科学一般、情報学基礎論</p>	<p>鴨野 洋一郎 ―― 西洋経済史</p> <p>財城 真寿美 ―― 自然地理学、気候学、地理情報学(GIS)</p> <p>清水 政行 ―― 経済発展論、開発経済論</p> <p>鈴木 史馬 ―― マクロ経済学、金融経済学</p> <p>中神 康博 ―― 都市経済学</p> <p>中島 正博 ―― 地方財政論、地域振興、地方自治</p>	<p>永野 護 ―― 国際経済学</p> <p>二井 正浩 ―― 社会科教育学(歴史教育)</p> <p>狹本 佳代 ―― 社会学</p> <p>松本 貴典 ―― 日本経済史、数量経済学</p> <p>山上 浩明 ―― 公共経済学、環境経済学</p> <p>吉田 由寛 ―― ミクロ経済学、ゲーム理論</p>	<p>渡邊 知行 ―― 民法、環境法</p> <p>准教授</p> <p>岩城 志紀 ―― 社会学、グローバル正義論、英語教育</p> <p>内田 雄貴 ―― マクロ経済学、公共経済学、政治経済学</p> <p>志賀 俊介 ―― アメリカ文学</p> <p>庄司 俊章 ―― マクロ経済学、計量経済学</p>	<p>内藤 朋枝 ―― 社会保障論、公共経済学、労働経済学</p> <p>原 尚子 ―― データサイエンス、マクロ経済学</p> <p>矢作 健 ―― 産業組織論、法と経済学</p>	<p>助教</p> <p>地主 遼史 ―― 進化ゲーム理論</p>
<p>経営学部</p>	<p>教授</p> <p>伊藤 克容 ―― 管理会計論</p> <p>伊藤 公哉 ―― 租税法、国際租税法</p> <p>伊藤 敬介 ―― ファイナンス</p> <p>井上 淳子 ―― 消費者行動論、ブランド・マネジメント</p> <p>上田 泰 ―― 経営組織論</p> <p>P.D.エヴァン ―― 英語学、英語教育</p>	<p>河路 武志 ―― 会計情報システム論</p> <p>北川 浩 ―― 金融論、人材育成論</p> <p>小林 めぐみ ―― 社会言語学、英語教育</p> <p>鈴木 恵美子 ―― スペイン語学</p> <p>鷹岡 澄子 ―― 法と経済、産業組織論</p> <p>田口 誠 ―― 環境経営論</p> <p>田中 研太郎 ―― 統計学</p>	<p>時岡 規夫 ―― 金融経済学、国際経営</p> <p>俊野 雅司 ―― 行動ファイナンス、証券市場</p> <p>野際 大介 ―― マーケティング、データサイエンス</p> <p>浜松 翔平 ―― 経営戦略論</p> <p>林 潤一郎 ―― 臨床心理学</p> <p>林 千賀 ―― 英語教育</p> <p>福澤 光啓 ―― 経営戦略論、技術経営論</p>	<p>藤田 玲子 ―― 国際文化・ビジネス英語</p> <p>山崎 由香里 ―― 経営組織論、意思決定論</p> <p>吉見 憲二 ―― 情報コミュニケーション、情報社会学、経営情報学</p> <p>義村 敦子 ―― 人的資源管理論、組織行動論</p> <p>准教授</p> <p>河塚 悠 ―― マーケティング</p> <p>調 勇二 ―― 財務会計</p>	<p>藤田 麗衣 ―― 健康・スポーツ</p> <p>助教</p> <p>生方 裕一 ―― 会計学</p> <p>客員教授</p> <p>天野 裕美 ―― 国際課題と産官民の取り組み</p> <p>牛窪 万里子 ―― 自己表現力と対人スキル</p> <p>北原 亘 ―― キャリア・マネジメント</p>	<p>高橋 暁子 ―― 情報リテラシー教育</p> <p>早川 由美子 ―― メディアと映像表現</p> <p>平尾 由紀子 ―― ミクロ経済学、産業組織論</p> <p>柳本 英樹 ―― キャリア・マネジメント</p>
<p>法学部</p>	<p>教授</p> <p>吾妻 聡 ―― 法社会学</p> <p>浅羽 隆史 ―― 財政学、地方自治論</p> <p>今井 貴子 ―― 比較福祉政治論</p> <p>遠藤 誠治 ―― 国際政治学、国際政治経済学、平和研究</p> <p>北川 徹 ―― 商法、会社法</p> <p>北島 典子 ―― 民事手続法</p> <p>金光旭 ―― 刑事法</p> <p>境 広志 ―― 健康教育学</p> <p>佐藤 陽子 ―― 刑法</p>	<p>佐藤 義明 ―― 国際法</p> <p>里村 和秋 ―― ドイツ・オーストリア文化論</p> <p>塩澤 一洋 ―― 民法、知的財産法、著作権法</p> <p>瀬戸 一夫 ―― 科学基礎論、政治思想史</p> <p>空井 護 ―― 政治過程論</p> <p>高橋 脩一 ―― 比較法</p> <p>武田 真一郎 ―― 行政法</p> <p>建部 雅 ―― 民法</p> <p>新村 とわ ―― 憲法</p> <p>西村 美香 ―― 行政学</p>	<p>西山 隆行 ―― アメリカ政治外交論</p> <p>野口 雅弘 ―― 政治理論、思想史</p> <p>羽賀 由利子 ―― 国際私法</p> <p>原 昌登 ―― 労働法</p> <p>坂野 由紀子 ―― 近現代英詩</p> <p>平石 耕 ―― 西洋政治思想史</p> <p>藤井 樹也 ―― 憲法</p> <p>馬上 美知 ―― 教育学、教育哲学</p> <p>光田 剛 ―― 東洋政治史</p> <p>宮崎 悠 ―― 国際政治史</p>	<p>桃尾 美佳 ―― イギリス・アイルランド小説</p> <p>山田 崇人 ―― イギリス・ロマン派詩</p> <p>湯原 心一 ―― 商法、会社法、金融商品取引法</p> <p>横山 裕人 ―― フランス文学</p> <p>李 静和 ―― 文化の政治学、政治文化論</p> <p>李 セボン ―― 日本政治思想史、比較政治思想</p> <p>李 林静 ―― 言語学、記述言語学</p>	<p>准教授</p> <p>帯谷 俊輔 ―― 国際関係論、グローバル・スタディーズ</p> <p>神田 雅憲 ―― 刑事手続法</p> <p>穴戸 聖 ―― 経済法</p> <p>瀧 史彦 ―― 民法</p> <p>宮島 和也 ―― 中国語学、言語学</p> <p>大学講師</p> <p>福菌 晴也 ―― 民法</p>	<p>助教</p> <p>小棚木 公貴 ―― 法律学</p> <p>三代川 夏子 ―― 政治学</p> <p>客員教授</p> <p>小川 秀樹 ―― 国際関係法、グローバル社会論</p>
<p>文学部</p>	<p>教授</p> <p>有富 純也 ―― 東アジア文化論、日本古代史</p> <p>伊藤 昌亮 ―― デジタル・メディア論</p> <p>今田 絵里香 ―― メディア史</p> <p>岩田 淳子 ―― 臨床心理学</p> <p>遠藤 不比人 ―― イギリス文学・文化</p> <p>大橋 崇行 ―― 日本近現代文学</p> <p>岡部 嘉幸 ―― 日本語学</p> <p>小野 尚美 ―― 英語教育、第二言語習得論</p> <p>川村 陶子 ―― 国際文化論、ドイツ地域研究</p>	<p>喜岡 淳治 ―― 教育学</p> <p>木谷 真理子 ―― 日本古代文学</p> <p>久保田 篤 ―― 日本語学</p> <p>見城 武秀 ―― コミュニケーション論</p> <p>小林 英里 ―― 英語圏文学</p> <p>小林 盾 ―― 社会学、社会的不平等</p> <p>権田 建二 ―― アメリカ文学、アメリカ研究</p> <p>佐々木 紳 ―― アジア・アフリカ史</p> <p>益谷 智子 ―― 福祉社会学</p> <p>M. ジャマール ―― 語用論</p>	<p>庄司 宏子 ―― アメリカ文学・文化</p> <p>中野 由美子 ―― アメリカ社会史、先住民史</p> <p>西 兼志 ―― メディア論</p> <p>墓田 桂 ―― 国際政治学、安全保障研究</p> <p>浜田 雄介 ―― 日本近現代文学</p> <p>日比野 啓 ―― アメリカ演劇、演劇学</p> <p>平野 多恵 ―― 日本中世文学</p> <p>細谷 広美 ―― 文化人類学、中南米地域研究</p> <p>松沼 光泰 ―― 教育心理学</p> <p>嶺崎 寛子 ―― 文化人類学、ジェンダー学</p>	<p>森 雄一 ―― 日本語学</p> <p>森住 史 ―― 通訳論、社会言語学</p> <p>吉田 幹生 ―― 日本古代文学</p> <p>渡邊 大輔 ―― 家族社会学、ライフコース論</p> <p>准教授</p> <p>稲葉 佳奈子 ―― スポーツ社会学</p> <p>金 善美 ―― 都市社会学</p> <p>寺本 敬子 ―― ヨーロッパ文化・文化史研究</p> <p>内藤 準 ―― 社会階層論</p>	<p>日尾野 裕一 ―― イギリスを中心とした異文化間関係(イギリス帝国史、ヨーロッパ文学研究、開発協力など)</p> <p>樋口 真魚 ―― 日本近現代史、東アジア国際関係史</p> <p>牧 藍子 ―― 日本近世文学</p> <p>熊 可欣 ―― 心理言語学</p> <p>大学講師</p> <p>鈴木 孫和 ―― イギリス文学・文化</p> <p>助教</p> <p>小武海 櫻子 ―― 中国近現代史</p>	<p>客員教授</p> <p>吉田 昌平 ―― 日本語教育</p> <p>客員准教授</p> <p>木村 友彦 ―― 国際政治史、国際政治学、オーストラリア外交史</p> <p>横原 彩 ―― 文化政策学、アートマネジメント</p>
<p>理工学部</p>	<p>教授</p> <p>青柳 里果 ―― 表面分析、データ駆動計測、機械学習</p> <p>浅野 雅子 ―― 素粒子論</p> <p>石井 卓 ―― 保型形式の整数論</p> <p>稲垣 昭子 ―― 有機金属化学、錯体化学</p> <p>岩本 宏之 ―― 振動音響工学</p> <p>岡本 秀輔 ―― 情報科学</p> <p>小方 博之 ―― ロボット工学、行動計量学</p> <p>小川 隆申 ―― 流体力学</p> <p>甲斐 宗徳 ―― ソフトウェア設計、並列処理</p> <p>鎌村 星平 ―― 情報通信、情報ネットワーク</p> <p>清見 礼 ―― アルゴリズム</p> <p>小池 淳 ―― イメージメディア、臨場感通信</p> <p>小川 貴宏 ―― 英語辞書学、応用言語学</p> <p>小森 理 ―― データサイエンス</p>	<p>齋藤 守弘 ―― 電気化学</p> <p>酒井 孝 ―― 材料力学、材料工学、塑性加工学</p> <p>酒井 浩之 ―― 自然言語処理</p> <p>櫻田 武 ―― 生体医学、ブレインテック</p> <p>里川 重夫 ―― 無機材料化学、触媒化学、環境工学</p> <p>柴田 昌明 ―― ロボット工学、制御工学</p> <p>杉山 賢二 ―― 映像情報処理</p> <p>鈴木 誠一 ―― 生体工学</p> <p>関谷 和之 ―― オペレーションズ・リサーチ</p> <p>世木 寛之 ―― 音声情報処理</p> <p>高瀬 将道 ―― 微分位相幾何学</p> <p>戸谷 希一郎 ―― 生体分子化学</p> <p>中野 和也 ―― 光情報処理、生体医用光学</p> <p>中野 武雄 ―― 薄膜工学、応用物理学</p> <p>中野 有紀子 ―― 人工知能、ユーザインタフェース</p>	<p>久富 寿 ―― 生化学、医薬学</p> <p>藤原 均 ―― 地球・惑星超高層物理学</p> <p>三浦 正志 ―― 超伝導工学、電気電子材料、電磁気学</p> <p>村上 朝之 ―― プラズマ、エネルギーシステム</p> <p>村松 大吾 ―― 知覚情報処理、バイオメトリクス</p> <p>茂木 進一 ―― 電力エネルギー応用</p> <p>山崎 章弘 ―― 環境化学工学</p> <p>横山 明弘 ―― 有機化学</p> <p>准教授</p> <p>岡本 亮 ―― 生体関連化学</p> <p>奥野 貴之 ―― 連続最適化、数値計算</p> <p>菅間 敦 ―― 人間工学、安全工学</p> <p>竹田 年延 ―― 電動力応用、ロボット工学</p> <p>竹本 雅憲 ―― 人間工学、ヒューマンファクターズ</p> <p>千代 英一郎 ―― プログラミング言語処理</p>	<p>西尾 悠 ―― 熱・エネルギー工学</p> <p>増田 斐那子 ―― 第二言語習得、音声知覚</p> <p>松田 源立 ―― 人工知能、機械学習、数理情報学</p> <p>丸吉 一暢 ―― 場の量子論、超弦理論</p> <p>山野井 睡 ―― 情報基盤、データサイエンス、天文学</p> <p>山本 真基 ―― アルゴリズムの設計と解析</p> <p>大学講師</p> <p>越智 拓也 ―― 教育学、教科教育学</p> <p>門内 隆明 ―― 非平衡統計力学、物性基礎論</p> <p>助教</p> <p>明石 基洋 ―― 分子生物学、生化学、医療化学、生物工学</p> <p>蘆田 菜希 ―― 材料力学、材料工学、塑性加工学</p> <p>荒木 陽三 ―― 振動工学、音響工学</p> <p>叶 洪 ―― 無機機能材料</p>	<p>岩田 理 ―― 分子制御化学</p> <p>枝本 雅史 ―― 電気電子工学、制御工学、メカトロニクス、サイバネティクス、インターフェイス、センシング</p> <p>沖 光脩 ―― 応用化学全般、特に有機化学</p> <p>小沢 文智 ―― 電気化学、バイオテクノロジー、環境エネルギー</p> <p>加藤 宇温 ―― コンピュータビジョン、画像認識</p> <p>クリスティン Dwi A. P. ヴィヨノ ―― バイオテクノロジー、化学測定、細胞工学</p> <p>小林 光木 ―― 確率過程における統計的推測</p> <p>坂本 昇一 ―― 物性物理</p> <p>謝 文昂 ―― 流体力学、熱力学</p> <p>薛 菲 ―― スケジューリング、数理最適化</p> <p>津垣 正男 ―― グラフ理論</p> <p>富田 基裕 ―― 電気電子工学、応用物理学</p>	<p>仁科 慧 ―― 人工知能、議論分析</p> <p>二瓶 美巳雄 ―― 人工知能、ユーザインタフェース</p> <p>林 大介 ―― 表面科学、物性物理学</p> <p>廣瀬 光了 ―― 生物有機化学</p> <p>眞木 準平 ―― 生物有機化学、ケミカルバイオロジー、創薬化学</p> <p>南川 智都 ―― 数理最適化、オペレーションズ・リサーチ</p> <p>山内 智之 ―― ヒューマンファクターズ・ヒューマンインタフェース、自動車人間工学、生体計測、作業負担</p>
<p>大学共通</p>	<p>教授</p> <p>平山 美樹子 ―― 日本美術</p> <p>准教授</p> <p>ヴェラスコ 團志郎 ―― 英語</p> <p>山崎 亜希子 ―― 韓国語</p>	<p>大学講師</p> <p>バラニャク平田 スザンナ ―― 日本のポップ・カルチャー</p> <p>全学教育講師</p> <p>川上 麻理 ―― 日本語教育</p> <p>土居 奈生子 ―― 日本文学、日本語学、日本語教育</p>	<p>丸尾 明美 ―― キャリア開発、キャリア教育</p> <p>文 珍瑛 ―― 東アジア近代史、韓国語</p> <p>常勤講師</p> <p>印田 佐知子 ―― 英語教育</p> <p>數野 恵理 ―― 日本語教育</p> <p>藏本 真衣 ―― 英語教育</p>	<p>ナラサキ ブランドン スコット ―― 英語教育</p> <p>ビエルウィニキ マイケル ―― 英語教育</p> <p>菱山 アディエネ ―― スペイン語教育</p> <p>フィリップス ディビッド レイモンド ―― 英語教育</p> <p>フェレイラ ダニエル イナシオ ―― 英語教育</p> <p>ブルメンストック アレックス リロイ ―― 英語教育</p>	<p>ベイツ W. ジェイムス ―― 英語教育</p> <p>山下 順子 ―― 日本語教育</p> <p>リアン チ ヤン リッキー ―― 英語教育</p> <p>客員教授</p> <p>稲生 知子 海部 美知</p> <p>ベイリス ジェフリー ボール</p> <p>三田 奈穂 吉野 瑞恵 渡邊 優</p> <p>客員准教授</p> <p>廣津留 すみれ</p> <p>松本 高興</p> <p>客員講師</p> <p>佐藤 航平</p>	

(2025年4月1日現在)
※国際共創学部(仮称)の教員組織は2026年4月開設に向けて準備中です。

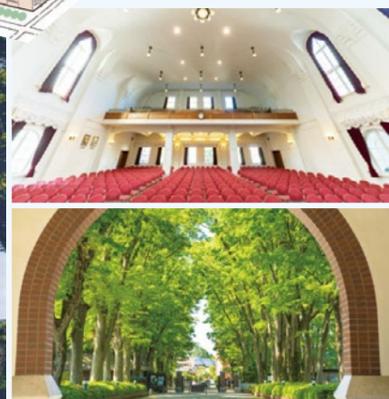
Campus Life

Kichijoji Campus

Campus Map



- ① 大学1号館
- ② 国際交流会館
- ③ 学園史料館
- ④ 大学10号館
- ⑤ 大学11号館
- ⑥ 小体育館
- ⑦ 西1号館
- ⑧ 情報図書館
- ⑨ 大学14号館
- ⑩ 学園史料館
- ⑪ 大学体育館
- ⑫ 小体育館
- ⑬ 南体育館
- ⑭ 部室棟(西部室)



A 学園本館

1924(大正13)年建築の歴史ある学園本館は、テレビドラマのロケにも使用されている名建築です。



B トラスコンガーデン

1928(昭和3)年に体育館として建てられ、現在はコンビニエンスストア併設のカフェテリアとして利用されています。



C スポーツ施設

キャンパス内にけやきグラウンド(400m競技場、ラグビー場)、野球場、サッカー場、テニスコート、ハンドボールコート、馬場、弓道場、アーチェリー射場、卓球場、体育館、プールを完備しています。

広いワンキャンパスでのびのび過ごす4年間

27万m²の広大なキャンパスは、櫻並木をはじめ四季折々に表情を変える自然豊かな環境。大正時代からの伝統的な建物と近代的な教育施設、キャンパス内にスポーツ施設を整えています。全ての学部・学年が4年間過ごすワンキャンパスでは、さまざまな出会いと交流が生まれています。

新しい仲間とみんなとキャンパスで会えるのを待ってるヨ!



マスコットキャラクター
ビーチくん
公式サイト



D 大学6号館地下 カフェ&ホール COMMichi

大画面ディスプレイやステージの設置も可能な多目的ホール。カフェも併設し、講演会や演奏会などさまざまな用途で使用されます。

E 大学保健室

急な病気やケガの応急処置のほか、定期健康診断、医療機関の紹介なども行っています。そのほか、健康応援セミナーや救命講習会の開催など、学生が健康的に生活できるようサポートしています。



F アトリオ

「中庭、憩いの場」という意味のイタリア語で呼ばれる、キャンパス中央部の芝生の庭。安らぎと語らいの場です。



G 大学11号館



H 情報図書館

I 学園櫻並木

1924(大正13)年に植樹された櫻並木は四季折々に美しい風景を見せます。1996(平成8)年、環境庁(現・環境省)の「残したい日本の音風景100選」に認定されました。



J 学生会館

3つの食堂をはじめ、ブックセンター(販売)、部室、音楽練習室などを備えた、学生たちのくつろぎとコミュニケーションの空間です。



K 1号館2階 学生サポートセンター (学生相談室・障がい学生支援室)

学生相談室ではさまざまな悩みや心配事に対してカウンセラー(臨床心理士・公認心理師)が相談に応じ、障がい学生支援室では障がい(身体・発達・難病など)のある学生に必要な支援や配慮を学修支援コーディネーターがコーディネートします。

成蹊大生専用の学生寮があります

大学から徒歩7分が魅力

ドーマー吉祥寺

全室個室のマンションタイプで、家具のほか冷蔵庫、洗濯機などの家電付きです。寮長夫妻が常駐しており、防犯対策はもちろん、日常の困りごとにも気軽に相談できます。



成蹊大学専用国際交流寮

ドーマー井の頭公園

留学生と成蹊大生が共同生活を送るための住まい。さまざまな国の学生がお互いを理解し、学び合うことで豊かな心を養い、国際感覚を身につけることができます。



成蹊大学の「知の拠点」

130万冊の蔵書と電子資料、850席の快適な学びの空間を誇る「知の拠点」。学園創立100周年記念事業として日本有数の建築家である坂茂（ばん・しげる）氏により、「明るく、美しく、暖かい建物」をコンセプトに設計されました。2008年度グッドデザイン賞を受賞した美しい図書館で、未来への学びを支えます。

- D
A
T
A**
- 蔵書数…約130万冊
 - 座席数…約850席
 - 1日の平均入館者数…約1,300人*
- ※年間利用者数/授業期間開館日数



情報図書館
紹介動画はこちら

「大学別年間図書貸出数ランキング」* 5位 学生一人当たりの年間貸出数

1	芝浦工業大学	18.20	6	上智大学	7.90
2	東京理科大学	9.30	7	慶應義塾大学	7.60
3	早稲田大学	9.10	8	獨協大学	7.20
4	学習院大学	8.90	9	東京都市大学	6.40
5	成蹊大学	8.10	10	立教大学	6.30

出典：旺文社「2025年度用 大学の真の実力 情報公開BOOK」
※出典を基に関東私立大学17大学を対象にランキング
対象大学：青山学院大学、学習院大学、慶應義塾大学、芝浦工業大学、上智大学、成蹊大学、成城大学、中央大学、東京都市大学、東京理科大学、獨協大学、法政大学、武蔵大学、明治大学、明治学院大学、立教大学、早稲田大学

設備紹介



3~5F

「プラネット(グループ閲覧室)」

アトリウムの中空に浮かぶ5つのグループ閲覧室はゼミや授業にも利用されています。「PLANET」には「プランの創造(PLAN)」+「情報を活用(NET)」の意味が込められています。



1~5F

「開架書架」

一般雑誌や文庫などの書籍はもちろん、授業関連図書や学術研究に関する専門書など約55万冊が収蔵されています。



1~5F

「クリスタルチャレル(個室閲覧室)」

1階から5階まで、書架を取り囲むように266室を設置しています。資料にアクセスしやすく、必要な情報を手に取りながら学習できます。



2F

「多読コーナー」

英語をはじめとする諸外国語の本がそろった多読コーナー。読書に集中できる快適な座り心地のいすと優しい照明を備えています。

「自動書庫」

地下1階と2階の大空間を利用した開架書庫には、最大72万冊を収蔵可能。申し込みに応じて資料が書庫から自動で運ばれてきます。



年間行事

4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September	10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March
■入学式 ■クラブ・サークル勧誘	■成蹊レガッタ (学内競漕大会)	■学内運動競技大会	■学期末試験	■夏期休業	■夏期休業 ■学位授与式	■四大学運動競技大会 (四大戦)	■櫻祭(大学祭)	■成蹊大学賞表彰式 ■冬期休業	■学期末試験	■春期休業	■春期休業 ■学位授与式 ■桜祭

■成蹊レガッタ(学内競漕大会)

戸田公園のボートコースで行われ、ゼミ、クラブ、サークル、研究室など毎年多くの団体が参加します。



■学内運動競技大会

「けやきグラウンド」などで開催される恒例行事。クラブ、サークル、研究室などさまざまな団体が参加する大運動会です。



■四大学運動競技大会(四大戦)

成蹊、学習院、成城、武蔵の東京四大学が合同で開催する運動競技大会。会場は、四大学の持ち回りで開催されます。



大会の詳しい様子は
こちらから

■櫻祭(大学祭)

毎年11月に開催されます。キャンパス内ではクラブやサークルによる展示発表が行われ、模擬店も多く出店しています。



■成蹊大学賞表彰式

「学術」「芸術」「スポーツ」「文化活動」「社会活動」の各部門別に成蹊大学賞と特別奨励賞を授与しています。



■桜祭

成蹊大学の春を告げる恒例行事。3月の最終日曜日に、卒業生や在籍生、そして武蔵野市民がキャンパスに集います。



■学位授与式



※行事内容やスケジュールは変更となる場合があります。

Club & Circle

思いきり打ち込める何かを見つけよう！

成蹊大学では約90の正規クラブと、約40の届出団体(サークル)を、学生が主体的に運営しています。キャンパス内に部室棟・スポーツ施設が併設されており、学業と両立しやすいのも大きな魅力。全学部ワンキャンパスなので、学部・学科、学年の枠を越えた幅広い交流が生まれます。



課外活動団体一覧

櫻祭本部/学生ボランティア本部(Uni)/新聞会

体育会所属団体

応援指導部 リーダー部/応援指導部チアリーダー部/アーチークラブ/合気道部/アメリカンフットボール部/居合道研修会/空手道部/弓道部/剣道部/硬式庭球部/硬式野球部/ゴルフ部/自転車部/自動車部/蹴球部/柔道部/準硬式野球部/少林寺拳法部/水泳部(競泳班)/水泳部(水球班)/スキー部/漕艇部/ソフトボール部男子/ソフトボール部女子/卓球部/軟式庭球部/軟式野球部/馬術部/バドミントン部/バレーボール部男子/バレーボール部女子/ハンドボール部/ボクシング部/

ヨット部/ライフセービング部/ラクロス部男子/ラクロス部女子/ラグビーフットボール部/陸上競技部/レスリング部/籠球部男子/籠球部女子/ワンダーフォーゲル部/理工学部 硬式庭球部/理工学部 サッカー部/理工学部 バスケットボール部

文化会所属団体

歩く会/囲碁・将棋部/裏千家茶道研究会/AMP ロック研/FAC電子計算機研究会/F・S・S/映画研究部/英語部/華道部/管弦楽団/ギターソサエティ/汽車旅倶楽部/競技ダンス部/軽音楽部/劇団円想者/写真部/書道部/デザイン研究部/電子工学研究部/陶芸研究会/日本旅行企画研究会/美術部/フォークタウン/文芸倶楽部/法学研究会/放送研究会/成蹊ラジオクラブ/漫画研究会ベルシャ猫/モダンジャズグループ/ユースホステルクラブ/

蹊法会(S.L.A)/コンパルサウンズジャズオーケストラ/広告研究会/混声合唱団/茶道部/吹奏楽団/政治学研究会/アニ研フリーク

届出団体

スポーツ系

- テニス…ラブフォーティー硬式テニス同好会/ACE硬式庭球同好会
- サッカー・フットサル…アースエラティックスサッカークラブ/フットサルクラブ/la rovina(ロビーナ)/FC Violet
- ゴルフ…キャスパーゴルフ同好会
- バスケットボール…パンブキンバスケットボールクラブ/ウインド ミル バスケットボールクラブ
- バレーボール…エステラスバレーボール同好会/Physical Education/バレーボールチームPie
- その他…ラウンドザヘッドバドミントンチーム/Laugh バドミントンクラブ/ア

ルティメットチーム リベロス/ダブルダッチサークルDouble Eight/スキューバダイビングチーム/DANCE TEAM JAM(Z)/Baila/成蹊大学No.1サークル/成蹊スポーツサークル funs/新体操同好会

文化系

- 研究…SEIKEI Formula Project
- その他…成蹊手話サークル Mint/成蹊蕎麦サークル蕎麦道/成蹊大学ポケモンサークル〜蹊モンガ〜/ボードゲーム会/Share-国際交流サークル/成蹊大学お笑いサークル・トンチキ/軟式成蹊コメディクラブ(NSC)/Peach.Tech/お芋掘りの会/成蹊大学クイズ研究会/Root Seikei/Robust/パンフルートサークル/アカペラサークル pesca/SKD-Fans/成蹊短歌会/e-SportsサークルSEC/ストリートカルチャーサークルCAFUNE/Spica

Track and field



陸上競技部

主に関東インカレや四大学対抗陸上競技大会に向けて練習に励んでいます。2022年、2023年は箱根駅伝予選会にも出場。各自が目標を持って主体的に活動することがチーム全体の成果につながっています。キャンパス内に8レーンの400mトラックがあり、練習環境にも恵まれています。

Water polo



水泳部(水球班)

水球経験者から大学で始めた人までさまざま。笑顔の絶えない和やかな雰囲気の中、皆が主体的に練習に取り組んでいます。競技歴や学年の壁を越えたコミュニケーション重視のチームづくりで、関東学生リーグ入替戦勝利と日本学生選手権ベスト8を目指します。

Rugby football

ラグビーフットボール部

関東大学対抗戦Aグループへの昇格を目標に週6日活動。スポーツ推薦がなく部員が少ない中、結束して強豪校に挑みます。平日の練習は19時から。5限目終了後の参加しやすい時間帯で、全員そろって練習に励んでいます。



漕艇部

ボートは究極の団体スポーツ。全日本大学ローイング選手権入賞を目標に、意見を出し合い練習の質を高めています。全員が未経験での入部ながら三大学対校戦で2年連続総合優勝、全日本大学選手権で個人決勝進出など、大きな大会で活躍するまでに成長しています。

Rowing boat



Competitive dance



競技ダンス部

競技ダンス部では、夏・冬の全国大会をメインに日々練習をし、近年では団体成績で全国2位の成績や、大会優勝も輩出しています。とはいえ、ダンス未経験者がほとんどで、日々の練習から全国大会で活躍できるまで成長できます。大学で新しい何かにチャレンジしたいと思っている方は一緒に全国大会を目指しましょう。

Double dutch



ダブルダッチサークル Double Eight

年2回の大会や文化祭に向けて練習しており、夏の大会では全国大会出場権獲得を目指しています。大学からダブルダッチを始めた人ばかりですが、上級生の指導を受け1年目から公式戦に出場。卒業生が技を伝授してくれることもあり、徐々に実力をつけています。

Film Research

映画研究部

脚本・演技・カメラ・音声・編集など、各自の興味に応じて役割を分担し、代々受け継いできた技術をベースに映画を製作しています。部員の作品が映画祭にノミネートされ、海外で上映されたことも。さまざまな学部の学生の多様な視点で映画づくりに生かされています。



Theater

劇団円想者

年3回の定期公演や定期外の自主公演に向け、発声の基礎から稽古を重ねています。2022年度の櫻祭公演では学生部長賞を受賞。全ての公演でお客さんに楽しんでもらえるよう、個性豊かなメンバーが議論を重ね、役者・裏方が一丸となってより良い作品づくりに奮闘しています。



奨学金・納付金

多彩な奨学金制度で充実した学生生活を応援

学資援助を必要とする学生や成績優秀な学生を支援するために、成蹊大学では、本学独自の奨学金制度を多数用意しています。



奨学金 ※2026年度予定の奨学金制度です。規則改正により変更となる場合があります。

成蹊大学独自の奨学金

種別	金額(年額)	期間	採用予定数	備考(対象など)
成蹊大学地方出身学生予約型奨学金 (成蹊大学吉祥寺プリリアント奨学金)	給付 450,000円	4年間 (継続審査あり)	300名 (採用候補者)	一般選抜の入学試験またはAOマルデス入学試験を受験する者で、学業成績・人物ともに優秀であって、学資の援助を必要とする地方出身(東京(島しょ部を除く)・神奈川・埼玉・千葉以外)の者。入学前または入試出願前に採用が決定(内定)。
成蹊大学給付奨学金	給付 300,000円	1年間	150名	全学部1~4年次が対象。学業成績・人物ともに優秀であって、学資の援助を必要とする者。
岡野奨学金	給付 90,000円	1年間	10名	全学部2~4年次が対象。学業成績・人物ともに優秀であって、学資の援助を必要とする者。
関育英奨学金	給付 120,000円	1年間	若干名	理工学部/理工学研究科対象。 電気・原子力関係を専攻する学部生、大学院生。
成蹊会育英奨学金	給付 480,000円	最短修業年限	10名	全学部2~4年次・大学院1年次が対象。
	貸与 600,000円	最短修業年限	15名	全学部2~4年次・大学院1年次が対象。 地方出身者に対し、生活支援制度あり(月額30,000円給付)。
清水建設奨学金	給付 200,000円	1年間	28名	全学部3・4年次の学業成績上位者が対象。 清水建設の寄付金を資金とした奨学金制度。
成蹊大学入学試験特別奨学金	給付 授業料の半額相当	1年間	S方式入学者	S方式の入学者全員が対象。
成蹊大学学業成績優秀者奨励奨学金	給付 100,000円	1年間	120名	全学部2~4年次の学業成績上位者が対象。
成蹊大学社会人入学生奨学金	給付 300,000円	1年間	15名程度	AOマルデス入試社会人特別受験に合格し、入学した全学部2~4年次が対象。 学業成績・人物ともに優秀であって、学資の援助を必要とする者。

成蹊大学地方出身学生予約型奨学金(成蹊大学吉祥寺プリリアント奨学金)のパンフレットはこちら ▶



大学院

種別	金額	期間	採用予定数	備考(対象など)
成蹊大学大学院奨学金	A種年額 納付金の2分の1額	1年間	対象者 全員	博士後期課程2年以上。
	B種年額 納付金の4分の1額			博士前期課程2年次。※長期履修者は別途相談

留学奨学金

種別	制度名	一般学生	GSP生*4	採用予定数	
成蹊大学外国留学奨学金*1	協定留学	短期	100,000円	100,000円	年間15名
		中期	250,000円	400,000円	年間28名
		長期*2	300,000円~500,000円	600,000円~800,000円	年間38名
	JSAFプログラム*3	500,000円	800,000円		
	認定留学*2*3	300,000円~500,000円	600,000円~800,000円	年間2名	
JSAFプレステージ	2,000,000円を上限としてプログラム費の80%				
成蹊学園三菱留学生奨学金*1	給付	留学先の授業料が有償の場合は180万円、無償の場合は120万円を上限とする。			

*1 成績や語学スコア等の基準があります。 *2 地域によって異なります。 *3 留学の全期間を学部留学する場合のみ(語学留学は対象外) *4 GSP生向けの各種奨学金は予定額を記載。なお、成績の基準に満たなかった場合は一般学生の金額を適用します。

高等教育の修学支援新制度

成蹊大学は、文部科学省による「高等教育の修学支援新制度」の対象校となっています。申請によりこの支援制度の対象者となった場合は、日本学生支援機構給付奨学金の受給と授業料などの減免を合わせて受けることができます。

財団関係の奨学金

種別	金額(年額)	期間	採用予定数	備考(対象など)
関彰育英会	給付 600,000円	最短修業年限	1名	全学部2~4年次・大学院博士前期課程1年次が対象。
三菱UFJ信託奨学財団	給付 480,000円	最短修業年限	2名	経済学部・経営学部・法学部2年次が対象。
旭硝子財団	給付 1,200,000円 (博士前期課程)	最短修業年限	4名(推薦枠)	大学院博士前期課程1年次・博士後期課程1年次が対象。
	1,440,000円 (博士後期課程)			
小田急財団	給付 264,000円	最短修業年限	1名	全学部3年次が対象。
日揮・実吉奨学会	給付 400,000円	1年間	1名	理工学部2~4年次・理工学研究科博士前期課程1年次が対象。
中村積善会	給付 600,000円	最短修業年限	1名	全学部2~4年次が対象。
オーディオテクニカ奨学会	給付 240,000円	最短修業年限	1名	理工学部2~4年次が対象。※募集のない年度もあり
OBC和田財団	給付 480,000円	最短修業年限	1名	全学部2年次が対象。
春秋育英会	給付 360,000円	最短修業年限	2名	全学部2~4年次が対象。
野崎わかば会	給付 360,000円	最短修業年限	2名	理工学部理工学科データ数理専攻もしくはコンピュータ科学専攻の2・3年次が対象。

※上記に載っていない奨学金は公募となるため、大学を通じてではなくご自身で直接申請していただきます。

日本学生支援機構の奨学金

種別	金額	備考(対象など)
第一種奨学金(大学)(無利子貸与)	貸与 自宅通学:月額20,000円、30,000円、40,000円、54,000円の中から本人の選択による。 自宅外通学:月額20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、64,000円の中から本人の選択による。	最短修業年限
第二種奨学金(大学)(有利子貸与)	貸与 月額20,000円~120,000円までの1万円単位の金額の中から本人の選択による。	最短修業年限
給付奨学金(大学) ※文部科学省の授業料減免制度を合わせて受けることができます。	給付 自宅通学:月額38,300円(第I区分)、月額25,600円(第II区分)、月額12,800円(第III区分)、月額9,600円(第IV区分(多子世帯)) 自宅外通学:月額75,800円(第I区分)、月額50,600円(第II区分)、月額25,300円(第III区分)、月額19,000円(第IV区分(多子世帯)) ※授業料減免:700,000円(第I区分、第IV区分(多子世帯))、466,700円(第II区分)、233,400円(第III区分、第IV区分(理工農系)) ※新入生は入学金の減免も受けることができる場合があります。 ※2025年度から始まる多子世帯(生計維持者の子にあたる者、かつ扶養親族である者の数が3名以上)に向けた授業料等無償化の制度の詳細は、大学ホームページの奨学金ページをご確認ください。	最短修業年限

※貸与奨学金:学業成績の状況により停止・廃止になる可能性があります。
※給付奨学金・授業料減免:収入・学業成績の状況により停止・廃止になる可能性があります。また、毎年10月に収入状況等の審査があり、支援区分が変更となる可能性があります。

納付金 (2026年度)

項目	初年度合計額	入学手続時	10月上旬	第2年度	第3年度	第4年度
経済学部 経営学部 法学部 文学部	入学金	200,000円	—	—	—	—
	授業料	427,500円	427,500円	855,000円	855,000円	855,000円
	施設費	105,000円	105,000円	210,000円	210,000円	210,000円
	設備費	45,000円	45,000円	90,000円	90,000円	90,000円
	合計	1,355,000円	777,500円	577,500円	1,155,000円	1,155,000円
理工学部	入学金	200,000円	—	—	—	—
	授業料	540,000円	540,000円	1,080,000円	1,080,000円	1,080,000円
	施設費	182,500円	182,500円	365,000円	365,000円	365,000円
	設備費	77,500円	77,500円	155,000円	155,000円	155,000円
	合計	1,800,000円	1,000,000円	800,000円	1,600,000円	1,600,000円
国際共創学部*1 (仮称)	入学金	200,000円	—	—	—	—
	授業料	477,500円	477,500円	955,000円	955,000円	955,000円
	施設費	105,000円	105,000円	210,000円	210,000円	210,000円
	設備費	45,000円	45,000円	90,000円	90,000円	90,000円
	合計	1,455,000円	827,500円	627,500円	1,255,000円	1,255,000円

※第2年度以降の納入は前・後期分納となります。※第2年度以降の納付金は、変更することがあります。
※一般社団法人成蹊会(同窓会)の入会金として、入学年度後期の学費納入時に36,600円の納入をお願いしています。
※1 2026年4月開設予定。※収容定員増加の認可申請中(2025年5月現在)。*内容は変更する場合があります。

入試情報2026

Entrance Exam Information

成蹊大学は、受験生一人ひとりの努力と真摯に向き合えるよう、個々の能力を最大限に生かすことができるさまざまな入試方式を実施しています。

成蹊大学の入学者受入れの方針

(アドミッションポリシー抜粋)

I 入学者選考方針

成蹊大学では、多様性に配慮しつつ、本学で学ぶために必要とされる基礎的学力や適性、学習歴などをそれぞれの入学試験で多面的に判断しますが、その際、下記の「求める学生像」を重視します。

求める学生像

1	希望する専攻分野のみならず、広く自然・社会・文化に旺盛な好奇心がある。
2	向上心を持ち、大学で学んだ知識を活かして社会に貢献したいという意欲がある。
3	希望する専攻分野で学修することができる基礎的学力を有する。

II 入学試験

成蹊大学では、本学で学ぶために必要な学力を以下の3点と捉え、各入学試験において各学部・学科の人材育成・教育研究上の目的に基づき、右記の点を中心に評価をしています。

I	十分な知識・技能
II	それらを基盤として問題に対する解を自ら見出していく思考力・判断力・表現力等の能力
III	これらの基になる主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度



独自入試	
A方式 3教科型学部個別入試	I, II
E方式 2教科型全学部統一入試	I, II
共通テスト利用入試	
C方式 3教科型入試	I, II
S方式 4教科6科目型奨学金付入試	I, II
共通テスト・独自併用入試	
P方式 5科目型国公立併願アシスト入試	I, II
総合型選抜・学校推薦型選抜	
AOマルデス入試 (一般受験、帰国生・社会人・外国人特別受験)	I, II, III
現地選抜型外国人特別入試 学校推薦型選抜	

入学検定料 (2026年度)

入試方式	検定料
A方式 3教科型学部個別入試	1学部・1専攻につき 35,000円
E方式 2教科型全学部統一入試	1学部につき 35,000円
C方式 共通テスト利用 3教科型入試	1学科・1専攻につき 15,000円
S方式 共通テスト利用 4教科6科目型奨学金付入試	
P方式 共通テスト・独自併用 5科目型国公立併願アシスト入試	1学部につき 25,000円
AOマルデス入試	35,000円

併願割引制度 一般選抜では、一部を除き、各入試方式間の併願が可能です。

同時に複数の出願で、2つ目以降の入学検定料が一律10,000円割引

例1 3教科得意科目タイプ

$$\begin{matrix} \text{A方式} \\ \text{[法文学科]} \\ \text{¥35,000} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{C方式} \\ \text{[法文学科]} \\ \text{¥15,000} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{C方式} \\ \text{[政治学科]} \\ \text{¥15,000} \end{matrix} = \begin{matrix} \text{¥65,000} \\ \text{¥45,000} \end{matrix}$$

主に3教科型で学習した受験生に推奨する受験パターン。

例2 共通テスト利用(文系)タイプ

$$\begin{matrix} \text{C方式} \\ \text{[日本文学科]} \\ \text{¥15,000} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{P方式} \\ \text{[日本文学科]} \\ \text{¥25,000} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{E方式} \\ \text{[日本文学科]} \\ \text{¥35,000} \end{matrix} = \begin{matrix} \text{¥75,000} \\ \text{¥55,000} \end{matrix}$$

共通テストと本学独自入試を活用した受験パターン。割引を活用することで、受験機会が増加。

例3 共通テスト利用(理系)タイプ

$$\begin{matrix} \text{C方式} \\ \text{[電気電子専攻]} \\ \text{¥15,000} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{S方式} \\ \text{[電気電子専攻]} \\ \text{¥15,000} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{A方式} \\ \text{[電気電子専攻]} \\ \text{¥35,000} \end{matrix} = \begin{matrix} \text{¥65,000} \\ \text{¥45,000} \end{matrix}$$

成蹊大学と国公立大学を併願する受験パターン。共通テスト利用と本学独自入試の併願。また、全学科・専攻を併願できるC方式とS方式でさらに割引額を拡大。

例4 2教科型全学部統一入試活用タイプ

$$\begin{matrix} \text{E方式} \\ \text{[現代経済学科]} \\ \text{¥35,000} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{E方式} \\ \text{[政治学科]} \\ \text{¥35,000} \end{matrix} + \begin{matrix} \text{E方式} \\ \text{[現代社会学科]} \\ \text{¥35,000} \end{matrix} = \begin{matrix} \text{¥105,000} \\ \text{¥85,000} \end{matrix}$$

2月3日(火)実施の2教科型全学部統一入試を受験するパターン。文系学部ならば、最大5学部併願可能。

学外会場 2つの入試方式を学外会場で受験できます 試験日 2/3(火)

E方式	2教科型全学部統一入試
P方式	共通テスト・独自併用 5科目型国公立併願アシスト入試

本学試験会場(吉祥寺)以外に仙台、さいたま、千葉、横浜、静岡、福岡の全国6会場で受験することができます。



TOPIC 東京(島しょ部を除く)・神奈川・埼玉・千葉以外の受験生を応援する 成蹊大学地方出身学生予約型奨学金 (成蹊大学吉祥寺プリリアント奨学金)

本奨学金は、入学前または入試出願前に採用が決定(内定)し、入学後に手続きすることで奨学金の給付を受けることができる制度です。

- 1 給付金額 年間45万円
- 2 給付期間 4年間継続
- 3 採用候補者数 300名

※毎年度成績および家計基準の継続審査があります。



より詳しい内容はこちら



入試方式一覧

出願の際は、本学入試情報サイト上の「2026年度入試試験要項」を必ず確認してください。

A方式 独自入試 ▶ P84 3教科型学部個別入試	学部個別の日程で実施される3教科型入試 <ul style="list-style-type: none"> ● 全学部で実施。3教科の合計点で合否を判定。 ● 1学部につき1学科(国際共創学部(仮称)は1専攻)まで出願可能。理工学部は2専攻まで併願可能。 ● 経済学部と国際共創学部(仮称)は同一日程、同一試験問題で実施。経済学部と国際共創学部(仮称)の併願は不可。
E方式 独自入試 ▶ P85 2教科型全学部統一入試	全学部同じ日程で実施される2教科型入試 NEW 「外国語」において、英語外部検定試験のスコアを利用可能(換算点方式) <ul style="list-style-type: none"> ● 全学部で実施。2教科の合計点で合否を判定。全学部共通の試験問題。 ● 1回の試験で複数学部へ併願可能。「国語」を課す学科・専攻と「数学」を課す学科・専攻との併願は不可。
C方式 共通テスト利用入試 ▶ P86 3教科型入試	共通テストの3教科で合否を判定 <ul style="list-style-type: none"> ● 全学部で実施。全ての学科・専攻に併願可能。 ● 共通テストの3教科の合計点で合否を判定。 ● 理工学部は「国語」と「英語」から選択可能。
S方式 共通テスト利用入試 ▶ P87 4教科6科目型奨学金付入試	共通テストの6科目で合否を判定 <ul style="list-style-type: none"> ● 理工学部で実施。全ての専攻に併願可能。 ● 共通テストの6科目の合計点で合否を判定。 ● 入学者全員が「成蹊大学入学試験特別奨学金」の給付対象。1年次に年間授業料の半額相当を給付。 ● 共通テスト受験後でも出願可能。入学手続締切日は3月11日で、国公立大学との併願に最適。
P方式 共通テスト・独自併用入試 ▶ P88 5科目型国公立併願アシスト入試	共通テストの5科目に独自試験の得点を加算し判定 <ul style="list-style-type: none"> ● 経済学部、経営学部、法学部、文学部、国際共創学部(仮称)で実施。1学部につき1学科(国際共創学部(仮称)は1専攻)まで出願可能。 ● 共通テスト5科目の得点に独自試験(E方式と共通)※1教科の得点を加算し合否を判定。 ● 独自試験は「外国語」(日本文学科のみ「国語」)を使用。 ● 共通テスト受験後でも出願可能。入学手続締切日は3月11日で、国公立大学との併願に最適。 ※英語外部検定試験スコアの利用は不可。
AOマルデス入試 ▶ P89 一般受験/帰国生特別受験 社会人特別受験/外国人特別受験	多面的(マルチディメンショナル)な評価を行う入試 <ul style="list-style-type: none"> ● 「求める学生像」に基づき、学部ごとに異なる選考方法で実施。 ● 一般受験に加え帰国生、社会人、外国人を対象とする特別受験制度を実施。

※国際共創学部(仮称)開設予定。収容定員増加の認可申請中(2025年5月現在)。内容等に変更になる場合があります。
 ※現地選抜型外国人特別入試の詳細については、入試情報サイトS-NETをご確認ください。

入試日程・募集人員

出願の際は、本学入試情報サイト上の「2026年度入試試験要項」を必ず確認してください。

入試日程

入試方式	学部	出願期間 (消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続締切日 (消印有効)	
独自入試	A方式 3教科型 学部個別入試	経済学部	1月5日(月)~ 1月26日(月)	2月13日(金)	2月20日(金)	3月2日(月)*
		経営学部		2月11日(水)	2月19日(木)	2月27日(金)*
		法学部		2月14日(土)	2月20日(金)	3月2日(月)*
		文学部		2月12日(木)	2月19日(木)	2月27日(金)*
		国際共創学部(仮称)		2月13日(金)	2月20日(金)	3月2日(月)*
		理工学部		2月10日(火)	2月19日(木)	2月27日(金)*
E方式	2教科型 全学部統一入試	1月5日(月)~ 1月20日(火)	2月3日(火)	2月9日(月)	2月26日(木)*	
共通テスト利用	C方式	3教科型入試	1月5日(月)~ 1月16日(金)	1月17日(土)、18日(日) 共通テスト試験日	2月9日(月)	2月16日(月)*
	S方式	4教科6科目型 奨学金付入試	1月5日(月)~ 1月20日(火)	1月17日(土)、18日(日) 共通テスト試験日	2月9日(月)	3月11日(水)*
独自併用 共通テスト	P方式 5科目型 国公立併願 アシスト入試	経済学部	1月5日(月)~ 1月20日(火)	1月17日(土)、18日(日) 共通テスト試験日 ならびに 2月3日(火)	2月9日(月)	3月11日(水)*
		経営学部				
		法学部				
		文学部				
国際共創学部(仮称)						
AOマルデス入試 一般受験/帰国生特別受験 社会人特別受験/外国人特別受験		全学部	9月24日(水)~ 10月8日(水)	一次 書類審査 二次 11月15日(土)	一次 11月7日(金) 二次 11月21日(金)	12月8日(月)
推薦入学		全学部	指定校制および成蹊高校からの推薦入学を実施します。			

*入学手続締切日までに延期申請をした場合、入学金のみを納入の上、入学手続期間を延期することができます。方式によって3/16(月)までの場合と、3/23(月)までの場合があります。

2026年度募集人員

入試方式	経済学部		経営学部	法学部		文学部				国際共創学部(仮称)		理工学部						
	経済数理	現代経済	総合経営	法律	政治	英語 英文文	日本語	国際文化	現代社会	国際 日本語 専攻 (仮称)	環境 サステナ ビリティ学 専攻 (仮称)	データ 数理専攻	コンピュ ータ科学 専攻	機械 システム 専攻	電気電子 専攻	応用化学 専攻		
独自入試	A方式 3教科型 学部個別入試		26	58	125	110	60	38	38	40	43	23	23	25	33	33	25	29
	E方式 2教科型 全学部統一入試		6	9	20	19	9	4	5	7	6	5	5	7	9	9	7	8
共通テスト利用	C方式 3教科型入試		13	23	20	30	20	10	7	9	7	10	10	16	20	20	16	18
	S方式 4教科6科目型 奨学金付入試		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	4	4	4	4
共通テスト・独自併用	P方式 5科目型国公立併願 アシスト入試		3	7	10	26	17	8	6	6	6	5	5	-	-	-	-	-
AOマルデス入試*			4	10	25	9	6	6	3	6	3	12	12	15				
推薦入学(指定校制および成蹊高校)			28	63	120	80	44	40	25	37	40	20	20	20	24	24	20	22
募集人員合計			学科・専攻計		80	170	320	274	156	106	84	105	105	75	75	420		
			学部計		250		320	430		400				150		420		

※AOマルデス入試の募集人員には、帰国生特別受験、社会人特別受験、外国人特別受験、および現地選抜型外国人特別入試の募集人員を含みます。
 ※国際共創学部(仮称)は新設、現代経済学科・総合経営学科は入学定員増加のため、法律学科・政治学科、英語英文文学科・国際文化学科は入学定員減少のため、それぞれの収容定員変更の認可申請中(2025年5月現在)。(募集人員等内容は変更になる場合があります。)

入試教科・科目・配点など

出願の際は、本学入試情報サイト上の「2026年度入学試験要項」を必ず確認してください。

E方式 2教科型全学部統一入試

出願締切 1/20(火) 消印有効 試験日 2/3(火)

A方式 3教科型学部個別入試

出願締切 1/26(月) 消印有効 試験日 理工 2/10(火) 経営 2/11(水) 文 2/12(木) 経済 2/13(金) 国際 2/13(金) 法 2/14(土)

学部	学科・専攻	教科	出題科目	配点	満点	試験時間	解答形式
経済学部	経済数理学科	国語	現代の国語、言語文化(近代以降の文章)、論理国語	100点	400点	60分	マーク
		数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A ^{※1} 、数学B(数列、統計的な推測)	200点		60分	マーク
		外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	100点		60分	マーク
	現代経済学科	国語	現代の国語、言語文化(近代以降の文章)、論理国語	100点	300点	60分	マーク
		地理歴史または公民または数学	「日本史探究」、「世界史探究」、「地理総合、地理探究」、「政治・経済」、「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A ^{※1} 、数学B(数列、統計的な推測)」のうちから1科目選択。	100点		60分	マーク
		外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	100点		60分	マーク
経営学部	総合経営学科	国語	現代の国語、言語文化(近代以降の文章)、論理国語	100点	350点	60分	マーク
		地理歴史または数学	「日本史探究」、「世界史探究」、「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A(図形の性質、場合の数と確率)、数学B(数列)」のうちから1科目選択。	100点		60分	マーク
		外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	150点		60分	マーク
法学部	法律学科 政治学科	国語	現代の国語、言語文化(近代以降の文章)、論理国語	100点	320点	60分	マーク
		地理歴史または公民または数学	「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「政治・経済」、「数学Ⅰ(データの分析を除く)、数学Ⅱ、数学A ^{※1} 」のうちから1科目選択。	100点		60分	マーク
		外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	120点		60分	マーク
文学部	英語英米文学科	国語	現代の国語、言語文化(漢文を除く)、論理国語、文学国語、古典探究(漢文を除く)	150点	450点	60分	マーク+記述
		地理歴史	「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」のうちから1科目選択。	100点		60分	「歴史総合、日本史探究」:マーク+記述 「歴史総合、世界史探究」:マーク
		外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	200点		60分	マーク+記述
	日本文学科	国語	現代の国語、言語文化(漢文を除く)、論理国語、文学国語、古典探究(漢文を除く)	150点	350点	60分	マーク+記述
		地理歴史	「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」のうちから1科目選択。	100点		60分	「歴史総合、日本史探究」:マーク+記述 「歴史総合、世界史探究」:マーク
		外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	100点		60分	マーク+記述
国際文化学科 現代社会学科	国語	現代の国語、言語文化(漢文を除く)、論理国語、文学国語、古典探究(漢文を除く)	150点	400点	60分	マーク+記述	
	地理歴史	「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」のうちから1科目選択。	100点		60分	「歴史総合、日本史探究」:マーク+記述 「歴史総合、世界史探究」:マーク	
	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	150点		60分	マーク+記述	
国際共創学部(仮称)	国際日本学専攻(仮称) 環境サステナビリティ学専攻(仮称)	国語	現代の国語、言語文化(近代以降の文章)、論理国語	100点	450点	60分	マーク
		地理歴史または公民または数学	「日本史探究」、「世界史探究」、「地理総合、地理探究」、「政治・経済」、「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A ^{※1} 、数学B(数列、統計的な推測)」のうちから1科目選択。	150点		60分	マーク
		外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	200点		60分	マーク
理工学部	データ数理専攻 コンピュータ科学専攻 機械システム専攻 電気電子専攻 応用化学専攻	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A ^{※1} 、数学B(数列)、数学C(ベクトル・平面上の曲線と複素数平面)	120点	360点	90分	記述
		理科	「物理(物理基礎、物理)」、「化学(化学基礎、化学)」、「生物(生物基礎、生物)」のうちから1科目選択。	120点		80分	マーク+記述
		外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	120点		60分	マーク+記述

※1: 数学Aの出題範囲は、全分野とする。
 ◎選択科目において、科目間の難易度の差による有利・不利をなくす等のため、得点調整を行う場合がある。なお、得点調整時に生じた小数点以下の得点は小数第3位で四捨五入する。

学部	学科・専攻	教科	出題科目	配点	満点	試験時間	解答形式
経済学部	経済数理学科	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A ^{※1} 、数学B(数列)、数学C(ベクトル・平面上の曲線と複素数平面)	200点	500点	75分	マーク+記述
		外国語 ^{※2}	「本学独自問題の外国語(英語)」の得点または下表「検定試験別基礎換算点表」から算出した得点のいずれかを合否判定に利用する。「本学独自問題の外国語(英語)」の出題科目:(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	300点		90分	マーク
現代経済学科	外国語 ^{※2}	国語	現代の国語、言語文化(近代以降の文章)	200点	500点	75分	マーク
		外国語 ^{※2}	「本学独自問題の外国語(英語)」の得点または下表「検定試験別基礎換算点表」から算出した得点のいずれかを合否判定に利用する。「本学独自問題の外国語(英語)」の出題科目:(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	300点		90分	マーク
経営学部	総合経営学科	国語	現代の国語、言語文化(近代以降の文章)	200点	600点	75分	マーク
		外国語 ^{※2}	「本学独自問題の外国語(英語)」の得点または下表「検定試験別基礎換算点表」から算出した得点のいずれかを合否判定に利用する。「本学独自問題の外国語(英語)」の出題科目:(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	400点		90分	マーク
法学部	法律学科 政治学科	国語	現代の国語、言語文化(近代以降の文章)	200点	500点	75分	マーク
		外国語 ^{※2}	「本学独自問題の外国語(英語)」の得点または下表「検定試験別基礎換算点表」から算出した得点のいずれかを合否判定に利用する。「本学独自問題の外国語(英語)」の出題科目:(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	300点		90分	マーク
文学部	英語英米文学科 日本文学科 国際文化学科 現代社会学科	国語	現代の国語、言語文化(近代以降の文章)	200点	500点	75分	マーク
		外国語 ^{※2}	「本学独自問題の外国語(英語)」の得点または下表「検定試験別基礎換算点表」から算出した得点のいずれかを合否判定に利用する。「本学独自問題の外国語(英語)」の出題科目:(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	300点		90分	マーク
		英語英米文 日本文 国際文化・現代社会	200点 300点 200点	75分		マーク	
国際共創学部(仮称)	国際日本学専攻(仮称)	国語	現代の国語、言語文化(近代以降の文章)	200点	600点	75分	マーク
		外国語 ^{※2}	「本学独自問題の外国語(英語)」の得点または下表「検定試験別基礎換算点表」から算出した得点のいずれかを合否判定に利用する。「本学独自問題の外国語(英語)」の出題科目:(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	400点		90分	マーク
		数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A ^{※1} 、数学B(数列)、数学C(ベクトル・平面上の曲線と複素数平面)	300点		75分	マーク+記述
理工学部	環境サステナビリティ学専攻(仮称)	外国語 ^{※2}	「本学独自問題の外国語(英語)」の得点または下表「検定試験別基礎換算点表」から算出した得点のいずれかを合否判定に利用する。「本学独自問題の外国語(英語)」の出題科目:(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	400点	700点	90分	マーク
		数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A ^{※1} 、数学B(数列)、数学C(ベクトル・平面上の曲線と複素数平面)	300点		75分	マーク+記述
		外国語 ^{※2}	「本学独自問題の外国語(英語)」の得点または下表「検定試験別基礎換算点表」から算出した得点のいずれかを合否判定に利用する。「本学独自問題の外国語(英語)」の出題科目:(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	300点		90分	マーク

※1: 数学Aの出題範囲は、全分野とする。 ※2: 英語外部検定試験のスコアを証明する所定の書類を提出した者が、本学独自問題の外国語(英語)も受験した場合は、いずれか高得点のものを合否判定に利用する。英語外部検定試験のスコアは、下表に定める基礎換算点をもとに、各学部の配点に合わせて再計算する。

検定試験別基礎換算点表(E方式のみ利用可)

基礎換算点*	英語外部検定試験の試験名称・スコア				
	ケンブリッジ英語検定	実用英語技能検定 ^{※1}	GTEC ^{※2}	TEAP	TEAP CBT
100点	180~	2600~	1350~	375~	800
90点	160~179	2300~2599	1180~1349	309~374	600~795
70点	140~159	1950~2299	930~1179	225~308	420~595
45点	130~139	1825~1949	805~929	180~224	334~415

*上表未満のスコアの場合は換算点はなし(0点)。基礎換算点をもとに、各学部の配点に合わせて再計算する。(例)配点300点の場合、基礎換算点の得点を3倍にする。
 ※1: 英検S-CBT、英検S-Interviewを含む。 ※2: Advanced Basic CBT

- 英語外部検定試験は、2024年1月以降に受験したものを有効とする。 ●web上で発行されるスコアの証明書や、試験実施団体から本学に直送される証明書は利用不可。
- 英検(従来型)、英検S-Interviewについては、二次試験を2024年1月以降に受験したものを有効とする。
- いずれかのスコアを証明する証明書の原本もしくは、Certified True Copy(出身学校等により原本から正しく複製されたものであることの証明を受けた書類)を提出すること。利用できる検定試験のスコアは1つのみとする。
- 証明書が未提出の場合、基礎換算点は0点とする。
- 異なる実施回の各技能スコアを組み合わせることは不可。同一実施回のスコアのみ有効とする。
- 実用英語技能検定の一次試験免除者については、二次試験受験時に申請した一次試験受験回のスコアと、二次試験のスコアを組み合わせることは可とする。
- ケンブリッジ英語検定は、受験レベルは問わず、Cambridge English Scaleスコアを基準とする。 ●ケンブリッジ英語検定は、中高生対象のCambridge English for Schoolsも利用可とする。
- 実用英語技能検定は、級の合格・不合格ではなく、CSEスコア(CSE2.0)を基準とする。 ●実用英語技能検定は、英検(従来型)の一次試験のスコア(3技能スコア)のみ提出することは不可。
- GTECは、検定実施で返却されるOFFICIAL SCORE CERTIFICATEのスコアのみ提出可とする。 ●TEAPは、4技能受験パターンでのスコアのみ提出可とする。

入試教科・科目・配点など

出願の際は、本学入試情報サイト上の「2026年度入学試験要項」を必ず確認してください。

C方式 共通テスト利用 3教科型入試

出願締切 1/16(金) 1/17(土)・18(日)
消印有効 試験日 共通テスト試験日

学部	学科・専攻	教科	出題科目	配点	満点	
経済学部	経済数理学科	外国語	「英語」	必須	200点 ^{※1}	700点
		数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」	必須	400点 ^{※2}	
		国語	「国語」(近代以降の文章)	1科目選択	100点 ^{※9}	
		地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」			
		公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」			
	理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」				
	現代経済学科	外国語	「英語」	必須	200点 ^{※1}	600点
		地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	1科目選択	200点 ^{※2}	
		公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	1科目選択	200点 ^{※2}	
		国語	「国語」(近代以降の文章)			
数学		「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」				
理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」					
総合経営学科	国語	「国語」(近代以降の文章)	必須	300点 ^{※4}	1000点	
	外国語	「英語」	必須	400点 ^{※5}		
	地理歴史、公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「地理総合/歴史総合/公共」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	1科目選択	300点 ^{※3}		
	数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」				
	理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」				
情報	「情報Ⅰ」					
法学部	法律学科 政治学科	国語	「国語」(近代以降の文章)	必須	300点 ^{※4}	1000点
		外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	1科目選択	400点 ^{※6}	
		地理歴史、公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「地理総合/歴史総合/公共」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	1科目選択	300点 ^{※3}	
		数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」			
		理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」			
文学部	英語英米文学科	国語	「国語」	必須	200点	700点
		外国語	「英語」	必須	400点 ^{※5}	
		地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	1科目選択	100点	
		公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」			
		数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」			
	理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」				
	情報	「情報Ⅰ」				
	日本文学科	国語	「国語」	必須	400点 ^{※7}	700点
		外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	1科目選択	200点 ^{※1}	
		地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	1科目選択	100点	
公民		「公共、倫理」、「公共、政治・経済」				
数学		「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」				
理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」					
情報	「情報Ⅰ」					
国際文化学科 現代社会学科	国語	「国語」	必須	200点	500点	
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	1科目選択	200点 ^{※1}		
	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	1科目選択	100点		
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」				
	数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」				
理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」					
情報	「情報Ⅰ」					

学部	学科・専攻	教科	出題科目	配点	満点	
国際共創学部(仮称)	国際日本語専攻(仮称)	国語	「国語」(近代以降の文章)	必須	200点 ^{※2}	900点
		外国語	「英語」	必須	400点 ^{※5}	
		地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	1科目選択	300点 ^{※3}	
		公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」			
		数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」			
理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」					
環境サステナビリティ学専攻(仮称)	環境サステナビリティ学専攻(仮称)	外国語	「英語」	必須	400点 ^{※5}	800点
		数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」	必須	200点(100×2)	
		国語	「国語」(近代以降の文章)	1科目選択	200点 ^{※10}	
		地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」			
		公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」			
理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」					
理工学部	データ数理専攻 コンピュータ科学専攻 機械システム専攻 電気電子専攻 応用化学専攻	数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」	必須	200点	600点
		理科	「物理」、「化学」、「生物」	1科目選択	200点 ^{※2}	
		国語	「国語」(近代以降の文章)	1科目選択	200点 ^{※8}	
		外国語	「英語」			

※1:「英語」はリーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点、またはリーディング(100点満点)を200点満点に換算したもののうち、いずれか高い方の得点を合否判定に使用する。 ※2:大学入学共通テストの配点100点を200点満点に換算する。ただし、「国語」(近代以降の文章)は大学入学共通テストの配点110点を200点満点に換算する。 ※3:大学入学共通テストの配点100点を300点満点に換算する。 ※4:大学入学共通テストの配点110点を300点満点に換算する。 ※5:リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を400点満点に換算したもののうち、いずれか高い方の得点を合否判定に使用する。 ※6:「英語」はリーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を400点満点に換算したもののうち、いずれか高い方の得点を合否判定に使用する。他の科目は大学入学共通テストの配点200点を400点満点に換算する。 ※7:大学入学共通テストの配点200点を400点満点に換算する。 ※8:「国語」(近代以降の文章)は大学入学共通テストの配点110点を200点満点に換算する。 ※9:「国語」(近代以降の文章)は大学入学共通テストの配点110点を100点満点に換算する。 ※10:「国語」(近代以降の文章)は大学入学共通テストの配点110点を200点満点に換算する。地理歴史、公民、理科は大学入学共通テストの配点100点を200点満点に換算する。 ◎得点換算時に生じた小数点以下の得点は切り捨て。 ◎「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は、4つの出題範囲のうち2つを選択解答することで1科目とみなす。 ◎「地理総合/歴史総合/公共」は、3つの出題範囲のうち2つを選択解答することで1科目とみなす。

S方式 共通テスト利用 4教科6科目型奨学金付入試

出願締切 1/20(火) 1/17(土)・18(日)
消印有効 試験日 共通テスト試験日

学部	学科・専攻	教科	出題科目	配点	満点	
理工学部	データ数理専攻 コンピュータ科学専攻 機械システム専攻 電気電子専攻 応用化学専攻	数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」	必須	200点	900点
		理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	2科目選択	400点 ^{※1} (200×2)	
		地理歴史、公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「地理総合/歴史総合/公共」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	1科目選択	100点	
		情報	「情報Ⅰ」	1科目選択	200点 ^{※2}	
		国語	「国語」(近代以降の文章)			
		外国語	「英語」			

※1:大学入学共通テストの配点100点を200点満点に換算する。 ※2:「国語」(近代以降の文章)は大学入学共通テストの配点110点を200点満点に換算する。「英語」はリーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点、またはリーディング(100点満点)を200点満点に換算したもののうち、いずれか高い方の得点を合否判定に使用する。 ◎得点換算時に生じた小数点以下の得点は切り捨て。 ◎「地理総合/歴史総合/公共」は、3つの出題範囲のうち2つを選択解答することで1科目とみなす。

成蹊大学入学試験特別奨学金

4教科6科目型奨学金付入試(S方式)の入学者全員に、1年次の年間授業料の半額相当を給付する制度です。

対象	S方式入学者全員
給付額	年間授業料(1年次)の半額相当



本奨学金の概要

POINT 1	POINT 2	POINT 3
成蹊大学入学試験特別奨学金はS方式のみの奨学金	給付対象は、S方式の入学者全員	成蹊大学地方出身学生予約型奨学金と併用可能

入試教科・科目・配点など

出願の際は、本学入試情報サイト上の「2026年度入学試験要項」を必ず確認してください。

P方式 共通テスト・独自併用 5科目型国公立併願アシスト入試

出願締切 1/20(火) 消印有効 試験日 1/17(土)・18(日)+2/3(火) 共通テスト試験日

学部	学科・専攻	試験	教科	出題科目	配点	満点		
経済学部	経済数理学科	独自	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	試験時間:90分 解答形式:マーク	200点 ^{*1}	1000点	
			外国語	「英語」	必須	200点 ^{*2}		
			数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」	必須	400点 ^{*3}		
			地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	1科目選択	2科目受験した場合は、第1解答科目を採用する。		100点
			公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	1科目選択	高得点1科目を判定に使用。ただし、理科の第2解答科目は採用しない。		100点 ^{*4}
			理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」				
	現代経済学科	独自	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	試験時間:90分 解答形式:マーク	200点 ^{*1}	900点	
			外国語	「英語」	必須	200点 ^{*2}		
			数学①	「数学Ⅰ、数学A」	必須	100点		
			地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	1科目選択	2科目受験した場合は、第1解答科目を採用する。		100点
総合経営学科	独自	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	試験時間:90分 解答形式:マーク	200点 ^{*1}	900点		
		外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	1科目選択	200点 ^{*2}			
法学部	法律学科 政治学科	独自	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	試験時間:90分 解答形式:マーク	200点 ^{*1}	900点	
			外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	1科目選択	200点 ^{*2}		
			地理歴史・公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「地理総合/歴史総合/公共」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	2科目選択	3科目受験した場合は、高得点の2科目を判定に使用。ただし、地理歴史、公民において2科目受験した場合は、第2解答科目と「数学Ⅰ、数学A」のうち高得点の科目、および第1解答科目を採用する。		200点(100×2)
			数学① 数学② 理科	「数学Ⅰ、数学A」 「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	1科目選択	複数科目を受験した場合は、①「数学Ⅱ、数学B、数学C」、②理科(2科目受験した場合は第1解答科目)、③「情報Ⅰ」(経営学部のみ)のうち高得点の科目を判定に使用する。		100点
文学部	英語英米文学科 国際文化学科 現代社会学科	独自	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	試験時間:90分 解答形式:マーク	200点 ^{*1}	900点	
			外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	1科目選択	英語英米文学科は「英語」必須		200点 ^{*2}
			地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	1科目選択	地理歴史および公民のうちから1科目(2科目受験した場合は、第1解答科目)は必ず合否判定に使用する。残りの2科目については、①地理歴史および公民の第2解答科目、②「数学Ⅰ、数学A」、③「数学Ⅱ、数学B、数学C」、④「理科」(2科目受験した場合は第1解答科目)、⑤「情報Ⅰ」のうち高得点の2科目を合否判定に使用する。		300点(100×3)
			公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	2科目選択			
			数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」				
			理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」				
			情報	「情報Ⅰ」(経営学部のみ)				
文学部	日本文学科	独自	外国語	現代の国語、言語文化(近代以降の文章)	試験時間:75分 解答形式:マーク	200点 ^{*1}	900点	
			外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	1科目選択	200点 ^{*2}		
			地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	1科目選択	地理歴史および公民のうちから1科目(2科目受験した場合は、第1解答科目)は必ず合否判定に使用する。残りの2科目については、①地理歴史および公民の第2解答科目、②「数学Ⅰ、数学A」、③「数学Ⅱ、数学B、数学C」、④「理科」(2科目受験した場合は第1解答科目)、⑤「情報Ⅰ」のうち高得点の2科目を合否判定に使用する。		300点(100×3)
			公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	2科目選択			
			数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」				
			理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」				
			情報	「情報Ⅰ」				

学部	学科・専攻	試験	教科	出題科目	配点	満点		
国際創学部(仮称)	国際日本学専攻(仮称)	独自	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	試験時間:90分 解答形式:マーク	200点 ^{*1}	900点	
			外国語	「英語」	必須	200点		
			外国語	「英語」	必須	200点 ^{*2}		
			地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	1科目選択	地理歴史および公民のうちから1科目(2科目受験した場合は、第1解答科目)は必ず合否判定に使用する。残りの2科目については、①地理歴史および公民の第2解答科目、②「数学Ⅰ、数学A」、③「数学Ⅱ、数学B、数学C」、④「理科」(2科目受験した場合は第1解答科目)のうち高得点の2科目を合否判定に使用する。		300点(100×3)
			公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」				
			数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」				
	理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	2科目選択					
	環境サステナビリティ学専攻(仮称)	独自	外国語	英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ)	試験時間:90分 解答形式:マーク	200点 ^{*1}	800点	
			外国語	「英語」	必須	200点 ^{*2}		
			数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」	必須	200点(100×2)		
地理歴史			「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	1科目選択	2科目受験した場合は、第1解答科目を採用する。	100点		
公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	1科目選択	高得点の1科目を判定に使用。ただし、理科において2科目受験した場合は、第1解答科目を採用する。	100点 ^{*4}				
理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」							

*1: 試験実施日および試験問題は、2教科型全学部統一入試(E方式)と共通。 *2: 「英語」はリーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点、またはリーディング(100点満点)を200点満点に換算したもののうちいずれか高い方の得点を合否判定に使用する。 *3: 大学入学共通テストの配点100点を200点満点に換算する。 *4: 「国語」は大学入学共通テストの配点200点を100点満点に換算する。 ◎得点換算時に生じた小数点以下の得点は切り捨てる。 ◎「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は、4つの出題範囲のうち2つを選択解答することで1科目とみなす。 ◎「地理総合/歴史総合/公共」は、3つの出題範囲のうち2つを選択解答することで1科目とみなす。

AO AOマルデス入試 選抜方法

一般受験/帰国生特別受験/社会人特別受験/外国人特別受験

出願締切 10/8(水) 消印有効 一次審査 書類 二次審査 11/15(土)

●出願要件等の詳細については必ず「AOマルデス入試要項2026」でご確認ください。

学部	審査	審査名称	審査概要
経済学部	一次審査	書類審査	調査書、志望理由書、活動報告書、課題レポート
	二次審査	事前学習確認審査 発表審査	課題となる文献資料(和文・英文の文章、数値や図表など)を参照しつつ、それに基づいた筆記試験を行います。文献資料を正確に理解し、分析に必要な基礎力を審査します。 課題となる文献資料を正確に分析・理解し、それを基に自分自身の考えを表現する力を対面による個人面接で審査します。
経営学部	一次審査	書類審査	調査書、志望理由書、活動報告書、課題レポート
	二次審査	総合分析力審査 討論力審査 ^{*1}	配布された資料(和文・英文の文章、数値や図表など)を基に記述式の試験を行います。和文・英文の文章を正確に読み取る読解力、問題文から解を求める基礎的な数学的思考力、および図表のデータから必要な情報を読み取り分析する思考力などを審査します。 課題レポートのテーマについて、少人数で討論してもらいます。明確かつ論理的に表現する力を審査します。
法学部	一次審査	書類審査	調査書、志望理由書、活動報告書、学修計画レポート、その他
	二次審査	資料読解力・文章表現力審査 討論力審査 ^{*1}	文章を正確に読み取り理解する力と、自分の考えを魅力的な文章にまとめる思考力と文章表現力が問われます。 発表されるテーマについて、5〜7名程度でグループ討論を行い、各受験者の参加姿勢や発言内容に基づいて審査します。
文学部	一次審査	書類審査 ^{*2}	調査書、志望理由書、活動報告書、志望学科に関するレポート
	二次審査	発表・質疑応答審査	「プレゼンテーション+対話」型の個人面接を行います。学科ごとに指定された課題に基づくプレゼンテーション(発表)、発表内容や課題に関する質疑応答、志望理由などについての質疑応答を行います。
国際創学部(仮称)	一次審査	書類審査 ^{*3}	調査書、志望理由書、活動報告書、英語外部検定試験成績、課題レポート
	二次審査 ^{*5}	理解力・思考力審査 発表・質疑応答審査	資料(文章や数値、図表など)をもとに、理解力・思考力を問う記述式の問題を出題します。 「プレゼンテーション+対話」型の個人面接を行います。指定された課題に基づくプレゼンテーション(発表)、発表内容や課題に関する質疑応答、志望理由などについての質疑応答を行います。
理工学部	一次審査	書類審査	調査書、志望理由書、活動報告書、その他
	二次審査 ^{*6}	思考力審査	順序立てて物事を考える力を見るために、数学的な思考力に関する演習に取り組みます。
		表現力審査 面接審査	当日、出題される科学技術に関するテーマについて、記述式の試験を行います。出題される科学技術に関するテーマについて、自分の考えを文章にて表現できるかを評価します。 一次審査に提出された志望理由書、活動報告書、および表現力審査の内容を中心に、理工学部にて学ぶ意欲や志望動機、理工学に関する知識について口頭質問します。

*1: 社会人特別受験および外国人特別受験では自己表現力審査を実施。 *2: 外国人特別受験では調査書^{*4}、志望理由書、活動報告書、日本留学試験成績、志望学科に関するレポートを審査。 *3: 外国人特別受験では調査書^{*4}、志望理由書、活動報告書、英語外部検定試験成績、日本留学試験成績を審査。 *4: 外国の学校を卒業(見込含む)する場合は、卒業(修了)証明書と成績証明書を代替とする。 *5: 外国人特別受験では面接審査(口頭試問)とする。 *6: 帰国生特別受験および外国人特別受験では質疑応答審査を、社会人特別受験では発表・質疑応答審査を実施。

入試結果

一般選抜 志願者数・受験者数・合格者数・競争率・合格最低点・得点率

試験科目別平均点 2025年度

A方式 3教科型学部個別入試

E方式 2教科型全学部統一入試

学部	学科	入試方法	2025年度					2024年度					2023年度							
			志願者数	受験者数	合格者数	競争率	合格最低点/配点計	得点率	志願者数	受験者数	合格者数	競争率	合格最低点/配点計	得点率	志願者数	受験者数	合格者数	競争率	合格最低点/配点計	得点率
経済学部	経済数理学科	A方式 3教科型学部個別	398	339	75	4.5	209/400	52%	346	313	78	4.0	210/400	53%	395	353	59	6.0	218/400	55%
		E方式 2教科型全学部統一	93	87	23	3.8	283/500	57%	83	77	21	3.7	368/500	74%	88	81	19	4.3	307/500	61%
		C方式 3教科型	513	513	150	3.4	507/700	72%	460	459	122	3.8	504/700	72%	468	468	142	3.3	496/700	71%
		P方式 5科目型国立併願アシスト	44	44	25	1.8	655/1000	66%	52	52	26	2.0	746/1000	75%	89	89	27	3.3	715/1000	72%
		A方式 3教科型学部個別	1463	1296	146	8.9	164.64/300	55%	1036	910	154	5.9	184.71/300	62%	1193	1063	136	7.8	174.45/300	58%
現代経済学部	現代経済学科	E方式 2教科型全学部統一	434	407	58	7.0	342/500	68%	314	290	44	6.6	422/500	84%	295	286	32	8.9	372/500	74%
		C方式 3教科型	1088	1087	227	4.8	486/600	81%	548	547	177	3.1	444/600	74%	695	694	172	4.0	454/600	76%
		P方式 5科目型国立併願アシスト	163	163	95	1.7	619/900	69%	168	168	105	1.6	644/900	72%	84	84	58	1.4	600/900	67%
		A方式 3教科型学部個別	2046	1857	362	5.1	243.04/350	69%	2378	2114	360	5.9	255.76/350	73%	1963	1782	416	4.3	240.69/350	69%
経営学部	総合経営学科	E方式 2教科型全学部統一	707	673	105	6.4	420/600	70%	615	578	107	5.4	506/600	84%	470	455	78	5.8	446/600	74%
		C方式 3教科型	1129	1128	165	6.8	840/1000	84%	1020	1019	256	4.0	763/1000	76%	803	801	200	4.0	773/1000	77%
		P方式 5科目型国立併願アシスト	178	178	60	3.0	686/900	76%	110	110	55	2.0	678/900	75%	91	91	44	2.1	660/900	73%
		A方式 3教科型学部個別	1231	1075	196	5.5	229.69/320	72%	1188	1036	237	4.4	216.48/320	68%	1193	1035	258	4.0	217.45/320	68%
法学部	法律学科	E方式 2教科型全学部統一	518	494	85	5.8	343/500	69%	424	407	118	3.4	414/500	83%	314	296	100	3.0	353/500	71%
		C方式 3教科型	650	649	288	2.3	764/1000	76%	1265	1265	303	4.2	771/1000	77%	600	600	251	2.4	728/1000	73%
		P方式 5科目型国立併願アシスト	169	169	107	1.6	611/900	68%	173	173	139	1.2	597/900	66%	129	129	117	1.1	551/900	61%
		A方式 3教科型学部個別	908	786	166	4.7	227.62/320	71%	726	597	152	3.9	213.92/320	67%	647	550	165	3.3	219/320	68%
		E方式 2教科型全学部統一	259	242	47	5.1	343/500	69%	227	214	53	4.0	409/500	82%	182	167	47	3.6	352/500	70%
政治学科	政治学科	C方式 3教科型	477	477	185	2.6	764/1000	76%	640	640	163	3.9	760/1000	76%	475	474	197	2.4	731/1000	73%
		P方式 5科目型国立併願アシスト	86	86	49	1.8	603/900	67%	77	77	64	1.2	587/900	65%	54	54	46	1.2	550/900	61%
		A方式 3教科型学部個別	395	343	70	4.9	273.74/450	61%	367	313	109	2.9	273.26/450	61%	313	257	101	2.5	273.03/450	61%
		E方式 2教科型全学部統一	274	261	30	8.7	358/500	72%	231	222	35	6.3	421/500	84%	170	160	46	3.5	350/500	70%
英語英米文学部	英語英米文学科	C方式 3教科型	385	385	178	2.2	548/700	78%	291	291	121	2.4	511/700	73%	374	374	160	2.3	512/700	73%
		P方式 5科目型国立併願アシスト	96	96	65	1.5	582/900	65%	83	83	74	1.1	593/900	66%	52	52	48	1.1	525/900	58%
		A方式 3教科型学部個別	439	383	65	5.9	233.32/350	67%	402	353	90	3.9	235.04/350	67%	351	303	81	3.7	228.15/350	65%
		E方式 2教科型全学部統一	193	181	22	8.2	371/500	74%	187	175	25	7.0	425/500	85%	114	100	43	4.3	375/500	75%
		C方式 3教科型	292	292	79	3.7	568/700	81%	292	292	80	3.7	538/700	77%	256	256	81	3.2	518/700	74%
日本文学部	日本文学科	P方式 5科目型国立併願アシスト	94	94	39	2.4	685/900	76%	60	60	39	1.5	628/900	70%	36	36	30	1.2	601/900	67%
		A方式 3教科型学部個別	447	381	70	5.4	258.27/400	65%	445	390	152	2.6	250.34/400	63%	270	225	105	2.1	239.53/400	60%
		E方式 2教科型全学部統一	217	205	53	3.9	334/500	67%	284	273	37	7.4	430/500	86%	169	162	60	2.7	360/500	72%
		C方式 3教科型	286	286	144	2.0	379/500	76%	521	521	161	3.2	382/500	76%	231	231	112	2.1	356/500	71%
		P方式 5科目型国立併願アシスト	49	49	46	1.1	553/900	61%	75	75	52	1.4	654/900	73%	43	43	39	1.1	577/900	64%
国際文化学部	国際文化学科	A方式 3教科型学部個別	493	449	115	3.9	241/400	60%	465	415	108	3.8	263.59/400	66%	371	338	105	3.2	250.54/400	63%
		E方式 2教科型全学部統一	249	239	27	8.9	364/500	73%	131	124	28	4.4	427/500	85%	141	137	15	9.1	394/500	79%
		C方式 3教科型	425	425	125	3.4	410/500	82%	280	280	107	2.6	375/500	75%	426	426	95	4.5	383/500	77%
		P方式 5科目型国立併願アシスト	71	71	42	1.7	647/900	72%	49	49	34	1.4	683/900	76%	53	53	22	2.4	666/900	74%
		A方式 3教科型学部個別	345	285	83	3.4	189/360	53%	405	344	65	5.3	211/360	59%	387	326	97	3.4	176/360	49%
データ数理学部	データ数理学専攻	E方式 2教科型全学部統一	137	134	40	3.4	336/600	56%	127	122	38	3.2	429/600	72%	106	101	26	3.9	363/600	61%
		C方式 3教科型	307	306	134	2.3	400/600	67%	337	336	96	3.5	421/600	70%	247	247	110	2.2	405/600	68%
		S方式 4教科6科目型奨学金付	49	49	27	1.8	620/900	69%	99	99	53	1.9	631/900	70%	60	60	37	1.6	607/900	67%
		A方式 3教科型学部個別	518	433	109	4.0	196/360	54%	571	500	94	5.3	218/360	61%	477	387	60	6.5	193/360	54%
		E方式 2教科型全学部統一	169	160	33	4.8	342/600	57%	153	146	37	3.9	414/600	69%	113	105	26	4.0	363/600	61%
コンピュータ科学部	コンピュータ科学専攻	C方式 3教科型	448	447	149	3.0	423/600	71%	480	479	109	4.4	430/600	72%	313	313	111	2.8	426/600	71%
		S方式 4教科6科目型奨学金付	91	91	37	2.5	633/900	70%	113	113	42	2.7	645/900	72%	71	71	36	2.0	631/900	70%
		A方式 3教科型学部個別	369	317	133	2.4	163/360	45%	387	332	94	3.5	190/360	53%	476	399	74	5.4	175/360	49%
		E方式 2教科型全学部統一	87	82	27	3.0	324/600	54%	97	93	31	3.0	411/600	69%	112	108	31	3.5	348/600	58%
		C方式 3教科型	348	348	122	2.9	409/600	68%	485	484	155	3.1	407/600	68%	336	336	169	2.0	376/600	63%
理工学部	機械システム専攻	S方式 4教科6科目型奨学金付	70	70	32	2.2	605/900	67%	100	100	43	2.3	615/900	68%	86	86	45	1.9	593/900	66%
		A方式 3教科型学部個別	399	335	117	2.9	167/360	46%	320	266	87	3.1	178/360	49%	349	291	74	3.9	167/360	46%
		E方式 2教科型全学部統一	101	97	23	4.2	315/600	53%	76	73	20	3.7	375/600	63%	118	114	21	5.4	330/600	55%
		C方式 3教科型	328	328	139	2.4	383/600	64%	334	334	131	2.5	393/600	66%	278	278	131	2.1	383/600	64%
		S方式 4教科6科目型奨学金付	81	81	35	2.3	600/900	67%	109	109	56	1.9	606/900	67%	76	76	48	1.6	592/900	66%
電気電子専攻	電気電子専攻	A方式 3教科型学部個別	465	394	97	4.1	201/360	56%	348	296	103	2.9	204/360	57%	396	322	64	5.0	186/360	52%
		E方式 2教科型全学部統一	118	116	27	4.3	342/600	57%	97	95	28	3.4	405/600	68%	92	86	28	3.1	366/600	61%
		C方式 3教科型	406	405	135	3.0	409/600	68%	417	417	135	3.1	410/600	68%	332	332	156	2.1	382/600	64%
		S方式 4教科6科目型奨学金付	103	103	48	2.1	618/900	69%	151	151	82	1.8	617/900	69%	127	127	69	1.8	610/900	68%

学部	A方式 3教科型学部個別										E方式 2教科型全学部統一					
	外国語・国語(200点)		日本史(100点)		世界史(100点)		政治・経済(100点)		数学(200点)		数学(100点)		国語(200点)		英語(300点)	
経済学部	受験者	合格者	受験者	合格者	受験者	合格者	受験者	合格者	受験者	合格者	受験者	合格者	受験者	合格者	受験者	合格者
経済数理学科	75.80	100.27	-	-	-	-	-	-	101.80	132.15	-	-	93.36	131.65	-	-
現代経済学科	77.75	105.25	50.41	72.71	54.15	77.13	52.49	70.72	-	-	47.76	67.22	-	-	131.96	151.76

学部	A方式 3教科型学部個別										E方式 2教科型全学部統一			
	国語(100点)		英語(150点)		日本史(100点)		世界史(100点)							

入試結果

都道府県別志願者数・合格者数 2025年度 ()内は合格者数

中部地方

新潟---216(71) 富山---79(32) 石川---63(11)
福井---15(3) 山梨---224(62) 長野---284(75)
岐阜---47(7) 静岡---474(154) 愛知---177(34)

中国地方

鳥取---23(2) 島根---4(2) 岡山---31(9)
広島---107(20) 山口---23(6)

九州地方

福岡---118(25) 佐賀---12(1)
長崎---21(6) 熊本---41(8)
大分---17(2) 宮崎---38(9)
鹿児島---78(17) 沖縄---143(30)

四国地方

徳島---13(1) 香川---36(10)
愛媛---34(13) 高知---10(3)

北海道地方

北海道---213(52)

東北地方

青森---32(16) 岩手---61(17)
宮城---194(61) 秋田---54(13)
山形---61(21) 福島---163(46)

関東地方

茨城---592(149) 栃木---338(92)
群馬---386(127) 埼玉---3,034(780)
千葉---2,229(572) 東京---10,457(2,831)
神奈川---2,775(732)

近畿地方

三重---34(8) 滋賀---7(1) 京都---16(1)
大阪---59(4) 兵庫---50(8) 奈良---14(4)
和歌山---8(0)

- 高卒認定・大学検定 163(25)
- 外国の学校等 35(6)
- 文科省指定 7(0)
- 認定 2(0)
- 在外教育施設 1(0)

合格者出身校一覧 2025年度

北海道

【国公立】旭川北 恵庭北 大塚 小樽潮陵 帯広柏葉 北見北斗 札幌西 札幌北 札幌清田 札幌国際情報 札幌手稲 滝川 千歳 苫小牧東 函館 函館中部 【私立】函館ラ・サール 北星学園女子 北嶺 北海 北海学園札幌 立命館慶祥 【青森】青森

東北地方

【秋田】秋田 秋田南 秋田北 能代 横手 【山形】酒田東 新庄北 致道館 東桜学園 山形東 山形西 山形南 山形北 米沢興譲館 羽黒 【福島】福島 福島東 福島西

関東地方

【茨城】茨城 【栃木】栃木 【群馬】群馬 【埼玉】埼玉 【千葉】千葉 【東京】東京 【神奈川】神奈川

近畿地方

【三重】三重 【滋賀】滋賀 【京都】京都 【大阪】大阪 【兵庫】兵庫 【奈良】奈良 【和歌山】和歌山

四国地方

【徳島】徳島 【香川】香川 【愛媛】愛媛 【高知】高知

九州地方

【福岡】福岡 【佐賀】佐賀 【長崎】長崎 【熊本】熊本 【大分】大分 【宮崎】宮崎 【鹿児島】鹿児島 【沖縄】沖縄

北海道

【国公立】旭川北 恵庭北 大塚 小樽潮陵 帯広柏葉 北見北斗 札幌西 札幌北 札幌清田 札幌国際情報 札幌手稲 滝川 千歳 苫小牧東 函館 函館中部 【私立】函館ラ・サール 北星学園女子 北嶺 北海 北海学園札幌 立命館慶祥 【青森】青森

東北地方

【秋田】秋田 秋田南 秋田北 能代 横手 【山形】酒田東 新庄北 致道館 東桜学園 山形東 山形西 山形南 山形北 米沢興譲館 羽黒 【福島】福島 福島東 福島西

関東地方

【茨城】茨城 【栃木】栃木 【群馬】群馬 【埼玉】埼玉 【千葉】千葉 【東京】東京 【神奈川】神奈川

近畿地方

【三重】三重 【滋賀】滋賀 【京都】京都 【大阪】大阪 【兵庫】兵庫 【奈良】奈良 【和歌山】和歌山

四国地方

【徳島】徳島 【香川】香川 【愛媛】愛媛 【高知】高知

九州地方

【福岡】福岡 【佐賀】佐賀 【長崎】長崎 【熊本】熊本 【大分】大分 【宮崎】宮崎 【鹿児島】鹿児島 【沖縄】沖縄

入試結果

AO AOマルデス入試 志願者数・合格者数

学部	学科	2025年度				2024年度		2023年度	
		志願者数 (一次審査受験者数)	一次審査合格者数	二次審査受験者数	二次審査合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
経済学部	一般	11	8	8	4	10	4	17	5
	現代経済学科	44	30	27	8	29	8	27	8
	帰国生	0	0	0	0	0	0	0	0
	現代経済学科	1	1	1	1	0	0	0	0
	社会人	0	0	0	0	0	0	0	0
	現代経済学科	0	0	0	0	0	0	0	0
経営学部	一般	130	82	75	25	87	22	90	18
	帰国生	4	2	2	0	3	1	5	2
	社会人	0	0	0	0	0	0	0	0
	外国人	3	2	2	0	6	1	0	0
	学科計	137	86	79	25	96	24	95	20
	学科計	46	31	28	9	29	8	27	8
法学部	一般	43	38	34	18	29	13	24	9
	政治学科	24	24	21	18	30	15	20	8
	帰国生	2	1	1	1	1	0	1	0
	社会人	0	0	0	0	0	0	1	1
	外国人	1	0	0	0	1	0	1	0
	学科計	46	39	35	19	31	13	27	10
文学部	一般	23	11	10	8	11	7	7	7
	日本文学科	12	8	6	3	12	5	7	5
	国際文化学科	19	11	9	8	8	5	11	2
	現代社会学科	19	8	7	3	9	3	7	3
	帰国生	0	0	0	0	1	0	0	0
	日本文学科	0	0	0	0	0	0	2	1
	国際文化学科	0	0	0	0	3	0	0	0
	現代社会学科	0	0	0	0	0	0	0	0
	外国人	1	1	1	0	0	0	2	0
	日本文学科	0	0	0	0	1	0	0	0
	国際文化学科	1	1	1	0	0	0	1	0
	現代社会学科	1	0	0	0	2	0	0	0
学科計	24	12	11	9	11	7	9	7	
理工学部	一般	30	21	21	12	35	9	43	11
	帰国生	1	1	1	1	2	1	2	1
	社会人	0	0	0	0	2	2	0	0
	外国人	1	1	1	0	0	0	0	0
	学科計	32	23	23	13	39	12	45	12

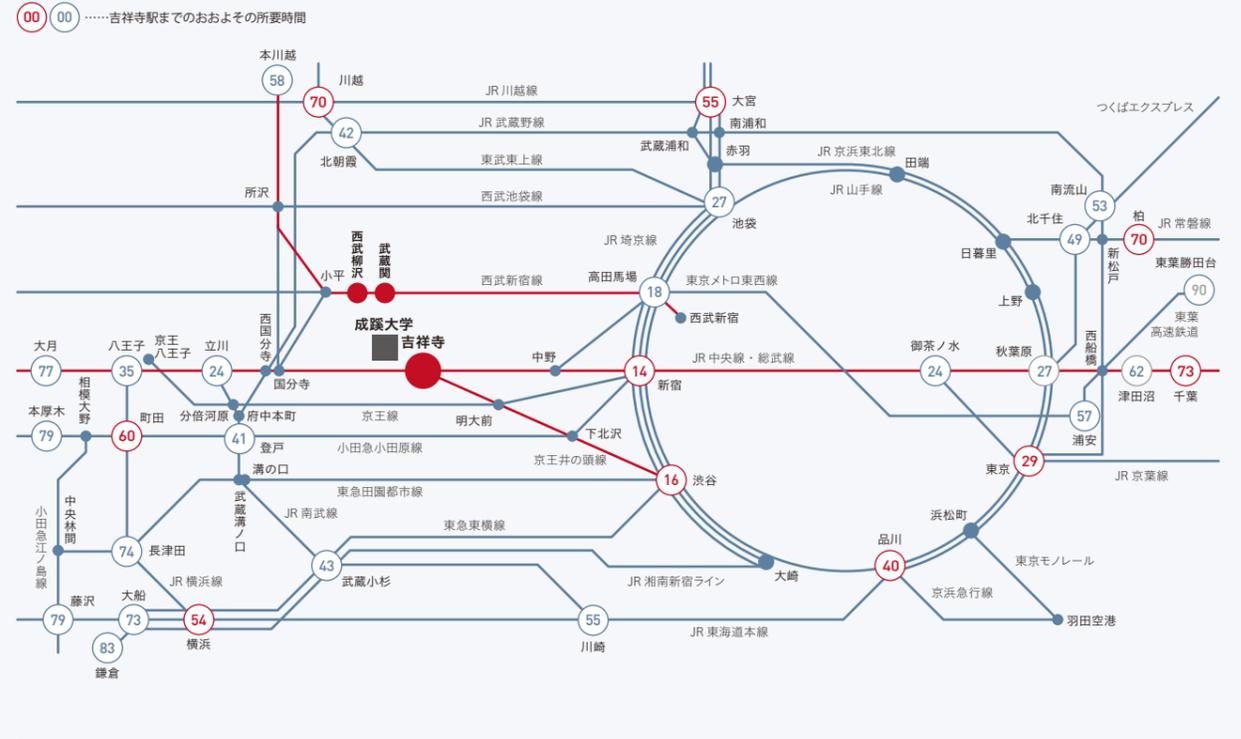
帰国生・社会人・外国人の定員は一般受験の定員に含まれます。上記の入試結果には現地選抜型外国人特別入試は含まれません。

成蹊高校からの推薦入学者数 2025年度

経済学部	経営学部	法学部	文学部	理工学部	合計
14名	31名	15名	22名	7名	89名

ACCESS

主要な駅から吉祥寺駅までの所要時間



吉祥寺駅から成蹊大学へのアクセス



OPEN CAMPUS 2025

事前予約制 ※一部プログラムを除く

8/2

-Sat-

10:00 ▶ 16:00

8/3

-Sun-

10:00 ▶ 16:00

8/4

-Mon-

10:00 ▶ 16:00

10/26

-Sun-

10:00 ▶ 16:00

※各日受付は終了30分前まで

入試情報サイト S-NET

S-NETは、成蹊大学の入試情報を精選、網羅した、受験生のためのWebサイトです。入試方式、入試教科・科目、日程や過去問題など出願を検討する受験生が知りたい情報を手に入れることができます。



成蹊大学の入試情報は
こちらから。

成蹊 入試 検索



受験生向け大学案内サイト SEIKEI Story

先輩たちのインタビューやキャンパスライフの様子など、成蹊大学で過ごす4年間をイメージするためのコンテンツが満載。オープンキャンパス情報もこちらから。



成蹊大学をもっと
知りたい方はこちらから。

SEIKEI Story 検索



SNS 公式アカウント



成蹊大学公式Instagram
ユーザーネーム: seikei_official



成蹊大学公式X(旧Twitter)
@seikei_zelkova



成蹊大学アドミッションセンター
公式LINEアカウント (LINE@)
ID: @seikei-nyushi

SEIKEI 成蹊大学

経済学部 | 経営学部 | 法学部 | 文学部 | 国際共創学部(仮称) | 理工学部

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

アドミッションセンター

TEL: 0422-37-3533 FAX: 0422-37-3864

E-mail: nyushi@jim.seikei.ac.jp